



DESIGNJET L28500 プリンタ シリーズ

ユーザーズ ガイド

法律に関する注記

ここに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

HP 製品およびサービスの保証は、該当する製品およびサービスに付属する明示された保証書の記載内容に限られるものとします。本書中のいかなる記載も、付加的な保証を構成するものとして解釈されないものとします。弊社は、本書に含まれる技術上または編集上の誤りおよび欠落について、一切責任を負うものではありません。

商標

Microsoft®および**Windows**®は、**Microsoft Corporation** の米国における登録商標です。

目次

1 はじめに	1
安全に関する注意事項	1
プリンタの主な機能	4
プリンタの主なコンポーネント	5
内蔵 Web サーバ	9
プリンタをオン/オフにする	11
プリンタの再起動	11
2 接続およびソフトウェア手順	13
接続方法	13
ネットワークに接続する	13
3 セットアップのオプション	15
プリンタ設定オプション	15
内蔵 Web サーバ設定オプション	17
4 素材の取り扱い	21
概要	21
浸透性素材	24
ロール紙をスピンドルに取り付ける	25
ロール紙をプリンタに取り付ける (自動)	29
ロール紙をプリンタに取り付ける (手動)	32
カット紙をプリンタに取り付ける	35
プリンタからロール紙を取り外す	36
巻き取りリール	36
エッジホルダ	46
取り付けアクセサリ	47
両面印刷	50
素材に関する情報を表示する	52
素材の長さのトラッキング	53
排紙を実行し用紙をカットします	55
素材を保管する	55

5 素材設定	57
メディアプリセットをダウンロードする	57
新しい素材を追加する	57
高速印刷	69
カラーキャリブレーション	69
カラープロファイル	70
カラー再現技法	70
6 使用状況に関する情報を取得する	73
アカウント情報取得する	74
使用状況に関する情報を確認する	74
ジョブの使用状況に関する情報を確認する	74
電子メールによるアカウントデータ請求	74
7 インクシステム	77
インクシステムコンポーネント	77
インクサプライ品について	81
8 印刷オプション	83
プリンタの状態	83
マージンを変更する	83
プリンタの印刷メニューを要求する	84
9 アクセサリ	85
アクセサリについて	85
10 プリンタステータス	87
プリンタステータスを確認する	87
インクシステムのステータスを確認する	87
インクカートリッジのステータスを確認する	87
プリントヘッドのステータスを確認する	88
ファイルシステムを確認する	88
プリンタアラート	89
11 ファームウェアについて	91
12 ハードウェア保守	93
インクシステムに関するヒント	93
プリントヘッドの軸合わせ	93
キャリッジレールをクリーニングおよび潤滑する	94
プリントヘッドの電極をクリーニングする	96
プリンタの外部をクリーニングする	100

プラテンのクリーニングを行う	101
プリントヘッドをクリーニング (修復) する	103
素材送りセンサーの窓をクリーニングする	104
インクカートリッジを保守する	105
プリンタを移動または保管する	105
インク カートリッジを交換する	105
インク保守キットを交換する	110
プリントヘッドを交換する	114
プリントヘッドクリーニングキットを交換する	120
サービス保守	126

13 印刷品質に関するトラブルシューティング 127

印刷に関する一般的なヒント	127
プリントヘッドのステータス プロットを使用する	127
粒状感	128
横方向のバンディング	129
縦方向のバンディング	131
印刷が湾曲した状態になる	132
色がずれる	133
色の濃さが変化する	133
鮮明さの不足	134
黒色の領域がかすむ	134
インクの汚れ	134
微かな汚れやむらのある外観	135
接触したときにインクがにじむ、または油でよごれて見える	135
印刷寸法が間違っている	136
分割印刷の問題	136

14 素材に関するトラブルシューティング 139

素材が正しく取り付けられない	139
素材の取り付け位置がずれている	140
素材が詰まっている	140
素材が変形するか、しわが寄る	143
素材が縮んでいるか、延びている	143
素材が湾曲している	144
自動カッターが機能しない	145
巻き取りリール素材詰まり	145
巻き取りリールで巻き取ることができない	145

15 インク システムに関するトラブルシューティング 147

インク保守キットを取り付ける必要がある	147
インクカートリッジを取り付けられない	147

プリントヘッドを取り付けられない	147
プリントヘッドクリーニングカートリッジを挿入できない	147
フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される	147
プリントヘッドのクリーニング	148
プリントヘッドの軸合わせ	148
16 その他のトラブルシューティング	151
プリンタの IP アドレスを取得できない	151
内蔵 Web サーバにアクセスできない	151
プリンタで印刷されない	152
印刷ジョブの生成中にソフトウェアプログラムの処理速度が低下したり停止する	152
プリンタの印刷が遅い	152
コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある	152
プラテンローラーからきしみ音がする	153
17 フロントパネルエラーメッセージ	155
プリンタ ログ	158
18 サポートが必要な場合	159
はじめに	159
マニュアル	159
Customer Self Repair	159
HP カスタマー・ケア センター	160
サービス情報	160
19 プリンタ仕様	161
プリンタ機能の仕様	161
物理的仕様	163
メモリの仕様	163
電源の仕様	163
動作環境の仕様	163
動作音に関する仕様	164
付録 A 印刷に関する一般的な問題の概要	165
用語集	167
索引	171

1 はじめに

安全に関する注意事項

プリンタを使用する前に、安全に関する次の注意事項を読んで、装置を安全に使用してください。

適切な技術研修を受け、作業中に遭遇する可能性がある危険性について学び、自分自身はもとより他の人にも及ぶ危険要因を最小限に抑えるために、適切な対策を講じることをお勧めします。

一般的な安全に関するガイドライン

- プリンタ内部には、**HP's Customer Self Repair** プログラムで取り扱う部品はありますが、オペレータが操作可能な部品はありません (<http://www.hp.com/go/selfrepair/>を参照)。他の部品の保守作業については、資格を有するサービス担当者に依頼してください。
- 次のいずれかの場合は、プリンタの電源をオフにして、サービス担当者に連絡してください。
 - 電源コードまたはプラグが損傷した。
 - プリンタに液体が入った。
 - プリンタから煙が出たり、異様な臭いがする。
 - プリンタが落下したか、乾燥モジュールまたは硬化モジュールが損傷した。
 - プリンタ内蔵の残留電流ブレーカー (漏電遮断器) が繰り返し落ちる。
 - プリンタが正常に動作しない。
- 次の場合は、プリンタの電源をオフにしてください。
 - 雷雨時
 - 停電時

感電による危険

⚠ 警告！ 乾燥モジュールと硬化モジュールは、死亡または重大な人身事故につながる可能性のある危険電圧で動作します。

プリンタを修理する前に、**PDU** の分岐ブレーカーの電源が切られ、プリンタの主電源がオフになっていることを確認する必要があります。

感電の恐れを防止するため、次の点を守ってください。

- 乾燥モジュールおよび硬化モジュールや、電気制御キャビネットを解体しないでください。
- 閉じられたシステムのカバーや差し込み口を取り外したり開いたりしないでください。
- 異物をプリンタのスロットに差し込まないでください。
- 残留電流ブレーカー (RCCB) の機能を 6 か月ごとにテストしてください。

熱による危険

プリンタの乾燥および硬化サブシステムは高温で稼動しているため、触ると火傷をする可能性があります。人身事故を防止するため、以下の注意事項に従ってください。

- プリンタの乾燥モジュールおよび硬化モジュールの内部筐体に触れないでください。乾燥および硬化の電源を切断するウィンドウ ラッチを開いた後でも、内部の表面は熱くなっている可能性があります。
- 素材の経路に触れる場合は、特に注意してください。

発火の危険

プリンタの乾燥および硬化サブシステムは高温で稼動しています。プリンタ内蔵の残留電流ブレーカー (漏電遮断器) が繰り返し落ちる場合は、サービス担当者に連絡してください。

発火の恐れを防止するため、以下の注意事項に従ってください。

- 製品プレートに示された電源電圧を使用してください。
- プリンタに電源を供給するために使用する建造物の電気システムのセットアップや設定およびプリンタの設置に電気技術者が必要です。電気技術者が地域の法規に応じた適切な資格を保有していること、および電気の設定に関するすべての情報が入手されていることを確認します。
- 電気技術者が、『サイト準備ガイド』や『アセンブリ インストラクション』の指示に従って電源コードを接続する必要があります。3つのフェーズラインが必要で、それぞれを分岐ブレーカーで保護します。このプリンタには、電源ケーブルは付属していません。
- 異物をプリンタのスロットに差し込まないでください。
- 液体がプリンタにこぼれないように注意してください。
- 可燃性ガスを含むエアゾール製品を、プリンタの内部または周囲で使用しないでください。
- プリンタ本体の換気用開口部の前に何かを置いたり、かぶせたりしないでください。
- 乾燥モジュールおよび硬化モジュールや、電気制御キャビネットを解体しないでください。
- 素材が、製造元の推奨する動作温度を超えていないことを確認してください。製造元による動作温度が示されていない場合は、対応動作温度が **125°C (257°F)** 以上の素材のみを使用するようにしてください。
- 自動発火温度が **250°C** 以下の素材は取り付けしないでください。以下の注記を参照してください。

 **注記：** テスト方法は、**EN ISO 6942:2002** のテスト **B** (放射熱源にさらされたときの素材および素材組み立ての評価) に基づいています。素材の発火 (炎を出すか光を放つ) 温度を特定するためのテスト条件には、電流束密度 (**30 kW/m²**)、銅熱量計、**K** 型熱電対を使用しました。

機械的危険

プリンタには人身事故の原因になる可能性のある可動部分があります。人身事故を防止するため、プリンタの近くで作業する場合は、以下の注意事項に従ってください。

- 衣服や身体はプリンタの可動部分から離してください。
- ネックレス、ブレスレットなど、垂れ下がる物体の着用は避けてください。
- 長髪の場合は、頭髮がプリンタ内に落下しないように留めてください。
- 袖や手袋がプリンタの可動部分に巻き込まれないように注意してください。

- ファンの近くに立たないでください。人身事故につながったり印刷品質に影響を及ぼす可能性があります (エアフローが遮断されるため)。
- 印刷時にギアや移動ロールに触れないでください。

重量のある素材による危険

人身事故を避けるため、重量のある素材を扱う場合は特に注意が必要です。

- 重い素材ロールを扱う際は、複数名必要なことがあります。背中に負担をかけたり痛めたりしないように注意してください。
- フォークリフトやパレットトラックなどの荷役機器を使用することを検討してください。
- 重い素材ロールを扱うときは、長靴や手袋などの保護用具を着用してください。

インクの取り扱い

このプリンタには溶剤インクが使用されていないため、溶剤インクに関連する従来の問題は発生しませんが、インク システム コンポーネントを扱う場合は、手袋の着用をお勧めします。

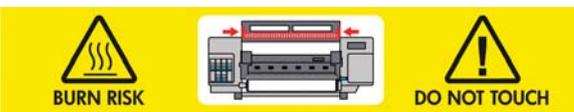
警告および注意

このマニュアルでは、プリンタを適切に使用して破損を防ぐために、次の記号が使用されています。これらの記号の付いた手順に従ってください。

⚠ 警告！ この記号の付いたガイドラインに従わない場合、重大な人身事故または死亡につながる恐れがあります。

⚠ 注意： この記号の付いたガイドラインに従わない場合、人身事故または製品の破損につながる恐れがあります。

警告ラベル

ラベル	説明
	火傷の恐れ。プリンタの乾燥モジュールおよび硬化モジュールの内部管体に触れないでください。
	火傷の恐れ。プリンタの乾燥管体に触れないでください。乾燥モジュールおよび硬化モジュールの電源を切断するウィンドウ ラッチを開いた後でも、内部の表面は熱くなっている可能性があります。
	感電による危険。プリンタ内部には、オペレータが操作可能な部品はありません。保守作業は、資格を有するサービス担当者に依頼してください。
	電源に接続する前に、設置についての指示を参照してください。入力電圧がプリンタの定格電圧範囲内であることを確認し、適切なプリンタ三相設定を選択します。

ラベル	説明
	<p>手が巻き込まれる危険。</p>
	<p>指が巻き込まれる危険。印刷時にスピンドル ギアに触れないでください。</p>
	<p>プリンタの上部に物を置かないでください。上部のファンを覆わないでください。</p>
	<p>インクカートリッジ、プリントヘッドクリーニングカートリッジ、プリントヘッドクリーニング コンテナを扱う場合は、手袋の着用をお勧めします。</p>

プリンタの主な機能

このプリンタは、幅 **0.584m** から **2.64m** の幅広い素材に高品質のイメージを印刷するために設計されたカラーインクジェットプリンタです。主な機能を以下に示します。

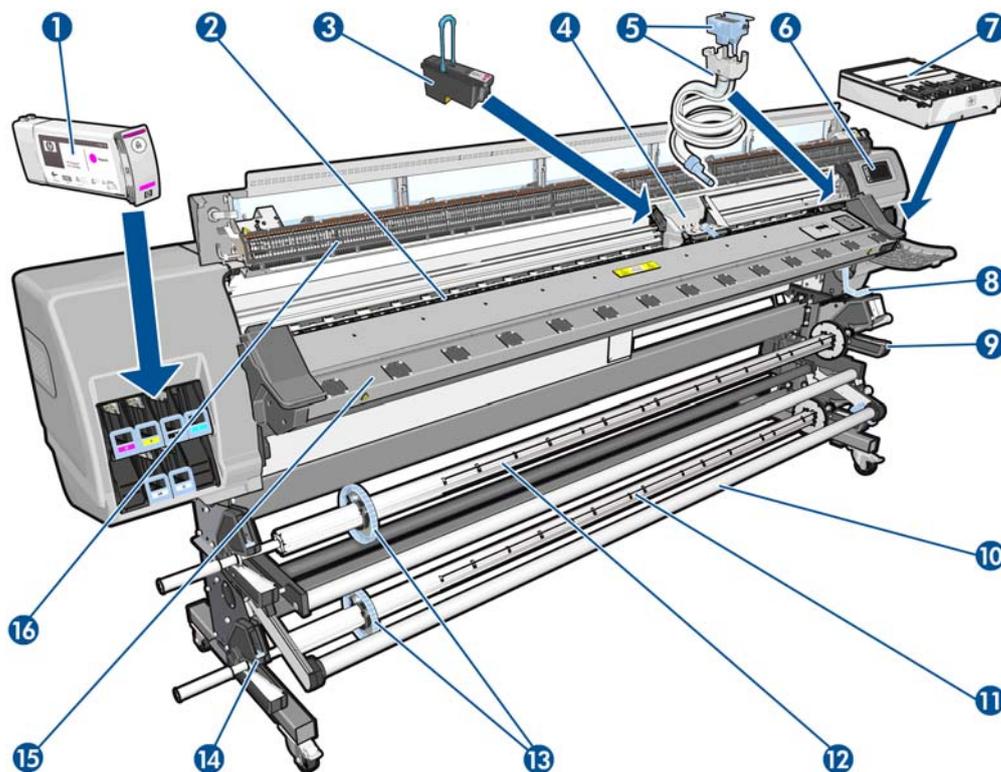
- 試し印刷モードでの印刷速度は、最速で毎時 **70m²** です。
- 環境に優しく、無臭の水性ラテックスインク **6色**
- 特殊な換気不要、有害廃棄物なし
- **775ml** インクカートリッジ
- 大多数の低コストで、コーティング加工されていない、溶媒対応の素材を含むさまざまな素材への印刷が可能
- **HP** 指定のリサイクル可能素材を使用可
- ラミネート加工なしで **3年間**、ラミネート加工付きで **5年間**の高い耐久性で屋外表示に使用可能な印刷物
- 通常の素材に対する自動カラーキャリブレーションによる、正確で一貫したカラー再現 (分光測光器内蔵)

印刷ジョブをプリンタに送るには、**Raster Image Processor (RIP)** ソフトウェアが必要です。RIP ソフトウェアは、別のコンピュータで実行する必要があります。RIP ソフトウェアは複数の会社から入手できますが、プリンタには付属していません。

プリンタの主なコンポーネント

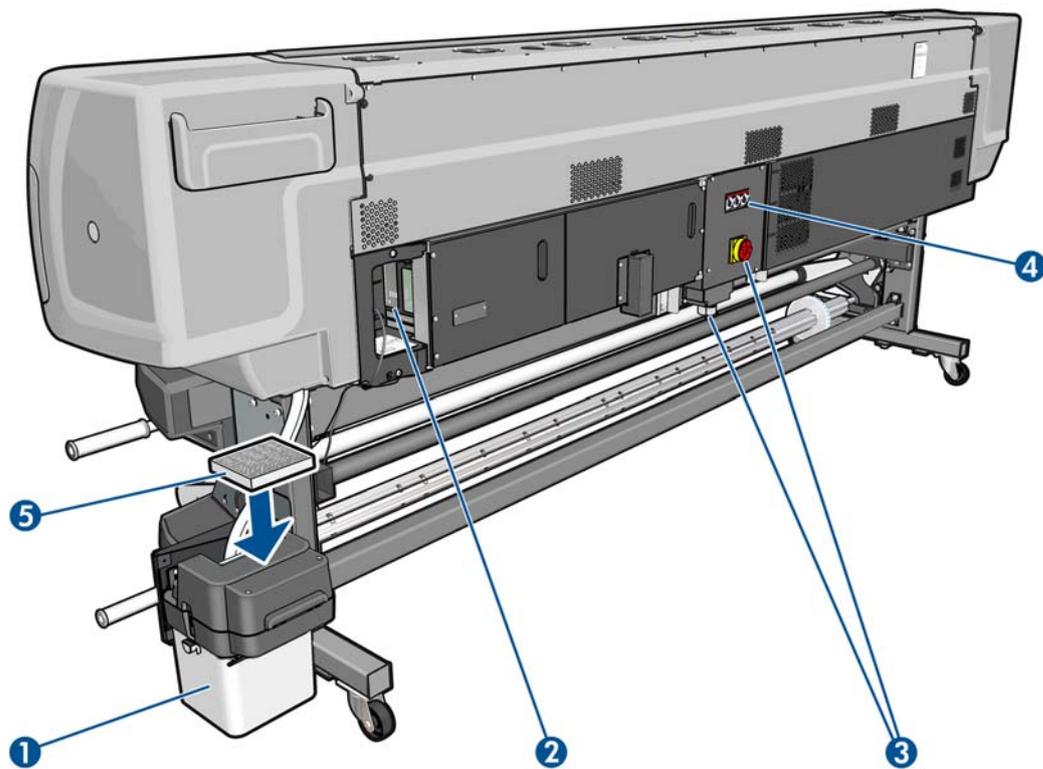
以下のプリンタの図で、主なコンポーネントについて説明します。

前面図



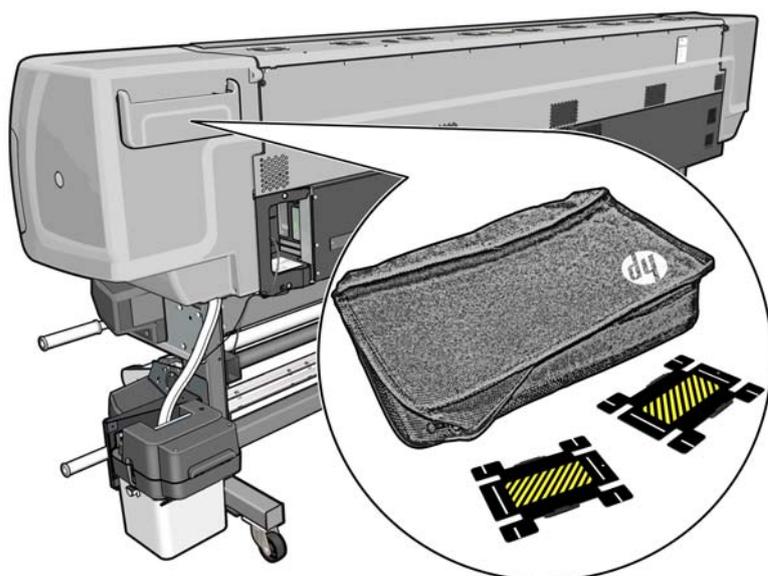
1. インクカートリッジ
2. プラテン
3. プリントヘッド
4. プリントヘッドキャリッジ
5. インク ファネルおよびインク チューブ アセンブリ
6. フロントパネル
7. プリントヘッドクリーニング カートリッジ
8. 素材調整レバー
9. 巻き取りリール モーター
10. Xバー
11. スピンドル
12. 巻き取りリール
13. スピンドル ストップ
14. スピンドル ロック レバー
15. 硬化モジュール
16. 乾燥モジュール

背面図



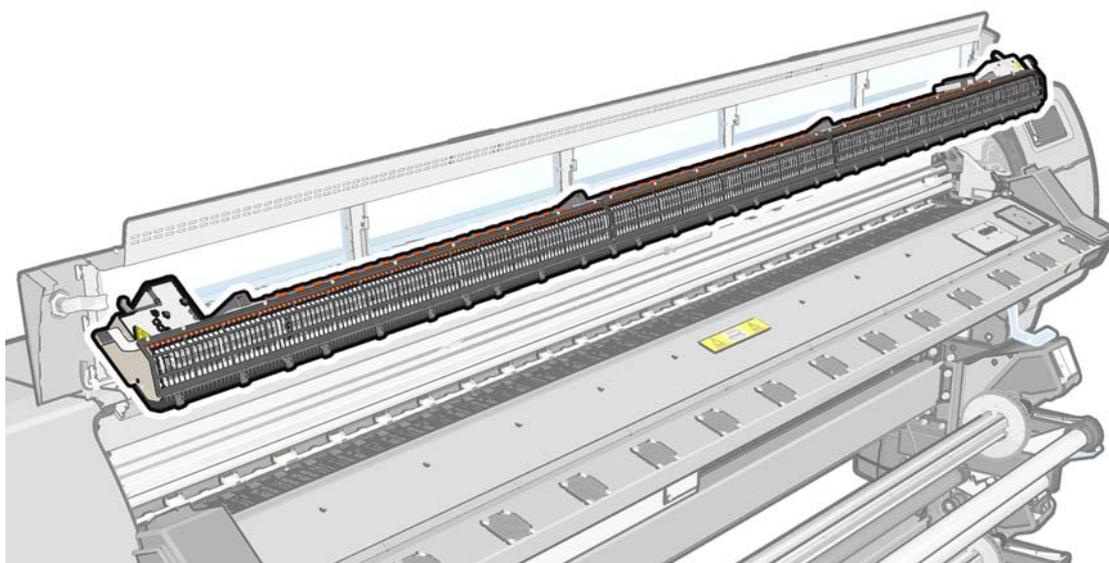
1. プリントヘッドクリーニング コンテナ
2. 接続ケーブルおよびオプションアクセサリ用ソケット
3. 電源スイッチおよび電源ソケット
4. 加熱コンポーネント用残留電流ブレーカー
5. インク フィルタ

エッジホルダ ケース

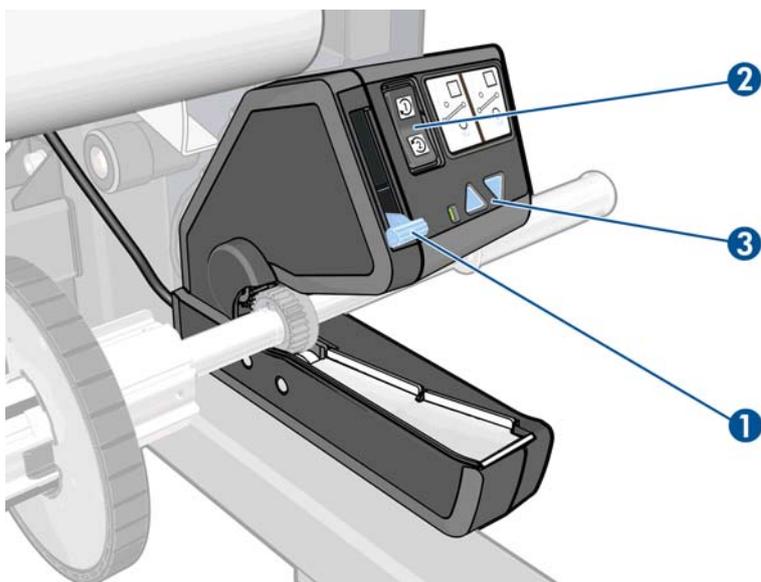


ケースは通常、プリンタの背面に取り付けられており、未使用時には2つのエッジホルダが入っています。

乾燥筐体



巻き取りリールモーター



1. 巻き取りリール レバー
2. 巻き取り方向スイッチ
3. 手動巻き取りボタン

取り付けアクセサリ



取り付けアクセサリは、取り付けが困難な一部の素材の種類を取り付ける際に役立ちます。
[47 ページの取り付けアクセサリ](#)を参照してください。

フロントパネル

プリンタのフロントパネルは、プリンタ前面の向かって右側にあります。フロントパネルには、以下の重要な機能があります。

- トラブルシューティングのための情報アシスト。
- 素材の取り外しやプリンタの保守など、特定の物理的操作を実行する際に使用します。
- プリンタのステータスに関する情報を簡潔に表示します。
- 場合に応じて、警告やエラーメッセージが表示され、警告やエラーメッセージに対する注意を促すために警告音が鳴ります。



フロントパネルには、動的な情報およびアイコンを表示するための大きな中央領域があります。左側および右側にある 6 つの固定アイコンをそれぞれ別々に表示できます。通常は、同時にすべては表示されません。

左右の固定アイコン

-  を押すと、ホーム画面に戻ります。
- フロントパネルにこの *ユーザズガイド* を表示するには、 を押します。
-  を押すと、前の項目に移動します。
-  を押すと、次の項目に移動します。

-  を押すと、前の画面に戻ります。これにより、現在の画面で行った変更が破棄されることはありません。
-  を押すと、現在のプロセスをキャンセルします。

ホーム画面の動的なアイコン

以下の項目は、ホーム画面にのみ表示されます。

-  を押すと、プリンタのステータスに関する情報の表示、プリンタ設定の変更、素材の取り付けやインク サプライ品の交換などの操作の開始を実行できます。実行する必要がある操作がある場合には、小さな警告アイコンが表示されます。
- 上記のボタンの右側には、プリンタのステータスまたは最重要な現在のアラートを表示するメッセージがあります。このメッセージを押すと、現在のすべてのアラートのリストが表示されます。各アラートには重要度を示すアイコンが付いています。
-  を押して、現在印刷中のジョブに関する情報を表示します。
- 画面の中央部分のほとんどが 4 つの部分に分割されています。インクカートリッジ、素材、プリントヘッドとプリントヘッドクリーニング キット、およびネットワークの状態が要約されています。これらのいずれかの詳細については、画面の各部分を押してください。

プリンタがしばらくの間アイドル状態のままの場合、スリープ モードに移行して、フロントパネルの画面がオフに切り替わります。スリープ モードに移行するまでの時間を変更するには、 を押し、次に  を押して、**[[セットアップ]] - [[フロントパネル オプション]] - [[スリープモード待ち時間]]** を選択します。1～240 分に設定できます。

外的操作が行われると、プリンタはスリープ モードから起動して、フロントパネルの表示がオンに切り替わります。

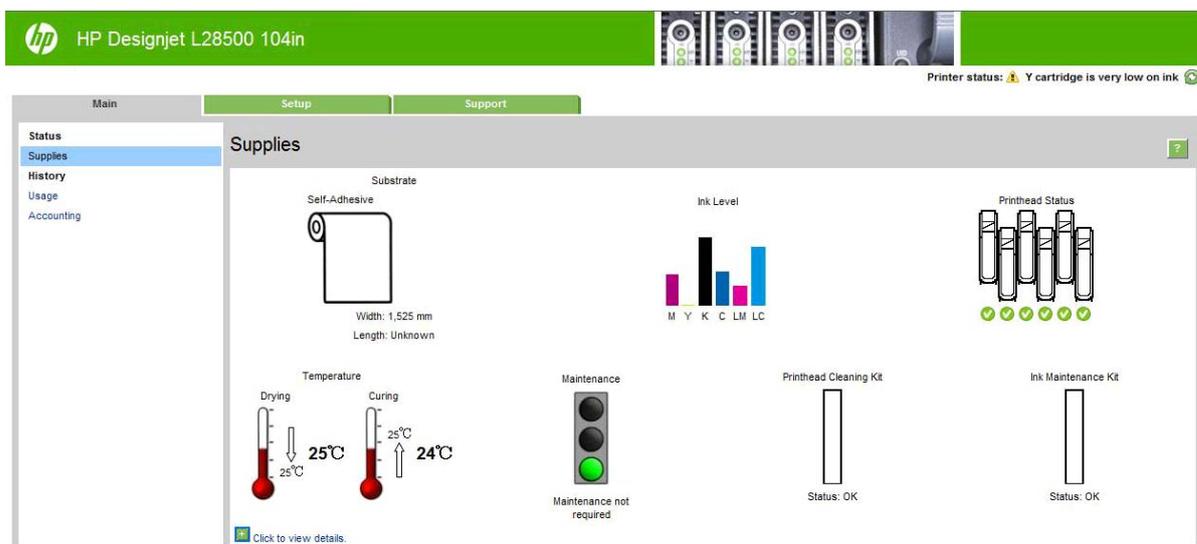
フロントパネルの特定の使用方法についての詳細は、このガイドで順を追って説明します。

内蔵 Web サーバ

内蔵 Web サーバはプリンタ内部で実行される Web サーバです。ユーザは内蔵 Web サーバを使用して、プリンタ情報の入手、設定やプリセットの管理、プリントヘッドの軸合わせ、新規ファームウェアのアップロード、および問題のトラブルシューティングを行うことができます。サービス エンジニアは、内蔵 Web サーバを使用して、プリンタの問題を診断するのに役立つ内部情報を取得できます。

内蔵 Web サーバにリモートからアクセスするには、コンピュータで一般的に使用される Web ブラウザを使用します。[17 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)を参照してください。

内蔵 Web サーバのウィンドウには 3 つのタブが表示されます。各ページの上部の近くにあるボタンで、オンライン ヘルプへのアクセスとサプライ品の注文ができます。



メインタブ

[メイン] タブでは、次の項目に関する情報が提供されます。

- 素材、インク、プリントヘッド、および保守に関するステータス
- 乾燥モジュールおよび硬化モジュールの温度
- 素材およびインクの使用状況とアカウントリング

セットアップタブ

[セットアップ] タブでは、次のタスクを実行できます。

- 測定単位や更新日などのプリンタ設定を指定する
- ネットワーク設定とセキュリティ設定を指定する
- 日付と時刻を設定する
- ファームウェアをアップデートする
- プリントヘッドの軸合わせ
- メディアプリセットをアップロードする
- 顧客の貢献プログラムへのサインアップと参加の設定

サポートタブ

[サポート] タブには、プリンタに関するさまざまな種類のヘルプが提供されています。

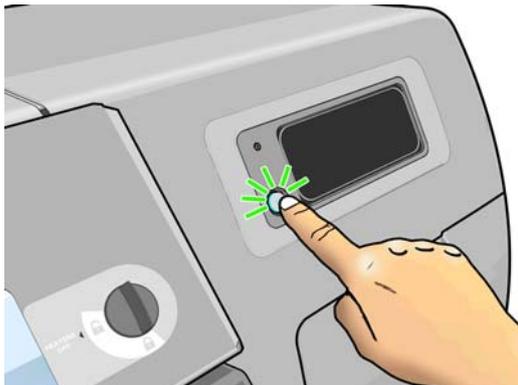
- さまざまなソースから役に立つ情報を参照する
- 問題のトラブルシューティング
- **HP Designjet** リンクにアクセスして、プリンタおよびアクセサリに関する技術サポートを得る
- サービス サポート ページにアクセスして、プリンタの使用状況に関する現在および過去のデータを表示する

プリンタをオン/オフにする

プリンタの電源をオンにするには、残留電流ブレーカーが上の位置になっていて、プリンタの背面の電源スイッチがオンになっていることを確認します。プリンタが自動的に起動しない場合、フロントパネルの **電源** ボタンを押します。

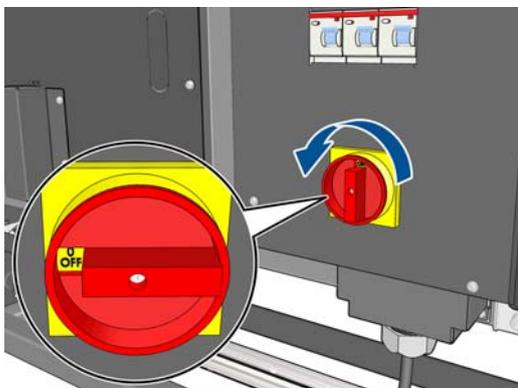
オンにしたままでも、電力は無駄になりません。電源をオンのままにすることにより、応答時間が向上します。一定時間使用しない場合、プリンタはスリープモードに移行して電力を節約します。何らかの操作を行うとただちにアクティブモードに戻り、印刷を再開することができます。

プリンタの電源のオン/オフを切り替える場合、通常はフロントパネルの**電源**ボタンを使用することをお勧めします。



この方法でプリンタの電源をオフにすると、プリントヘッドが自動的にプリントヘッドクリーニングカートリッジと接する形で格納され、プリントヘッドの乾燥を防止します。

ただし、長期間プリンタの電源をオフのままにする場合は、**電源**ボタンで電源をオフにした後、背面の電源スイッチも切ることをお勧めします。



後で電源を入れ直すには、背面の電源スイッチを使用します。プリンタが自動的に起動しない場合、フロントパネルの **電源** ボタンを押します。

プリンタの電源を入れると、プリンタの初期化に 5 分ほど時間がかかります。

プリンタの再起動

状況によって、プリンタの再起動を勧めるメッセージが表示される場合があります。これを行うには、フロントパネルの **電源** ボタンを押してプリンタの電源を切り、しばらく待ちます。次に**電源** ボタンをもう一度押します。これでプリンタが再起動します。

プリンタの再起動に失敗した場合、次の代替手順を試してください。

1. プリンタの背面にある電源スイッチでプリンタの電源をオフにします。残留電流ブレーカーが上の位置になっていることを確認します。
2. 10 秒間ほど待ちます。
3. 電源スイッチを使用して、プリンタの電源を入れます。
4. フロントパネルの電源ランプが点灯していることを確認してください。点灯しない場合は、電源ボタンを押してプリンタの電源を入れます。

2 接続およびソフトウェア手順

接続方法

プリンタの接続方法は以下のとおりです。

接続の種類	速度	ケーブルの最大長	その他
ギガビットイーサネット	高速。ネットワークトラフィックによって速度は異なります。	長い(100m=328 フィート)	追加機材(スイッチ)要

注記： ネットワーク接続速度は、ネットワーク上のすべてのコンポーネントに左右されます。これには、ネットワーク インタフェースカード、ハブ、ルータ、スイッチ、ケーブルなどがあります。コンポーネントのいずれかが高速で処理を行えない場合、接続速度は遅くなります。また、ネットワーク上の他のデバイスから送信される総トラフィック量も、接続速度に影響を与えます。

ネットワークに接続する

手順を実行する前に、以下を確認してください。

- プリンタがセットアップされ、電源が入っている。
- ギガビットスイッチまたはルータの電源が入っていて、正常に機能している。
- ネットワーク上のすべてのコンピュータの電源が入っていて、ネットワークに接続されている。
- プリンタがスイッチに接続されている。

プリンタをネットワークに接続して電源を入れたら、フロントパネルにプリンタの IP アドレスが表示されるのを確認してください(この例では、**12.34.12.34**)。表示された IP アドレスは、メモしておいてください。この IP アドレスは、後で内蔵 Web サーバにアクセスするときに使用できます。



この画面で IP アドレスを確認できなかった場合は、プリンタがネットワークに正常に接続されていないか、ユーザのネットワークに DHCP サーバが存在しないことが考えられます。DHCP サーバが存在しない場合は、IP アドレスを手動で設定する必要があります。[151 ページのプリンタの IP アドレスを取得できない](#) を参照してください。

RIP ソフトウェアをインストールするには、RIP の手順書 (HP 製品には付属していません) を参照してください。

3 セットアップのオプション

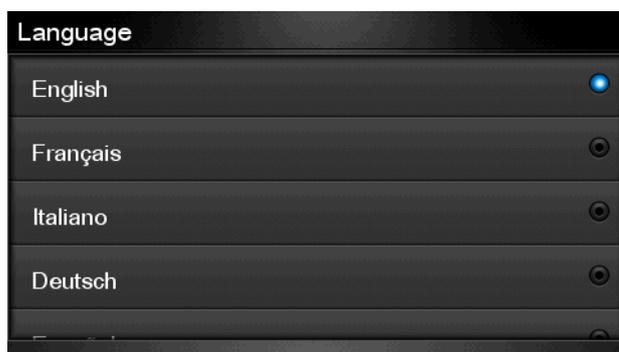
プリンタ設定オプション

フロントパネルの言語を変更する

フロントパネルのメニューおよびメッセージの言語を変更する方法は2つあります。

- 現在表示されているフロントパネルの言語を理解できる場合は、フロントパネルで 、 の順に押し、[セットアップ]-[フロントパネル オプション]-[言語] を押します。
- 現在表示されているフロントパネルの言語が分からない場合は、まずプリンタの電源を切ります。電源をオンにします。フロントパネルにアイコンが表示されたらすぐ、 を押し、それから  を押します。フロントパネルが少しの間点滅します。

どちらの方法でも、フロントパネルに言語選択メニューが表示されます。



希望する言語をハイライトさせて **OK** ボタンを押します。

日付と時刻を表示または設定する

プリンタの日付と時刻を表示または設定するには、フロントパネルで 、 の順に選択し、[セットアップ]-[フロントパネル オプション]-[日付と時刻オプション] を押します。

標高を設定する

プリンタがかなり標高が高い場所で動作している場合は、フロントパネルで 、 の順に押し、[セットアップ]-[標高の選択] を押し、動作中の標高をプリンタに知らせます。

特定のエラー状態についての電子メール通知を要求する

1. 内蔵 Web サーバで ([17 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)を参照)、[セットアップ] タブにある [電子メール サーバ] ページに移動し、以下のフィールドが正しく入力されていることを確認します。

- **[SMTP サーバ]**。プリンタから送信されるすべての電子メールメッセージを処理する送信メールサーバ (**[SMTP] 簡易メール転送プロトコル**) の IP アドレス。メールサーバが認証を必要とする場合、電子メール通知は機能しません。
 - **[プリンタのメールアドレス]**。プリンタから送信される各電子メールメッセージには、返信用アドレスを含める必要があります。このアドレスは実際には機能しなくても、固有のアドレスである必要があります。メッセージの受信者が送信元のプリンタを識別できるようにするためです。
2. 同じ **[セットアップ]** タブにある **[通知]** ページに移動します。
 3. **[新規]** アイコンをクリックして新しい通知を要求するか、**[編集]** アイコンをクリックして既存の通知を編集します。通知が送信される先の電子メールアドレスを選択し、エラーが発生した場合に通知メッセージを送信する項目を選択します。

ウォームアップ期間の変更

印刷するジョブがこれ以上ないとき、またはプリンタを事前に温めるとき (**RIP** の **[印刷の準備]** オプション)、別のジョブが到着した場合や、印刷ゾーンの温度が正しくないために生じる印刷品質の問題を回避する必要がある場合は、プリンタの乾燥および硬化ヒーターが指定された時間、指定された温度でオンのままになります。この状況でヒーターが動作を続ける温度および時間を選択するには、フロントパネルで 、 の順に押し、**[素材] - [素材の取り扱いオプション] - [準備温度 [45~55] °C]** や **[準備時間 [5~120] 分]** を押します。

スリープモード設定を変更する

プリンタの電源をオンにしたまま一定時間使用しなかった場合、電力節約のため、プリンタは自動的にスリープモードへ移行します。デフォルトの待ち時間は **30** 分間です。プリンタがスリープモードに移行するまでの待機時間を変更するには、フロントパネルで 、 を押し、**[セットアップ] - [フロントパネルオプション] - [スリープモード待ち時間]** を押します。必要な待ち時間を分単位で入力し、**[OK]** を押します。

警告音をオンまたはオフにする

プリンタの警告音のオン/オフを切り替えるには、フロントパネルで 、 の順に押し、**[セットアップ] - [フロントパネルオプション] - [警告音を有効にする]** または **[警告音を無効にする]** を押します。デフォルトでは、警告音は有効です。

フロントパネルの表示の明るさを変更する

フロントパネルの表示の明るさを変更するには、、 の順に押し、**[セットアップ] - [フロントパネルオプション] - [表示の明るさ]** を押して、スクロールバーを動かして値を選択します。**[OK]** ボタンを押して、その値を保存します。

測定単位を変更する

フロントパネルに表示される測定単位を変更するには、、 の順に押し、**[セットアップ] - [フロントパネルオプション] - [単位の選択]** を押し、**[インチ]** または **[メートル]** を押します。

測定単位は内蔵 Web サーバでも変更できます。

工場出荷時の設定に戻す

プリンタの設定を工場出荷時に設定された元の値に戻すには、フロントパネルで 、 の順に押し、**[セットアップ] - [リセット] - [工場出荷時の設定に戻す]** を押します。このオプションは、ギガビットイーサネットの設定を除く、すべてのプリンタの設定を元に戻します。

内蔵 Web サーバ設定オプション

内蔵 Web サーバにアクセスする

内蔵 Web サーバを使用すると、コンピュータで一般的に使用される Web ブラウザから、プリンタ情報をリモートで表示できます。

内蔵 Web サーバは、以下のブラウザでアクセスできます。

- Internet Explorer 6 以降 (Windows)
- Safari 2 以降 (Mac OS X)
- Mozilla Firefox 2 以降
- Google Chrome 7

コンピュータ上で内蔵 Web サーバを使用するには、Web ブラウザを開き、ブラウザのアドレスバーにプリンタの IP アドレスを入力します。フロントパネルのステータス画面にプリンタの IP アドレスが表示されます (この例では 12.34.12.34)。



この手順に従っても内蔵 Web サーバが開けない場合は、[151 ページの内蔵 Web サーバにアクセスできない](#)を参照してください。

内蔵 Web サーバの言語を変更する

内蔵 Web サーバは次の言語に対応しています。英語、ポルトガル語、スペイン語、カタロニア語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、および日本語。ここでは、Web ブラウザのオプションで指定された言語が使用されます。内蔵 Web サーバが対応していない言語が指定されている場合は、英語が使用されます。

言語を変更するには、Web ブラウザの [言語の優先順位] 設定を変更してください。たとえば、Internet Explorer のバージョン 6 を使用している場合は、[ツール] メニューに移動し、[インターネットオプション]-[言語] を選択します。[言語の優先順位] ダイアログボックスで、使用する言語がリストの最上部に表示されていることを確認します。

変更を完了させるには、Web ブラウザを閉じてから再び開きます。

プリンタへのアクセスを制限する

内蔵 Web サーバから、[セットアップ]-[セキュリティ] を選択して、管理者パスワードを設定できます。設定したら、このパスワードは、次のプリンタ機能を実行するために指定する必要があります。

- プリンタ設定の変更
- ファームウェアのアップデート

- プリンタの日付と時刻の変更
- アカウンティング情報のクリア

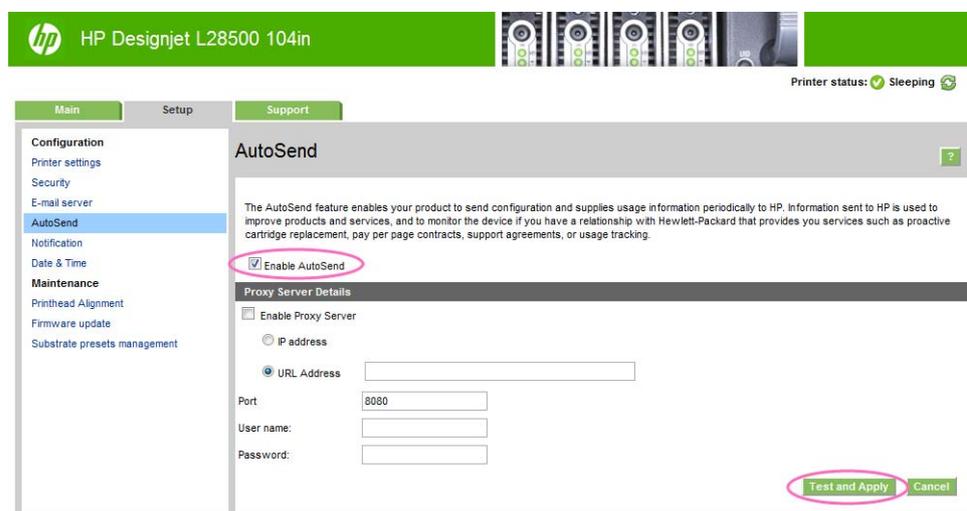
詳細については、内蔵 Web サーバのオンラインヘルプを参照してください。

管理者パスワードを忘れた場合、フロントパネルから現在のパスワードを削除できます。 ⓘ を押し、次に ⚙ を押して、[セットアップ] - [接続] - [詳細設定] - [内蔵 Web サーバ] - [EWS パスワードをリセット] を選択します。

顧客の貢献プログラムに参加

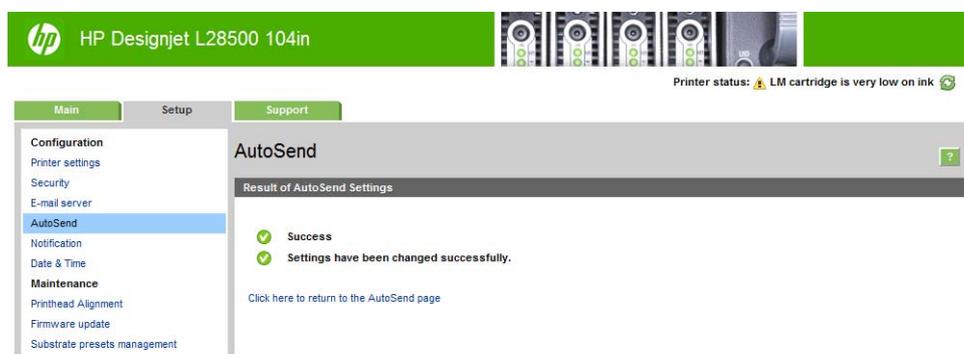
顧客の貢献プログラム (CIP) に参加して、製品の向上にご協力ください。収集したプリンタの使用データは、プリンタの使用方法、お客様にとって最も重要な製品機能を特定するのに役立ちます。収集されたすべてのデータは、HP のプライバシー ポリシーに従って使用されます。必須のアンケートやフォローアップ電子メールはありません。個人の連絡先情報は収集されません。参加はいつでも中止できます。

顧客の貢献プログラムへの参加は、内蔵 Web サーバの [セットアップ] タブにある、次のような特定の [AutoSend] ページで設定します。



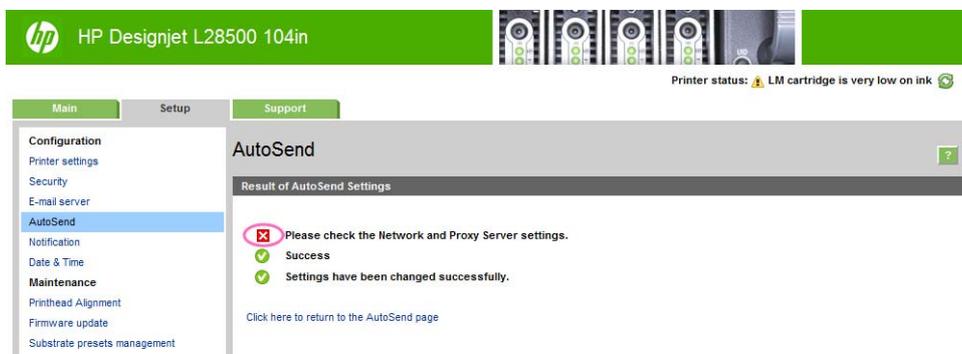
CIP にサインアップするには、次の設定手順を実行します。

1. **[Enable AutoSend]** ボックスをオンにします。これは、CIP プログラムのメインコントロールです。オンの場合、残りの設定に応じて参加できます。オフの場合は参加できません。
2. 画面の右下隅にある **[Test and Apply]** ボタンをクリックします。しばらくすると、次のようなウィンドウにテストの結果が表示されます。



3. [Result of AutoSend Settings] ウィンドウの最初のメッセージが **Success** で、上に示すようにすべての項目の前に緑色のチェックマークが付いている場合、設定が完了しています。この時点で、内蔵 Web サーバの別のタブを参照するか、ブラウザ ウィンドウを閉じることができます。

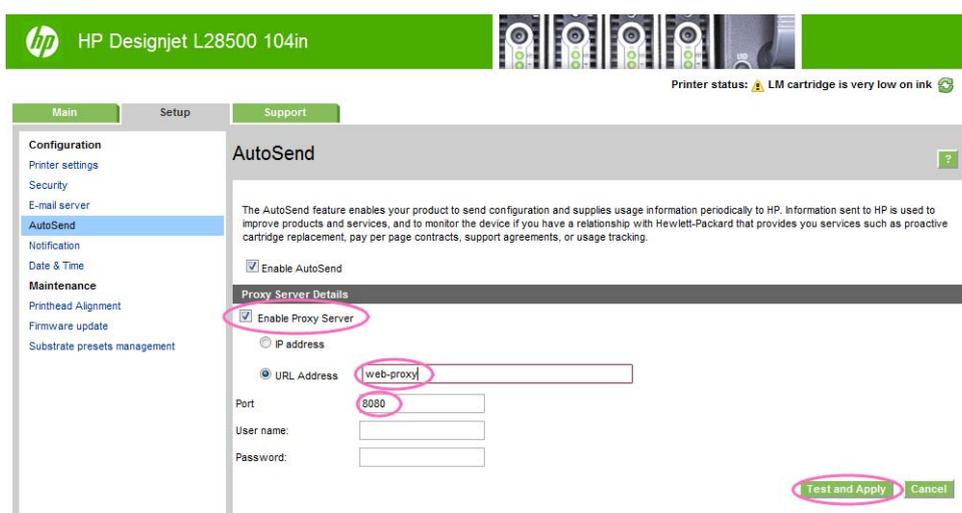
他のメッセージの場合 (たとえば、**Partial Success** など) で、いずれかの項目の前に赤色の十字マークが付いている場合、プロキシサーバの設定が必要な可能性があります。これは、プリンタとインターネットの間に存在し、両方に「話しかける」ことができる「仲介」コンピュータです。その結果表示されるウィンドウは、次のようになります。



[AutoSend] ページに戻るには、以下の操作を行います。

- ウィンドウの下の部分で **[Enable Proxy Server]** ボックスをオンにします。
- プロキシサーバの URL がわかっている場合 (たとえば、**http://proxy.mycompany.com** など。ネットワーク管理者または IT スタッフに問い合わせてください)、**[URL Address]** ボタンを選択し、対応するボックスに URL を入力します。プロキシサーバの IP アドレスがわかっている場合 (たとえば、**192.0.0.1** など)、**[IP アドレス]** ボタンを選択し、対応するボックスにアドレスを入力します。
- [ポート]** ボックスにプロキシポートを入力します。値はサイト固有ですが、通常はポート **80** です。
- プロキシサーバによっては、ユーザ名とパスワードが必要なことがあります。その場合、対応するボックスに入力します。よく分からない場合は、これらのフィールドは空のままにします。

ここで、たとえば [AutoSend] タブが次のように表示される可能性があります。



4. 画面の右下隅にある **[Test and Apply]** ボタンをクリックします。[Result of AutoSend Settings] ウィンドウの最初のメッセージが **Success** で、すべての項目の前に緑色のチェックマークが付いている場合、設定が完了しています。この時点で、内蔵 Web サーバの別のタブを参照するか、ブ

ラウザ ウィンドウを閉じることができます。前に赤色の十字マークが付いている項目がある場合、上のようにプロキシ設定の確認と修正が必要なことがあります。

4 素材の取り扱い

概要

ユーザはさまざまな種類の用紙に印刷できます。これらの用紙のすべてをこのガイドでは素材と呼びます。

素材のヒント

良好な印刷品質を得るためには、目的に合った適切な素材を選択することが非常に重要です。

素材の使用方法に関するヒントを以下に示します。

- 素材の種類に関わらず、印刷に使用する **24 時間前**には包装を解いて、使用する環境に素材を慣らすようにしてください。
- フィルムとフォト素材は、端を持つか、綿製の手袋をして取り扱ってください。このような素材には手の油分が付着しやすく、指紋が付く可能性があります。
- 素材の取り付けと取り外しの際は、素材をロールにしっかりと巻き付けておいてください。素材をロールにしっかりと巻き付けるには、ロールをプリンタから取り外す直前に、ロールの先端を芯にテープで止めておいてください。保管中はロールをテープで接着させておくことができます。巻き付け方が緩いと、取り扱いにくくなります。

 **注記：** ロールの先端を芯にテープで止めることは、重量のある素材の場合特に重要です。素材自体の硬さによって素材が緩み、芯から外れてしまう可能性があるからです。

- テキスタイルなどの素材によっては、巻き取りリールを使用すると、プリンタで素材を制御しやすくなるため、印刷品質が向上する可能性が高くなります。
- イメージに適さない素材を使用すると、印刷品質が低下する可能性があります。
- 適切な印刷品質設定を **RIP** で選択しているかどうかを確認します。
- ロール紙を取り付ける際は、取り付ける素材ファミリーを指定するように、常にフロントパネルにメッセージが表示されます。印刷品質を高くするため、適切な用紙の種類を指定する必要があります。素材がフロントパネルに表示されたファミリーに属していることを確認し、さらに、**RIP** の素材プロファイルと一致することも確認します。
- フロントパネルに表示される素材ファミリーが、取り付けした素材に対応していない場合、次の操作のいずれかを行います。
 - ロール紙をプリンタに取り付け直し、適切な素材ファミリーを選択します。[36 ページのプリンタからロール紙を取り外す](#)および[29 ページのロール紙をプリンタに取り付ける \(自動\)](#)を参照してください。
 - プリンタのフロントパネルで、、 の順に押し、**[素材] - [取付済の素材を変更]** を押します。

 **注記：** フロントパネルから素材ファミリーを変更した場合、素材送りのキャリブレーションは自動的に行われません。キャリブレーションを手動で要求するには、[130 ページの素材送りを調整する](#)を参照してください。

- 素材の他のヒントについては、[29 ページのロール紙をプリンタに取り付ける \(自動\)](#)と [32 ページのロール紙をプリンタに取り付ける \(手動\)](#)を参照してください。

△注意： フロントパネルを使用せずに手動で素材をプリンタから取り外すと、プリンタが破損する可能性があります。手動で取り外しを行うのは、素材の詰まりを取り除く必要がある場合のみにしてください。

サポートされている素材ファミリー

素材ファミリー	説明
粘着紙	<p>片面粘着性で取り外し可能なライナーが付いた PVC フィルム。アプリケーションの目的によって分類される 2 つの主要なタイプがあります。微光沢 (平らな面用) とキャスト (複雑な 3D 曲面用)。フィルムは次のように異なる仕上げをほどこすことができます。白、透明、反射、またはパーフォレイテッド。</p> <p>次に例を示します。HP 排気キャスト光沢粘着ビニール、Avery MPI3000 (微光沢)、Avery MPI1005 (キャスト)、3M IJ-380 (キャスト)</p>
バナー	<p>通常は PVC でコーティング加工されたポリエステル メッシュ。他にリサイクル可能な種類 (エコ バナー) もあります。バナーには、広範囲の秤量があり、フロントライト、バックライト、およびブロックアウトのカテゴリにグループ化できます。</p> <p>次に例を示します。HP 耐久フロントライトスクリーンバナー、Ultraflex Normandy Pro、Verseidag バナー</p>
繊維	<p>テキスタイルは、通常ポリエステルや綿糸で作られています。素材にインクがにじまないように、取り外し可能なライナーが付いているオープンなテキスタイルもあります。非常に硬いテキスタイル (麻布など) は、「低温 (HP Photoreal を含む)」素材として取り付けることをお勧めします。ライナーのない浸透性素材の使用は推奨されません。</p>
フィルム	<p>通常はポリエステルフィルムですが、他の素材はありません。95°C (200°F) 以上の温度に耐える素材の場合は、このファミリーの設定を選択します。そうでない素材の場合は、「低温 (HP Photoreal を含む)」素材として取り付けてください。</p> <p>例：Intelicoat SBL-7 ポリエステル バックライト フィルム</p>
合成紙	<p>合成樹脂を使用して製造された素材で、合成樹脂は主にポリプロピレン (PP) から押し出されています。プラスチック フィルムと類似した特性があります。ただし、外観と性質は木材パルプから製造された通常用の紙に類似しています。</p> <p>例：Ilford Omnijet 乾燥光沢ポータブル ディスプレイ フィルム</p>
水彩用ペーパー	<p>水性インクと互換性があるコーティング加工の軽量の紙製 (セルロース) の素材またはオフセット用紙。これらの素材は、溶剤系インクと互換性がありません。重量は通常、約 100g/m² です。</p>
溶剤用ペーパー	<p>溶剤系インクと互換性がある上面コーティング加工の紙製 (セルロース) の素材。重量は通常、120~200g/m² です。</p> <p>次に例を示します。HP ブルーバック ビルボード紙、Intelicoat GPIOF140、ブルーバック 素材</p>
低温 (HP Photoreal を含む)	<p>高温に弱い素材 (PP、HDPE、PET 薄膜)、および高い硬度と秤量 (200g/m² 以上) を持つ上面コーティング加工の紙製 (セルロース) の素材。</p> <p>例：HP フォト調ポスター紙</p>
メッシュ	<p>PVC でコーティング加工された目の粗い耐久性のあるポリエステル メッシュで、主に包装用に使用されます。これらの素材には、素材にインクがにじまないように、取り外し可能なライナーが付いています。</p> <p>例：Ultraflex ストリップメッシュ</p>

HP Media Finder は、テスト済みの素材でお使いのプリンタと互換性があるとされる素材を検索できるツールです。ツールによる検索は、製造元のブランド、素材の種類、用途、または地域別購入可能性で行います。ツールは、<http://www.hp.com/go/latexmediafinder/>にあります。

サポートされている HP 素材

素材	リサイクル	回収	FSC	Oeko
バナー				
HP HDPE 強化バナー		♻️		
HP 両面 HDPE 強化バナー		♻️		
HP 耐久フロントライトスクリーンバナー				
粘着素材 (一部日本未発売)				
HP 排気キャスト光沢粘着ビニール				
HP ワンビュー ウィンドウ用粘着ビニール				
HP 耐久光沢粘着ビニール				
HP 耐久マット粘着ビニール				
フィルム				
HP バックライト ポリエステル フィルム		♻️		
ファブリック				
HP ヘビー テクスタイル バナー		♻️		●
HP ライト テクスタイル ディスプレイ バナー		♻️		●
用紙				
HP PVC フリー ウォールペーパー (Greenguard、AgBB)			●	
HP ホワイト半光沢ポスター用紙	♻️			
HP フォト調ポスター紙	♻️			
HP ブルーバック ビルボード紙				
特殊素材				
HP DuPont Tyvek バナー		♻️		
HP 半光沢キャンバス				

略語の説明

♻️	リサイクル：一般に利用できるリサイクルプログラムでリサイクルできる素材。
♻️	回収：HP は、北米とヨーロッパで HP Large-format Media TakeBack プログラムを提供しています。このプログラムによって、HP のリサイクル可能なほとんどの素材を回収できます (ただし、利用状況は地域によって異なります)。詳細は、 http://www.hp.com/recycle/ を参照してください。このプログラムのほかに、これらの製品のリサイクルの機会が、現在限定地域でのみ利用できます。これらの製品のリサイクルについては、地元のリサイクル情報を確認してください。



FSC 認証の用紙には、FSC (Forest Stewardship Council : 森林管理協議会) の混合資源のラベルがついており、これらの素材が世界規模の責任ある森林管理の発展を支援することを示しています。木材は、FSC 認証の適切に管理された森林、企業管理の資源、またはリサイクル素材のものを使用しています。



印刷前の HP ヘビー テキスタイルバナー、HP ライト テキスタイルディスプレイバナー、および HP リンクルフリー ライナー付きフラグは、Oeko-Tex Standard 100 (エコテックス規格 100) に準拠する Oeko-Tex 認証品です。この規格は、あらゆる生産段階におけるテキスタイルの原材料、中間製品、および最終製品に対して、グローバルに統一された試験および認証を行うシステムです。農薬、アレルギー含有染料、有機スズ化合物などの化学物質の排出に対する検査に合格しています。

Greenguard

HP ラテックス インクを使用して印刷された HP PVC フリー ウォールペーパーは、低排出製品の GREENGUARD 製品リストに表示され、GREENGUARD Children & Schools 規格の検査に合格しています。印刷物は、GREENGUARD 認証でも、GREENGUARD Children & Schools 認証でもありません。GREENGUARD Environmental Institute は、屋内の製品、環境、および建造物に対する屋内空気許容基準を定めた ANSI (American National Standards Institute : 米国規格協会) 認証の規格策定元です。 <http://www.greenguard.org/> を参照してください。

AgBB

AgBB (Committee for Health-related Evaluation of Building Products : 建材に関する健康関連評価委員会) は、屋内用建材からの揮発性有機化合物 (VOC) の放散に関する健康関連評価の試験基準および評価案を含む、ドイツの建材に関する統一された再現可能な健康関連評価の基本原則を策定しました。

浸透性素材

浸透性が制限された素材をこのプリンタで使用する場合があります。ただし、浸透性素材がプリンタに損傷を与える可能性があります。

素材の多孔性を確認するには、次のように進めます。

1. プリンタに素材が取り付けられている場合は、その素材を取り除きます。
2. 白色の光沢粘着ビニールを 15 × 50mm の大きさにカットします。
3. その粘着ビニールを、以下のようにプラテンに貼り付けます。



4. 確認する素材を取り付けます。
5. RIP ソフトウェアを開きます。
6. プリンタの中からテスト ファイル http://printerIP/hp/device/webAccess/images/Ink_trespassing_check.pdf をダウンロードします。printerIP はプリンタの IP アドレスです。

7. 今後この素材に対して使用する予定のパス数およびメディアプリセット (またはインク量の類似したプロファイル) を使用してテスト ファイルを印刷します。
8. 素材を取り外します。
9. プラテンから粘着ビニールを剥ぎ取ります。



10. プラテンから取った粘着ビニールを見ます。
 - 粘着ビニールが完全に白い (インクが付着していない) 場合、テストした素材は非多孔性であり、このガイドに記載しているように印刷に使用できます。
 - 粘着ビニールがほとんど白くない場合 (上の例を参照)、テストした素材は多孔性であるため、このプリンタでは使用しないでください。
 - 粘着ビニールの色が **PANTONE 427C** より明るい場合、テストした素材は短い印刷実行に使用できます。

 **注記：** 多孔性素材に印刷すると、印刷品質が低下し、保証の対象外のサービス修理が必要になる可能性があります。

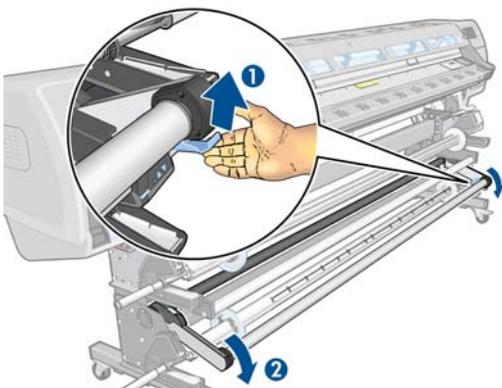
11. プラテンのクリーニングを行う：[101 ページのプラテンのクリーニングを行う](#) を参照してください。

ロール紙をスピンドルに取り付ける

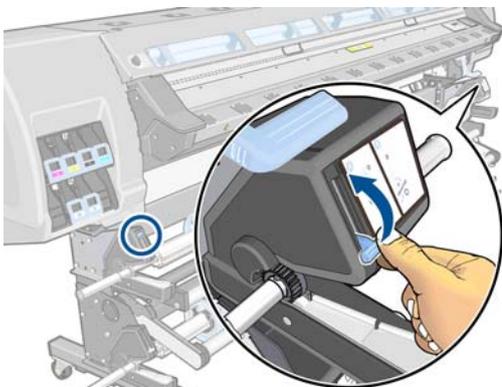
 **ヒント：** この説明の代わりとして、フロントパネルにこのプロセスのアニメーションを表示できます。、 の順に押し、**[素材] - [素材の取り付け] - [スピンドルの取り付け方法]** を押します。

1. プリンタのキャスターがロックされ (ブレーキレバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

2. テンションバーが上の位置にある場合、レバーを持ち上げることで下げます。

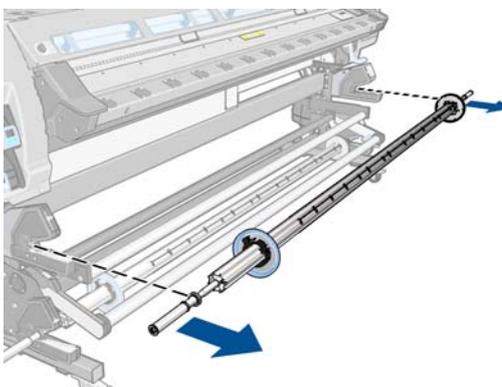


3. スピンドルロック レバーを上げて、スピンドルを外します。



4. スピンドルを取り外します。

⚠ 注意： スピンドル サポートには指を入れないでください。

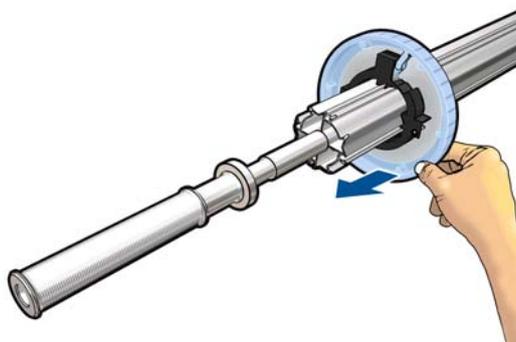


スピンドルの両端には、ロール紙を正しい位置に固定するストッパが付いています。左端の青いストッパを取り外して、新しいロール紙を取り付けます (必要に応じて、右端のストッパも取り外せます)。ストッパはスピンドルに沿ってスライドし、異なる幅のロール紙が固定されます。

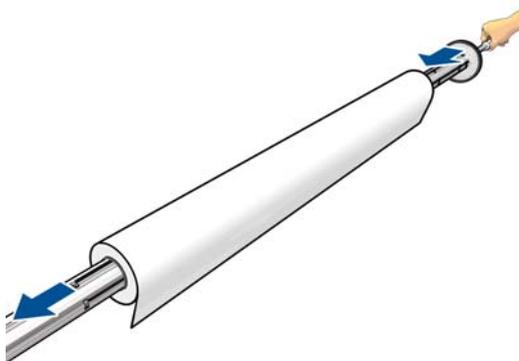
5. 青いストップのロックを解除します。



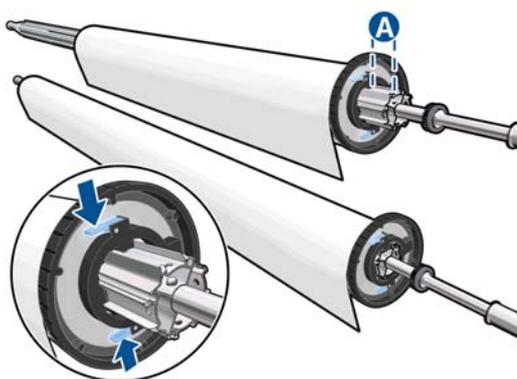
6. スピンドルの左端からストップを取り外します。



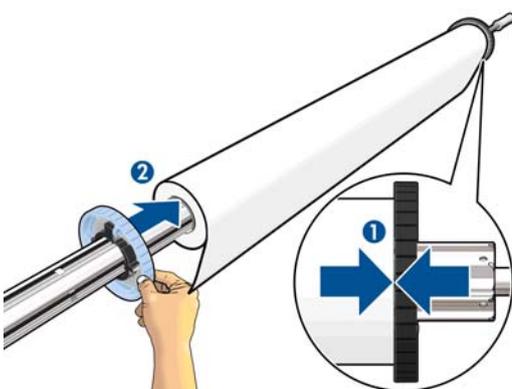
7. スピンドルをロール紙に取り付けます。ロール紙が長くて重い場合は、取り扱いに2人必要になることがあります。



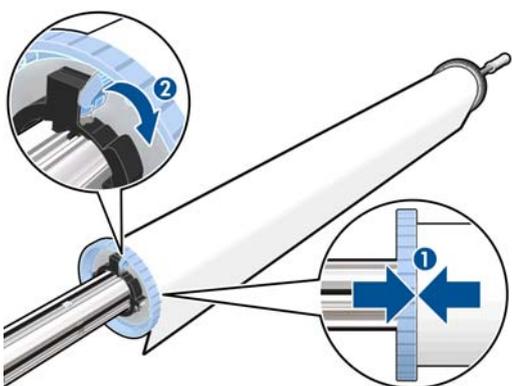
8. スピンドルの右ストップには位置が2つあります。1つ目の位置は、プリンタの最大幅のロール用で、2つ目の位置は、幅の狭いロール用です。狭いロール用の2つ目の位置を忘れずに使用してください。これにより、乾燥処理が改善され、印刷速度が上がります。



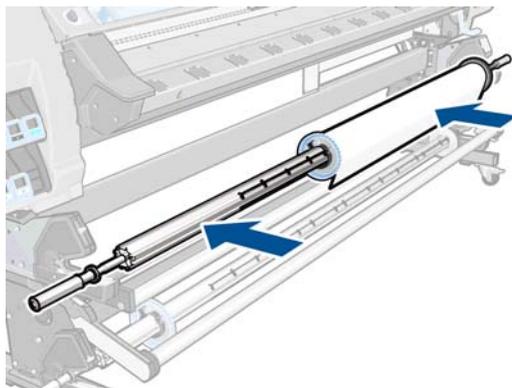
9. スピンドルの上端に青いストップを取り付け、ロール紙の端に向けて押し込みます。



10. 素材に接触しているときは、青いストップをロックします。



11. スピンドルをプリンタの方向に静かに動かします。



さまざまな素材を日常的に使用する場合は、異なる素材のロールをあらかじめ取り付けられたスピンドルを複数準備しておく、ロール紙の交換をすばやく行うことができます。追加のスピンドルは別途購入できます。

ロール紙をプリンタに取り付ける (自動)

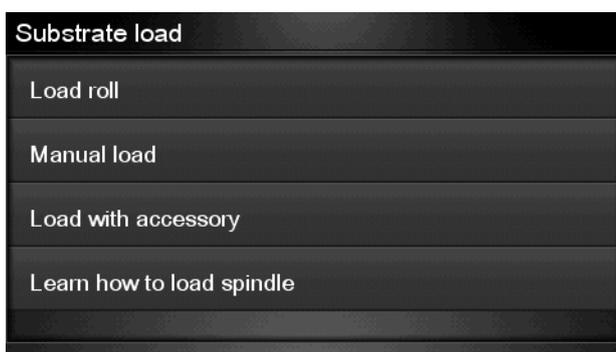
この手順を始める前に、ロール紙をスピンドルに取り付けておく必要があります。[25 ページのロール紙をスピンドルに取り付ける](#)を参照してください。

素材の通常の最小幅は、**23 インチ (584mm)** です。素材を最小幅 **10 インチ (254mm)** に狭めて取り付けるには、フロントパネルで、、 の順に押し、**[素材] - [素材取り扱いオプション] - [狭い素材の有効化]** を押します。このオプションを使用した場合、印刷品質は保証されません。

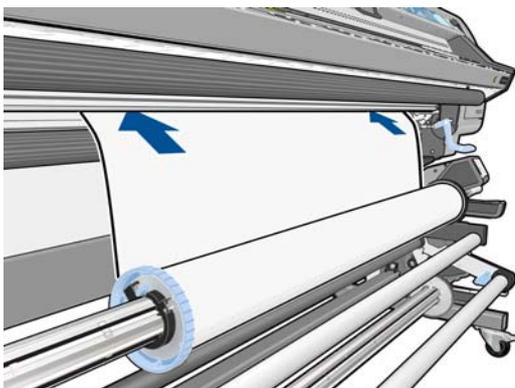
 **ヒント：** テキスタイル素材のロール紙を取り付けるには、[47 ページの取り付けアクセサリ](#)を参照してください。

ヒント： 極薄素材や極厚素材を取り付ける場合、または丸まりやすい素材を取り付ける場合は、手動の取り付け手順に従って、素材の詰まりやプリントヘッドのつぶれの危険を避ける必要があります。[32 ページのロール紙をプリンタに取り付ける \(手動\)](#)を参照してください。

1. プリンタのフロントパネルで、、 の順に押し、**[素材] - [素材の取り付け] - [ロールの取り付け]** を押します。



2. 素材の先端を、黒いリブ状のローラーの上に慎重に挿入します。素材に張りがあることを処理中に確認しながら行います。素材を手で巻き直さないでください。ただし、プリンタから手で巻き直すように指示が出た場合はそれに従ってください。



⚠ **警告!** 素材を取り付ける間、プラテンのゴムのホイールに触れないようにしてください。ホイールが回転して皮膚や髪、衣服を巻き込むおそれがあります。

⚠ **警告!** プリンタの素材経路に指を入れないように注意してください。

プリンタが素材の先端を検出して確認すると、プリンタのブザーが鳴ります。

3. プリンタでエッジホルダが確認された場合は、フロントパネルにプラテンから取り外すように指示するメッセージが表示される場合があります (メッセージが間違っている場合もあります。プリンタにはエッジホルダを検出するセンサーはありません)。

4. 取り付ける素材の種類を選択します。



📄 **注記:** フロントパネルではなく、RIP で使用している特定の素材の名前を選択する必要があります。

📄 **注記:** RIP の素材設定はフロントパネルの設定より優先されます。

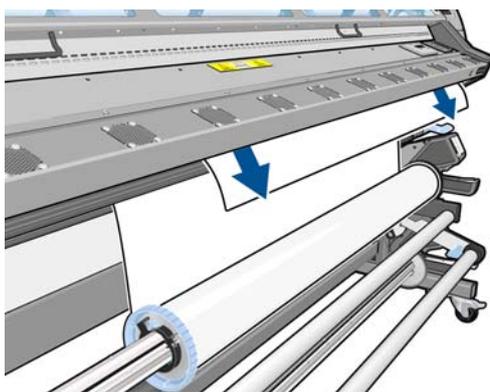
5. ロールに素材の長さを入力するオプションがあります。そのオプションを選択した場合、それ以降使用される素材の量が記録されます。[53 ページの素材の長さのトラッキング](#)を参照してください。



6. プリンタは、さまざまな方法で素材を確認し、スキューやテンションの問題を修正するようにメッセージを表示する場合があります。

 **注記：** 最大許容量のスキューを以下のようにフロントパネルで指定できます。 の順に押し、**[素材] - [素材取扱いオプション] - [最大スキューの設定]** を押します。

7. そのまましばらくすると、素材が下の図のようにプリンタから出てきます。



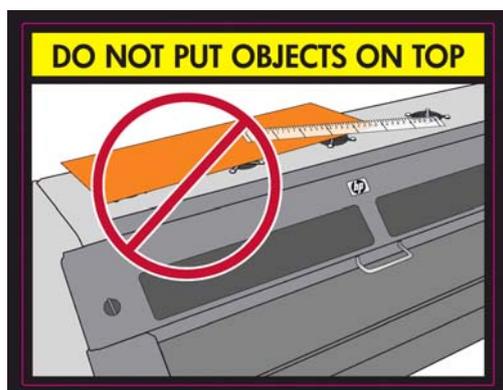
 **注記：** 素材の取り付け作業中に予期しない問題が発生した場合は、[139 ページの素材が正しく取り付けられない](#)を参照してください。

8. 不透明なフチのない透明な素材を取り付けている場合は、素材の幅と、プリンタの側面プレートから右端までの距離(硬化モジュールの前面にあるルーラーが示す)を入力するように求められます。
9. 両面印刷を選択した場合は、フロントパネルに質問が表示されます。
10. プリンタは素材送りのキャリブレーションを行います。

11. プリンタは、印刷可能であることを示します。



上部のファンを覆わないように注意してください。



巻き取りリールの使用方法については、[36 ページの巻き取りリール](#)を参照してください。

ロール紙をプリンタに取り付ける (手動)

手動取り付けプロセスは、次の場合に使用する必要があります。

- 素材が薄すぎるか厚すぎる。
- 素材の端がほつれている。
- 素材の両端が丸まりやすい。
- 素材の印刷面が外側を向いている。

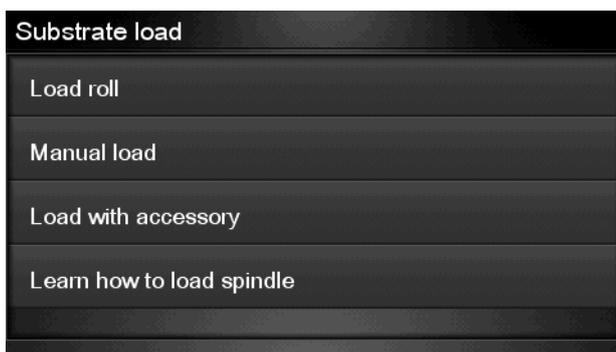
その他の場合には、自動取り付けプロセスをお勧めします。[29 ページのロール紙をプリンタに取り付ける \(自動\)](#)を参照してください。

この手順を始める前に、ロール紙をスピンドルに取り付けておく必要があります。[25 ページのロール紙をスピンドルに取り付ける](#)を参照してください。

素材の通常の最小幅は、**23 インチ (584mm)** です。素材を最小幅 **10 インチ (254mm)** に狭めて取り付けるには、フロントパネルで、、 の順に押し、**[素材] - [素材取り扱いオプション] - [狭い素材の有効化]** を押します。このオプションを使用した場合、印刷品質は保証されません。

 **ヒント：** テキスタイル素材のロール紙を取り付けるには、[47 ページの取り付けアクセサリ](#)を参照してください。

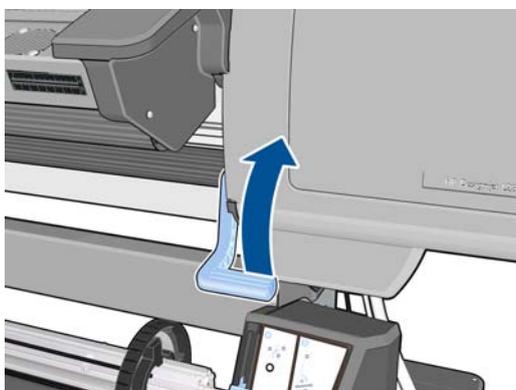
1. プリンタのフロントパネルで、、 の順に押し、**[素材] - [素材の取り付け] - [手動取り付け]** を押します。



この手順はオプションです。代わりに、手順 2 から始めることもできます。

プリンタでエッジホルダが確認された場合は、フロントパネルにプラテンから取り外すように指示するメッセージが表示される場合があります (メッセージが間違っている場合もあります。プリンタにはエッジホルダを検出するセンサーはありません)。

2. 素材調整レバーを上がるまで持ち上げます。

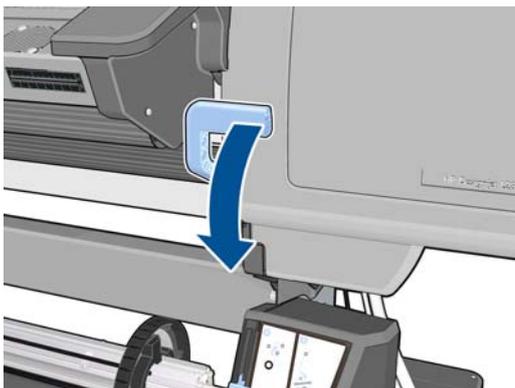


3. 素材の先端を、黒いリブ状のローラーの上に慎重に挿入します。素材に張りがあることを処理中に確認しながら行います。素材を手で巻き直さないでください。ただし、プリンタから手で巻き直すように指示が出た場合はそれに従ってください。
4. 素材が印刷プラテンに届くまで送り込んでください。ウィンドウを開けると、素材を楽に引き出せます。

⚠ 警告! プリンタの乾燥筐体に触れないようにしてください。乾燥モジュールおよび硬化モジュールの電源を切断するウィンドウラッチを開いた後でも、内部の表面は熱くなっている可能性があります。

💡 ヒント: 使用している素材が丸まりやすい場合は、素材の端がプリンタの外に出るまで素材を送り込みます。巻き取りリールの使用もお勧めします。巻き取りリールを使用しない場合は、フロントパネルからカッターを無効にすることをお勧めします。

5. 素材調整レバーを下がるまで引き下げます。



6. 取り付ける素材の種類を選択します。



 **注記：** フロントパネルではなく、RIP で使用している特定の素材の名前を選択する必要があります。

 **ヒント：** 極薄素材を取り付ける際には、常に素材の種類に [バナー] を選択して、取り付け中に加えられるバキュームのプレッシャを最小限に抑えます。極厚素材を取り付ける際には、常に素材の種類に [HP フォト調] を選択して、バキュームのプレッシャを最大限に利用します。取り付けを終了したら、印刷する前にフロントパネルに移動して、以下のように取り付ける素材を適切な種類に変更します。、 の順に押し、[素材] - [取付済の素材を変更] を押します。

ヒント： 巻き取りリールを使用してテキスタイル素材を手動で取り付ける場合は、素材の種類を選択する前に、フロントパネルで [素材を移動] ボタンを押して、プリンタ内の詰まる可能性がある箇所から素材を先に送り出すことをお勧めします。これにより、この段階で素材の詰まりを防ぐだけでなく、他の素材の問題の可能性も避けることができます。さらに、スキューの通常の確認もスキップすることができます。

7. プリンタは、さまざまな方法で素材を確認し、スキューやテンションの問題を修正するようにメッセージを表示する場合があります。

 **注記：** 最大許容量のスキューを以下のようにフロントパネルで指定できます。、 の順に押し、[素材] - [素材取扱いオプション] - [最大スキューの設定] を押します。

8. 不透明なフチのない透明な素材を取り付けている場合は、素材の幅と、プリンタの側面プレートから右端までの距離 (硬化モジュールの前面にあるルーラーが示す) を入力するように求められます。

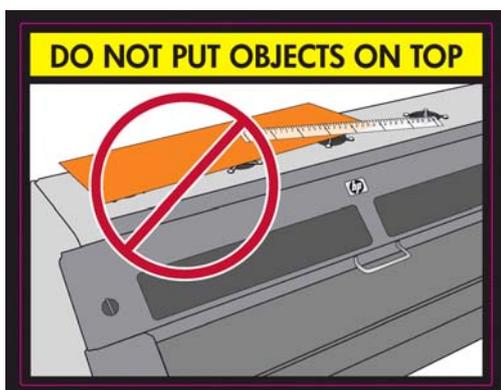
9. 両面印刷を選択した場合は、フロントパネルに質問が表示されます。

10. プリンタは素材送りのキャリブレーションを行います。

11. プリンタは、印刷可能であることを示します。



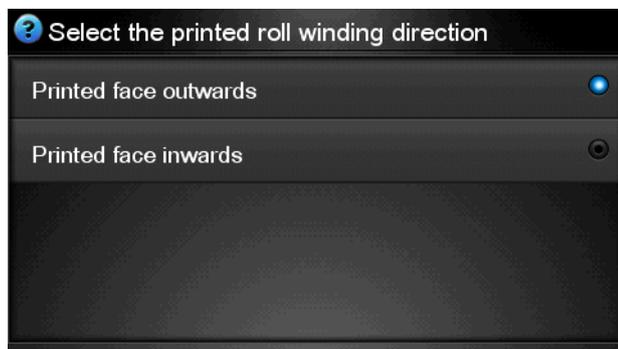
上部のファンを覆わないように注意してください。



カット紙をプリンタに取り付ける

プリンタは、素材のロール紙を使用するように設計されています。カット紙をプリンタに取り付けることができます。ただし、印刷品質は保証できません。さらに、スキューを避けるのが困難になる場合があります。

- カット紙は、**1067mm**以上の長さを使用する必要があります。
- カット紙は、通常のロール紙の取り付けプロセス（素材に応じて自動または手動）に従って取り付けます。
- 取り付けプロセス中に、プリンタは、スピンドルを両方向に回転して、ロール紙の巻き取り方向を検出しようとします。素材がスピンドルから外れている場合は、次のメッセージが表示されます。

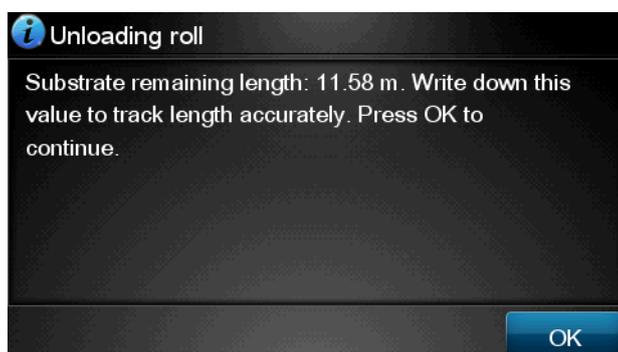


- カット紙の取り付けで過剰なスキューが生じる可能性があります。その場合、プリンタはスキューを自動的に修正できない可能性があります。プリンタが測定するスキューが **3mm/m** を超え

た場合、取り付けを停止してやり直すことをお勧めします。ただし、スキューが許容範囲内の場合は、自動スキュー修正をスキップするように選択できます。それには、プロンプトメッセージが表示されたときに、**[現在のスキューを続行]** を選択します。

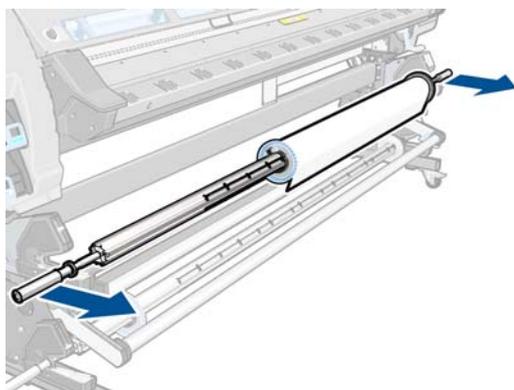
プリンタからロール紙を取り外す

1. 印刷中に巻き取りリールを使用した場合は、印刷されたロール紙を巻き取りリールから取り外します。[44 ページのロール紙を巻き取りリールから取り外す](#)を参照してください。
2. プリンタのフロントパネルで、、 の順に押し、**[素材] - [素材の取り外し] - [ロールの取り外し]** を押します。
3. プリンタにより素材の長さが記録されている場合、フロントパネルに残りの長さが表示されるため、後で参照できるように書き留めておくことができます。[53 ページの素材の長さのトラッキング](#)を参照してください。



[OK] を押して作業を続けます。

4. プリンタによりロールが巻き取られたら、スピンドルロックレバーを持ち上げます。
5. ロール紙の右端を最初に引き出して、プリンタから取り外します。取り外し作業の最中に、スピンドルサポートに指を入れしないでください。

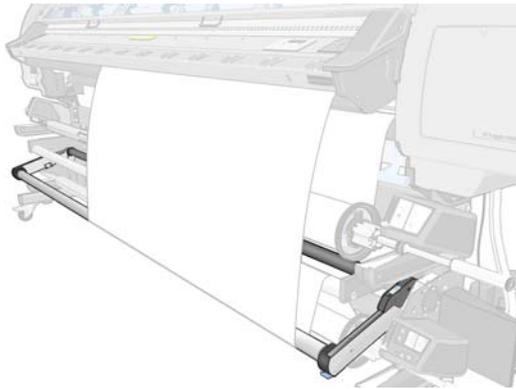


巻き取りリール

巻き取りリールは、フロントパネルで有効にして操作する必要があります。巻き取りリールが有効になると、**巻き取りリールは有効です** というメッセージがフロントパネルの **[用紙]** タブに表示されます。巻き取りリールが有効になっていない場合、有効にするには、、 の順に押し、**[素材] - [巻き取りリールの有効化]** を押します。**[はい]** を押して確認し、フロントパネルの指示に従います。

テンションバー

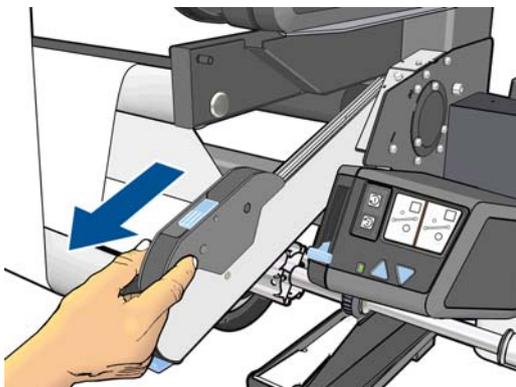
巻き取りリールを使用する場合、テンションバーの重みで垂れ下がる素材のループが必要です。



テンションバーには、出力テンションを上げるための釣り合い重りがあります。素材タイプに応じて2つの位置(中または外)のいずれかに設定できます。



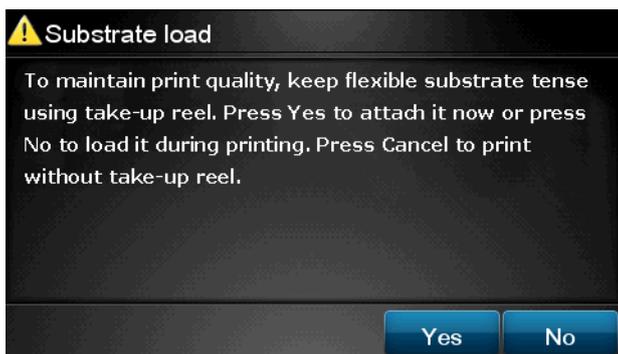
テキスタイル素材の場合のみ、前にする必要があります。



ロール紙を巻き取りリールに取り付ける

1. プリンタのフロントパネルで、、の順に押し、[素材] - [巻き取りリールの有効化] を押します。

2. フロントパネルで、巻き取りリールの取り付けを今すぐ行うか、印刷中に行うかを選択するメッセージが表示されます。



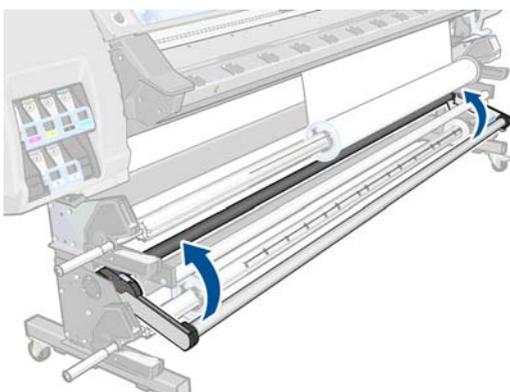
印刷中に巻き取りリールを取り付ける場合は、あらかじめ処理手順に慣れておいてください。巻き取りリールを印刷中に取り付ける場合、プリンタが素材を給紙および印刷している間に処理を完了させる必要があります。印刷中に巻き取りリールを取り付けると、約 **1.5m** の素材を節約できます。

💡 ヒント：すでに巻き取りリールを取り付けているにも関わらずプリンタで認識されなかった場合は、**[印刷中に取り付け]**を選択すると時間を多少節約できます。

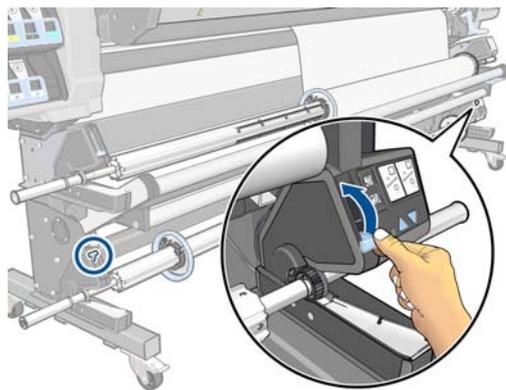
ヒント：印刷中に巻き取りリールを取り付けるときに不必要な移動を避けるため、巻き取りリールの巻き取り方向スイッチはオフの位置にすることを勧めます ([44 ページのロール紙を巻き取りリールから取り外す](#)を参照)。素材の先端を芯に取り付け、素材がまっすぐになったら、巻き取り方向スイッチを好みに応じて位置 **1** または **2** に切り替えます。**1** に設定すると、印刷するイメージが上向きになるように素材を巻き取ります。**2** に設定すると、印刷するイメージが下向きになるように素材を巻き取ります。

次の手順は、取り付けを今すぐ行うように選択していることが前提になります。後で印刷中に取り付ける場合も同じ操作を完了する必要がありますが、フロントパネルからのガイダンスはありません。

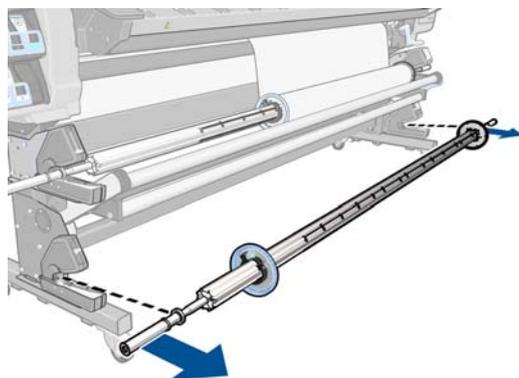
3. テンションバーが高い位置になっている (上) ことを確認します。



4. 2つのレバーを持ち上げることで、巻き取りリールのロックを解除します。



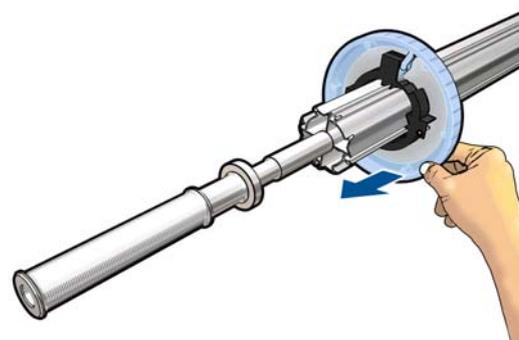
5. 巻き取りリールを取り外します。



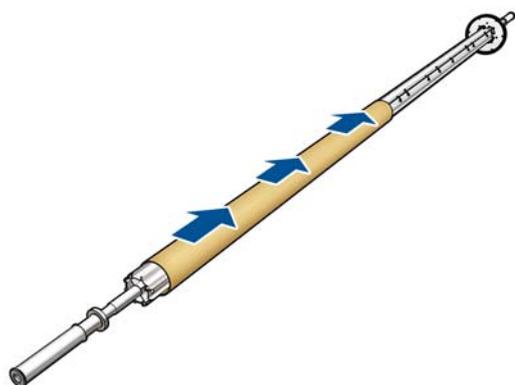
6. 青いストッパのロックを解除します。



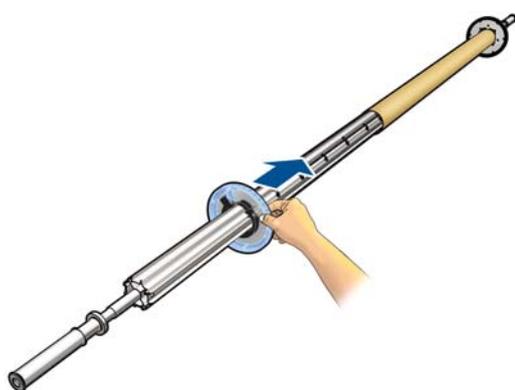
7. スピンドルの左端からストッパを取り外します。



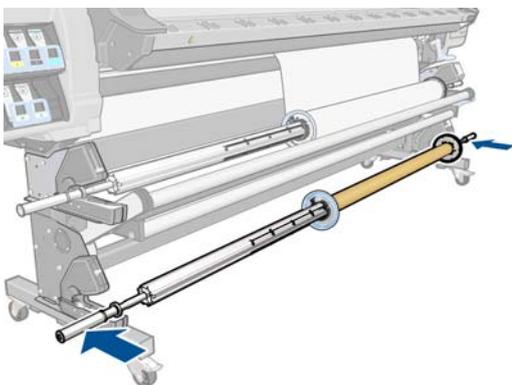
8. スピンドルの芯を巻き取りリールに取り付けます。芯は、少なくとも素材と同じ幅である必要があります。



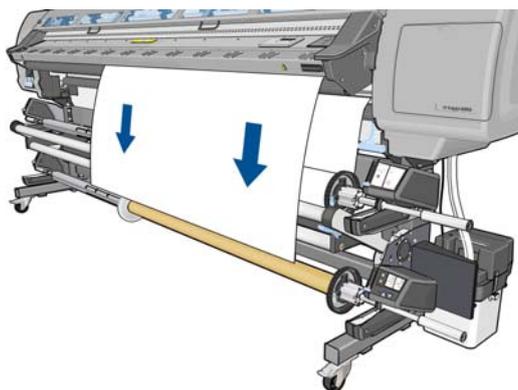
9. 巻き取りリールに青いストッパを取り付けます。芯に接触するまでスライドしてからロックします。



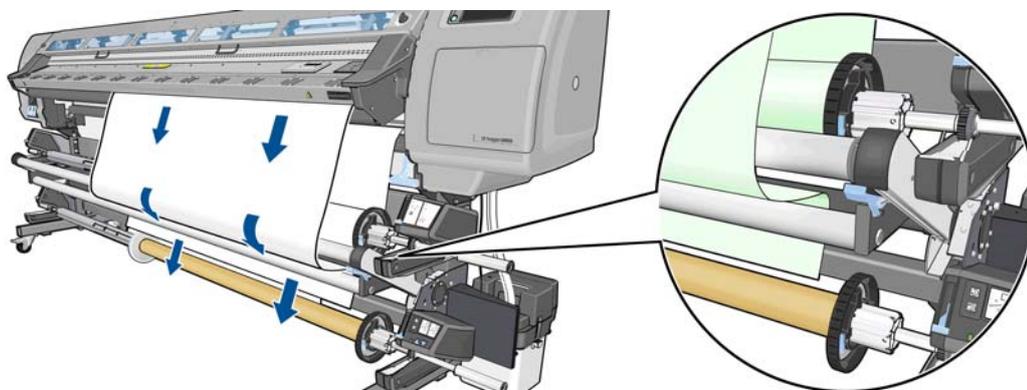
10. 巻き取りリールの両端をしっかりと押してプリンタに取り付けます。



11. フロントパネルの [素材] メニューにある [素材を移動] オプションを使用して、素材を送ります。素材がスピンドルに届くまで送ります。

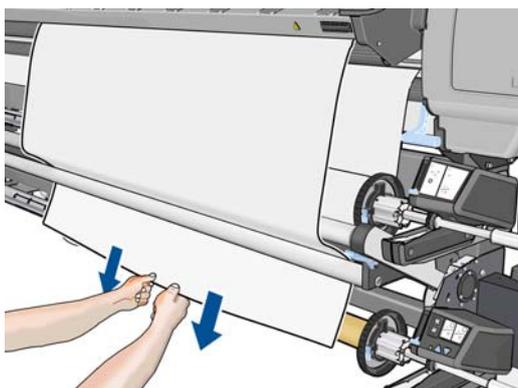


12. ダイバータとテンションバーの間に素材を通します。

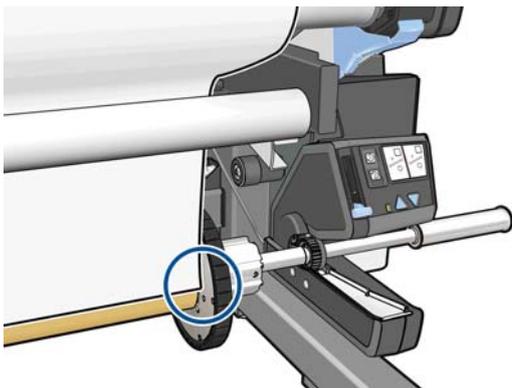


13. 素材の先端の中心を下に引き下げて素材を伸ばします。プリンタから余分な素材を引き出さないでください。

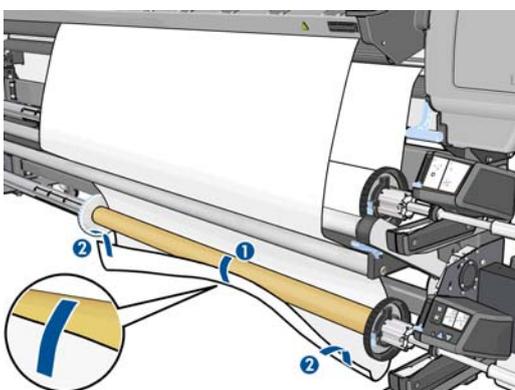
 **注記：** 印刷中に巻き取りリールを取り付ける場合、ピンと張った状態で素材を引き出す必要はありません。印刷開始後に必要な長さで素材がプリンタから排出されたら、素材をスピンドルの芯にテープで止めます。



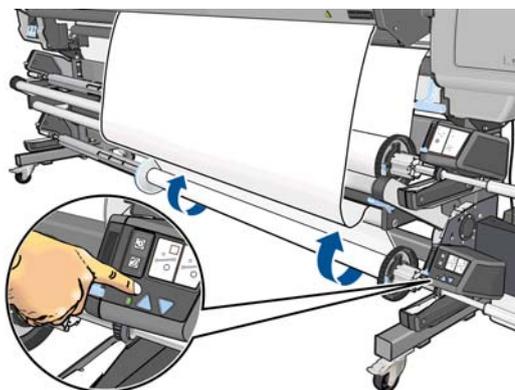
14. 素材の右側が、巻き取りリールの右側のストッパに揃うようにします。



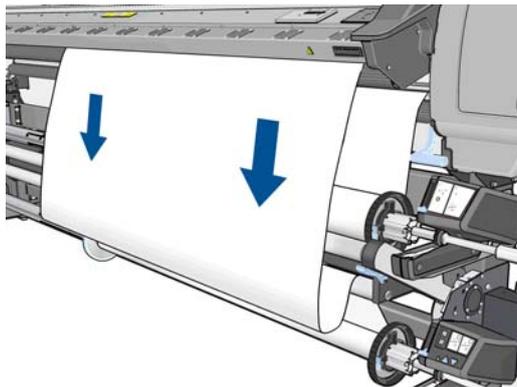
15. 素材の先端を芯の中央に当ててテープで止め、次に芯の両端に当ててテープで止めます。素材が真っすぐに取り付けられていることを確認します。



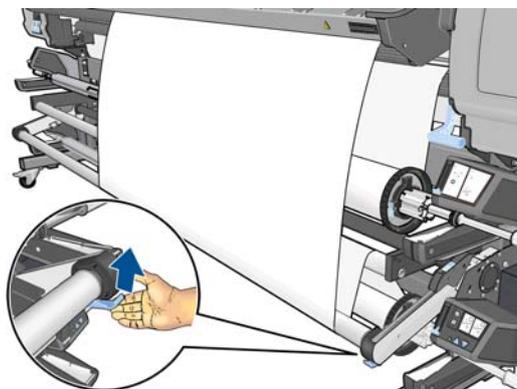
16. 巻き取りリールモーターの送りボタンを使用して巻き取りリールを1回転進め、素材が芯にしっかり取り付けられていることを確認します。



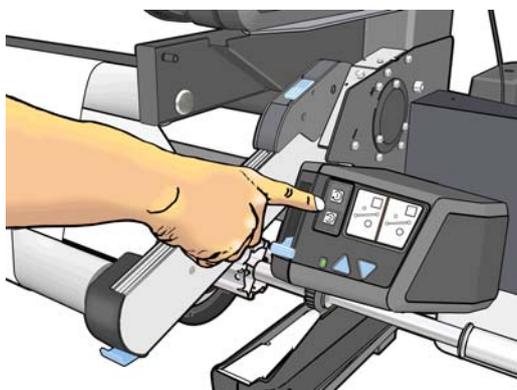
17. フロントパネルの **OK** ボタンを押します。プリンタから素材が排出されます。



18. レバーを持ち上げてテンションバーを下げます。

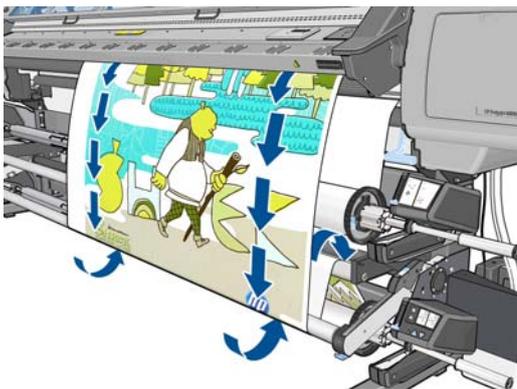


19. 巻き取りリール モーターの巻き取り方向スイッチを使用して、巻き取り方向を選択します。**1** に設定すると、印刷するイメージが上向きになるように素材を巻き取ります。**2** に設定すると、印刷するイメージが下向きになるように素材を巻き取ります。



20. フロントパネルの **OK** ボタンを押します。巻き取りリールが正しく取り付けられました というメッセージが表示されます。

21. 下の図に、印刷時のプリンタの様子を示します。プリンタから排紙された素材が、テンションバーまで垂れ下がってダイバータを越え、再度巻き取りリールまで下がっていきます。



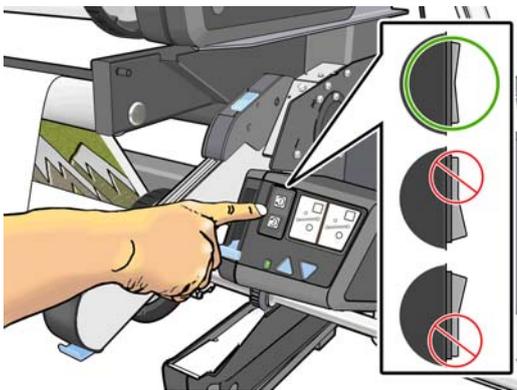
 **注記：** 巻き取りリールを使用すると、カッターはオフになります。

ロール紙を巻き取りリールから取り外す

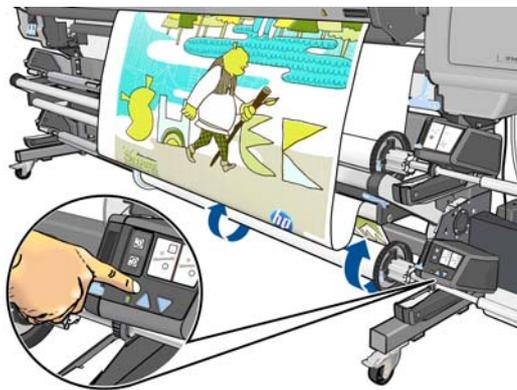
1. プリンタのフロントパネルで、、 の順に押し、**[素材] - 巻き取りリールの無効化** を押します。

素材がプリンタから排出され、カットが可能になります。

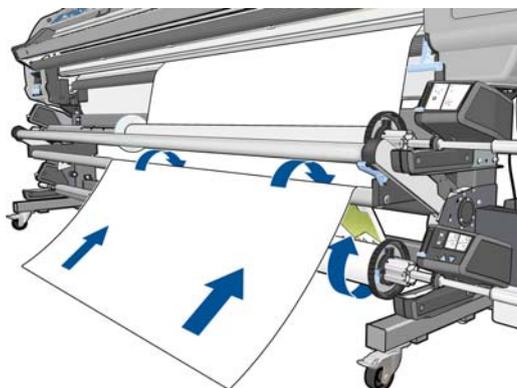
2. 巻き取り方向スイッチを【オフ】の位置にします。スイッチは中央が【オフ】の位置です（つまり、スイッチが1および2のどちらの位置にもない状態）。



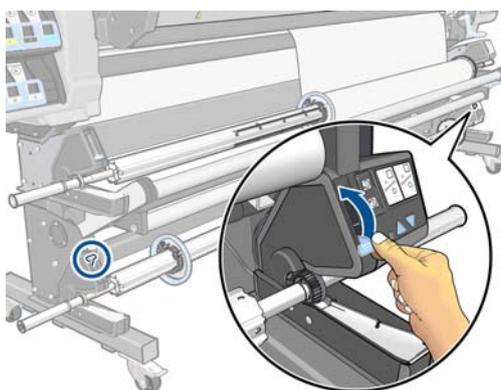
3. テンションバーを上位の位置に上げます。
4. 巻き取りリール モーターの送りボタンを押して、巻き取りリールの余分な素材を巻き取ります。



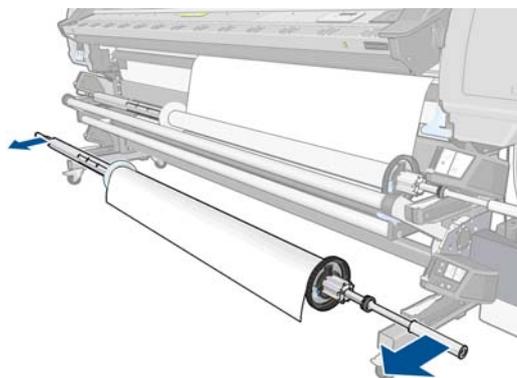
5. フロントパネルの **OK** ボタンを押します。素材を手動でカットするようにプリンタに表示されます。
6. 巻き取りリール モーターの巻き取りボタンを押して、巻き取りリールの残りの素材を巻き取ります。



7. フロントパネルの **OK** ボタンを押します。
フロントパネルに、巻き取りリールにある印刷された素材の量が表示されます。
8. 両方のレバーを持ち上げることで、巻き取りリールのロックを解除します。



9. ロール紙の右端を最初に引き出して、プリンタから取り外します。取り外し作業の最中に、スピンドル サポートに指を入れないでください。



10. 巻き取りリールを取り外した後にプリンタからロール紙を取り外す場合は、[36 ページのプリンタからロール紙を取り外す](#)を参照してください。

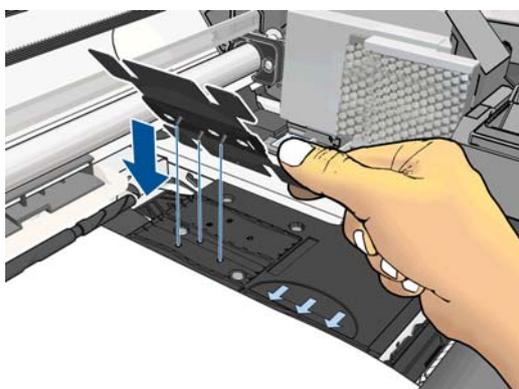
エッジホルダ

エッジホルダは、印刷中に素材の両端がめくれ上がらないように抑えるために設計されています。エッジホルダは、テキスタイルと両面印刷(フロントパネルで推奨していない場合でも)にお勧めします。他の場合は必ずしも必要ではありません。未使用時、エッジホルダは、プリンタの背面にあるケースに保管できます。

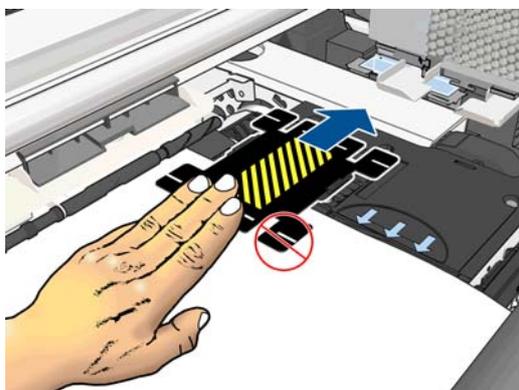
エッジホルダを使用するように選択したら、フロントパネルでプロンプトメッセージが表示されたときに、プラテンに取り付ける必要があります(このプロンプトメッセージは取り付けアクセサリの使用時に表示されます)。ウィンドウを開け、エッジホルダを取り付け、ウィンドウを閉めます。

⚠警告! プリンタの乾燥筐体に触れないようにしてください。乾燥モジュールおよび硬化モジュールの電源を切断するウィンドウラッチを開いた後でも、内部の表面は熱くなっている可能性があります。

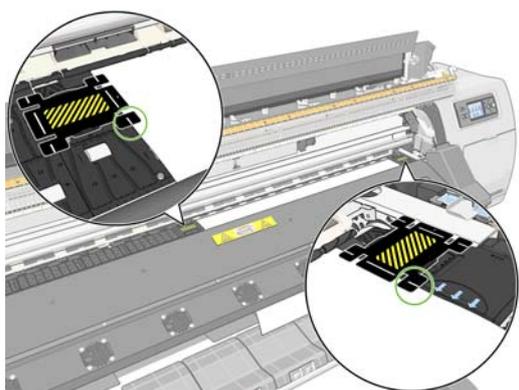
エッジホルダは、素材の左端と右端に少し重なるように取り付ける必要があります。エッジホルダをプラテンの穴に合わせると、磁気を帯びているため、その位置に固定されます。



エッジホルダを指で左または右にスライドして、エッジホルダ側の2つの四角い穴から素材の端が見えるようにします。



次の図は、正しく取り付けられたエッジホルダを示します。



 **注記：** エッジホルダを使用する場合、印刷物のマージンは、少なくとも **10mm** 確保する必要があります。

 **注記：** ロールの端のメッセージが表示されたら、エッジホルダを取り外します。

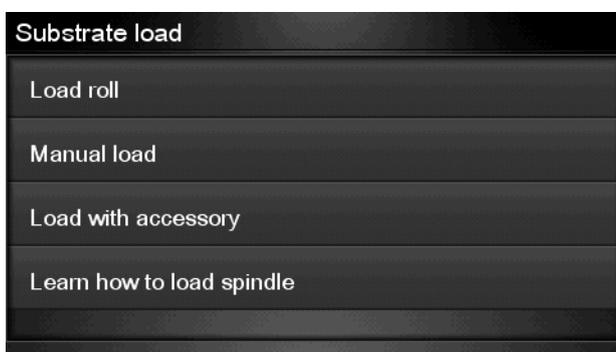
取り付けアクセサリ

取り付けアクセサリは、バナー/テキスタイル/メッシュの各素材を取り付ける際に役立つように設計されています。これらの素材を取り付ける際にお勧めします。ただし、使用は必須ではありません。

プリンタには、取り付けアクセサリが **2** つ付属しています。1 つは幅が最大 **1.55m** のロール紙用で、もう 1 つは幅が最大 **2.64m** のロール紙用です。必要に応じて、小さい取り付けアクセサリを広いロール紙に使用することもできます。

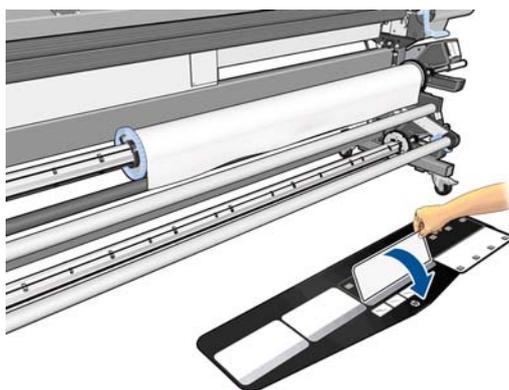
 **注記：** エッジホルダは、取り付けアクセサリの使用の有無にかかわらず使用できます。

1. フロントパネルの【素材の取り付け】メニューから、【アクセサリの取り付け】を選択します。

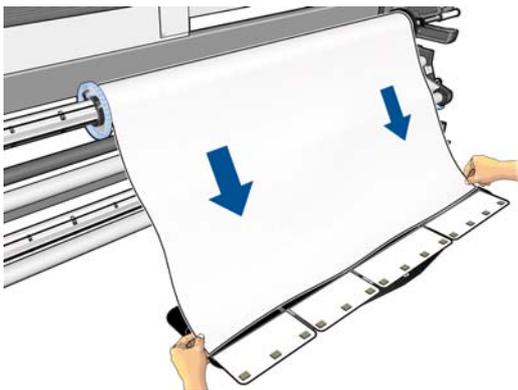


 **注記：** 【アクセサリの取り付け】を選択すると、エッジホルダを使用するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。

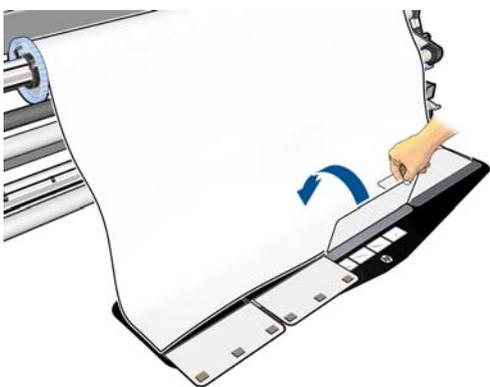
2. テキスタイル用の取り付けアクセサリを床に置き、素材の幅をカバーする白い各フラップを手前に返して表にします。



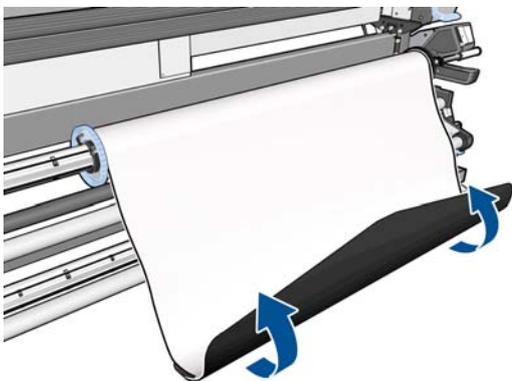
3. 少しの素材をロールから引き出し、その先端を取り付けアクセサリの上に置きます。



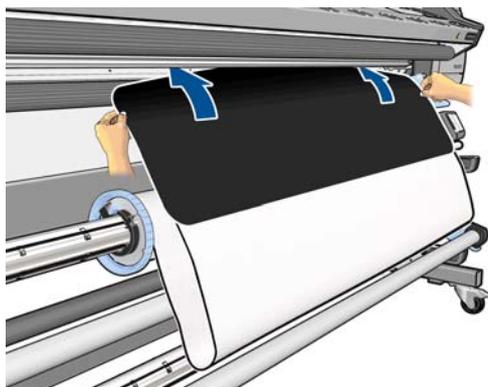
4. 白いフラップを裏返して素材の先端をカバーします。黒いパッチは磁気を帯びているため、素材をしっかりつかみます。



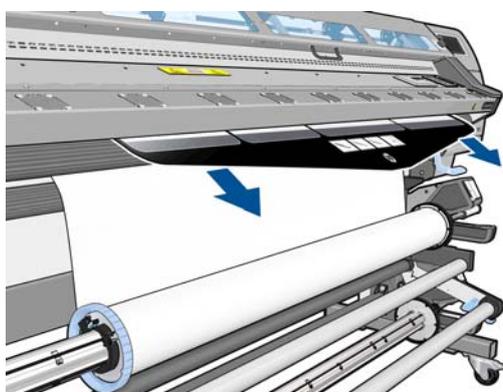
5. 取り付けアクセサリと素材の先端を一緒に持ち上げます。



6. 素材を手動で取り付けます。 [32 ページのロール紙をプリンタに取り付ける \(手動\)](#) を参照してください。



7. 取り付けアクセサリは、プリンタの素材経路を素材とともに通過します。



8. フロントパネルに、エッジホルダを使用するかどうかのメッセージが表示されます。[46 ページのエッジホルダ](#) を参照してください。

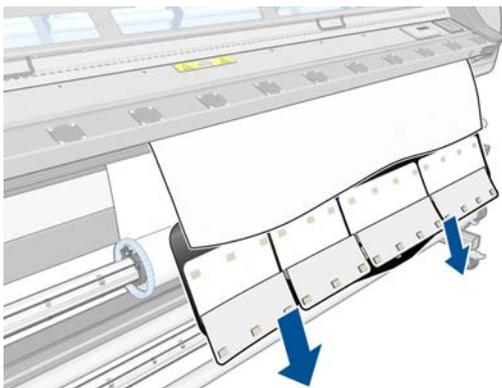
9. 取り付ける素材の種類を選択します。



注記： フロントパネルではなく、RIP で使用している特定の素材の名前を選択する必要があります。

ヒント： 極薄素材を取り付ける際には、常に素材の種類に **[バナー]** を選択して、取り付け中に加えられるバキュームのプレッシャを最小限に抑えます。極厚素材を取り付ける際には、常に素材の種類に **[HP フォト調]** を選択して、バキュームのプレッシャを最大限に利用します。取り付けを終了したら、印刷する前にフロントパネルに移動して、以下のように取り付ける素材を適切な種類に変更します。 、  の順に押し、 **[素材] - [取付済の素材を変更]** を押します。

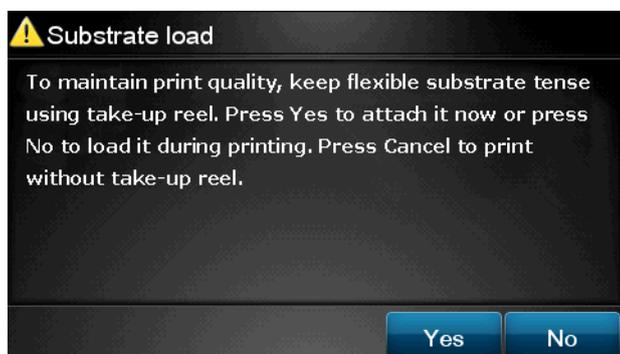
10. プリントを通過したら、取り付けアクセサリを手動で取り外すことができます。



11. プリントは、さまざまな方法で素材を確認し、スキューやテンションの問題を修正するようにメッセージを表示する場合があります。

 **注記：** 最大許容量のスキューを以下のようにフロントパネルで指定できます。 、 の順に押し、**[素材] - [素材取扱いオプション] - [最大スキューの設定]** を押します。

12. 不透明なフチのない透明な素材を取り付けている場合は、素材の幅と、プリンタの側面プレートから右端までの距離 (硬化モジュールの前面にあるルーラーが示す) を入力するように求められます。
13. 両面印刷を選択した場合は、フロントパネルに質問が表示されます。
14. プリントは素材送りのキャリブレーションを行います。
15. フロントパネルに、巻き取りリールの使用を勧めるメッセージが表示されます。巻き取りリールは今すぐ取り付けるか、後で印刷中に取り付けるかを選択できます。また、使用しないようにすることもできます。[36 ページの巻き取りリール](#)を参照してください。



16. 取り付けプロセスを通常どおりに完了し、必要に応じてスキューを調整します。

両面印刷

プリンタを使用して、次の方法で、素材の両面に印刷できます。

 **注記：** 印刷物の幅は、少なくとも **28cm** である必要があります。そうでない場合、プリンタは、2 番目の面の印刷時に参照線を見つけることができなくなります。

概要

1. プリンタに両面印刷を指示します。
2. プリンタは、最初の面に表示する内容を印刷します。各ジョブを終了したら、プリンタは、一致ジョブを揃えるための黒い参照線を 2 番目の面に印刷します。
3. 素材をカットして取り外します。
4. カットした素材の上下を逆にして取り付け、最後から開始します。最初の面の終わりをマークした参照線は裏側の先端近くにある必要があります。
5. プリンタは参照線を確認したら、それを使用して、2 番目の面の印刷を正しい位置から開始します。

両面印刷は、RIP ソフトウェアまたはプリンタのフロントパネルで選択できます。RIP 設定が優先します。両面印刷が RIP ソフトウェアで明示的にオンまたはオフになっている場合、フロントパネルの設定は無視されます。

 **注記：** 一方の面の印刷中に素材を移動しようとする、2 つの面の間の位置調整が移動によって乱れるため、フロントパネルで確認のメッセージが表示されます。

両面印刷の詳細

1. 素材は、使用している素材の通常の方法で取り付けます。
2. プリンタのフロントパネルで、、 の順に押し、[素材] - 両面印刷 - A 面 を押します。ホーム画面に戻り、プリンタ ステータスが **A 面を印刷可能です** と表示されることを確認します。
代わりに、RIP ソフトウェアで両面印刷を選択します。

 **注記：** 自動カッターと予備下部マージンは両方とも、両面印刷中に無効になります。

3. 最初の面に印刷する 1 つ以上のジョブを送信します。最初のジョブを印刷する前に、プリンタは、2 番目の面を完全に補正するために、素材を約 0.5m 送る場合があります。各ジョブを終了したら、プリンタは、一致ジョブを揃えるための黒い参照線を 2 番目の面に印刷します。

 **注記：** 2 つの面の間の位置のずれが発生する可能性は、ジョブの長さとともに増します。このため、両面印刷では、3m を超える単一ジョブは印刷しないことをお勧めします。

4. 素材をカットするには、手動で行うか、フロントパネルで 、 の順に押し、[素材] - [排紙/カット] を押します。
 - 素材を巻き取りリールに取り付けてから 2 番目の面を印刷する場合は、素材を十分に送ってから取り付けます。
 - 素材を巻き取りリールに取り付けてから 2 番目の面を印刷する場合は、素材を約 10cm 送ります。

5. 素材をカットするには、手動で行うか、フロントパネルで 、 の順に押し、[素材] - [排紙/カット] を押します。カットする前に、カットされる素材の全長が 2m を超えることを確認します。そうでない場合は、素材を正しく取り付けることができない可能性があります。

 **注記：** 素材をカッターでカットできない場合、[排紙/カット] コマンドは機能しません。

6. 、 の順に押し、[素材] - 素材の取り外し を押します。

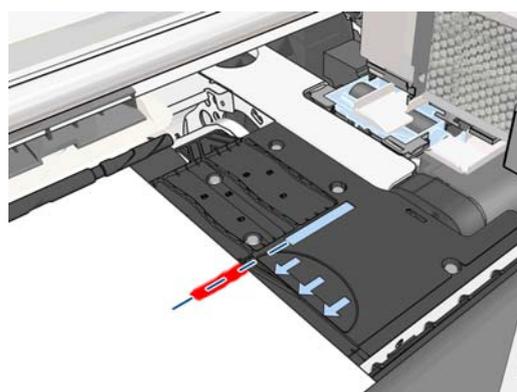
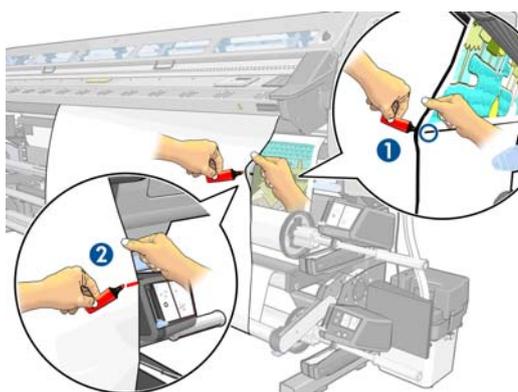
7. 素材をプリンタに入れるとき最初の(印刷済みの)面を上にし、参照線を先端近くにして、素材を再度取り付けます。プリンタが 1mm/m 未満のスキューを見つけるまで必要に応じて取り付け直します。

 **ヒント：** 厳密には必要ありませんが、手動による取り付け手順を最初の近似として使用して参照線を素早く見つけ、次にプリンタが参照線をより正確に見つけることができます。[32 ページのロール紙をプリンタに取り付ける\(手動\)](#)を参照してください。自動取り付け手順だけを使用する場合、プリンタは参照線の検出で時間がかかる可能性があります。

ヒント： 2 番目の面の印刷時にエッジホルダを使用して、手動取り付け手順を行うことをお勧めします。

ヒント： 素材をスピンドルに慎重に取り付けなかったために、フロントパネルで、素材が芯から外れている可能性がある则表示されたり、給紙方向が検出されない则表示されたりしても、メッセージを無視して続行できます。

8. フロントパネルで、「印刷する素材を B 面として取り付けますか?」と表示されます。[はい] を選択します。
9. プリンタは、素材で参照線を探します。参照線を検出できない場合は、**下矢印**ボタンと**上矢印**ボタンを使用して、参照線が永続線と揃うまで素材を移動するように、フロントパネルでメッセージが表示されます。参照線が素材のもう一方の面にある位置をマークすることが役に立つことが分かります。



 **注記：** 参照線の自動検出が機能しない(素材送りセンサーが汚れているため)ことが分かった場合は、自動検出をオフにできます。、 の順に押し、**[素材] - 素材取扱いオプション - [線の自動検出の有効化] - [オフ]** を押します。

10. 2 番目の面に印刷する 1 つ以上のジョブを送信します。複数のジョブを送信する場合は、印刷が 2 番目の面の末尾から開始し、2 番目の面の先頭に向けて動作するため、ジョブを逆順に送信する必要があります。

 **注記：** 2 番目の面に印刷される各ジョブは、プリンタを通過したら、180 度回転し、サイズを少し小さくして素材の縮小を補正する必要があります。[143 ページの素材が縮んでいるか、延びている](#)を参照してください。

素材に関する情報を表示する

フロントパネルのホーム画面で、 を押します。

フロントパネルに、以下の情報が表示されます。

- ロール紙のステータス
- 選択した素材ファミリ
- 素材の幅 (mm) (プリンタによる推定値)

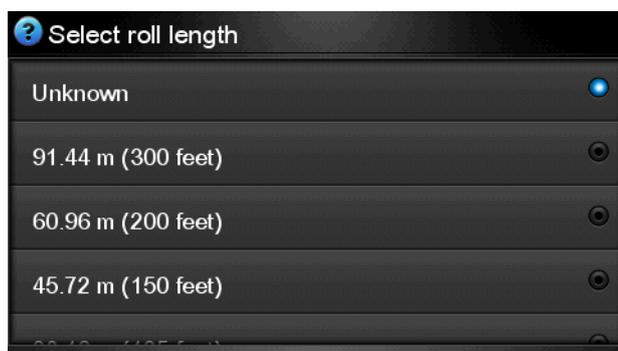
素材が取り付けられていない場合は、「**素材がありません**」というメッセージが表示されます。

同じ情報が内蔵 Web サーバの [サプライ品] ページにも表示されます。

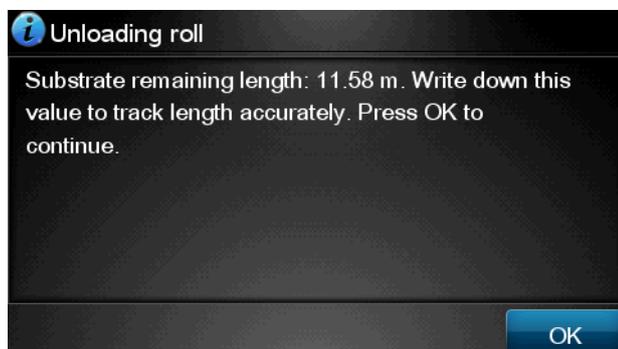
素材の長さのトラッキング

素材の長さのトラッキング機能を使用すると、使用した素材量をロール紙の残量を記録できます。

1. プリンタにロール紙を最初に取り付けるとき、オプションでロール紙の素材の長さを入力できます。引き続き使用される素材量が追跡されて記録されます。



2. 素材を取り外すとき、今後の参考のためにメモできるように、フロントパネルに残量が表示されます。



3. 次回に素材を取り付けるとき、残りの長さを入力すると、プリンタは、素材の使用開始と同時に素材を再度追跡して記録します。紙詰まりが発生して素材を取り外し、プリンタをオフにしてからオンにした場合などで、素材が実際に取り外されていなかった場合、**[最後に認識した長さ]**を選択すると、(トラッキング機能が有効だった場合)プリンタは紙詰まりが発生した時点の値を適用します。



素材の残りの長さは、常にフロントパネルの素材領域に表示されます。この情報は、RIPでも表示されます。

長さのトラッキング機能を有効/無効にする

1. 長さのトラッキング機能をフロントパネルから有効または無効にできます。、の順に押し、**[素材] - 素材取り扱いオプション - 素材の長さのトラッキング**を押します。
2. **[オン]** または **[オフ]** を選択します。

排紙を実行し用紙をカットします

[排紙/カット] オプションは、プリンタのフロントパネルから使用できます。 、  の順に押し、 [素材] - [排紙/カット] を押すと、プリンタで通常どおり素材が排出されて、カットされます。以下に、このボタンの他の機能を示します。

- プリンタが他のページのネスティングを待機中である場合、このボタンを押すと待機時間がキャンセルされ、印刷可能なページが直ちに印刷されます。
- 印刷後にプリンタがインクを乾燥させている場合、このボタンを押すと待機時間がキャンセルされ、ページが直ちに取り出されます。
- 巻き取りリールが有効な場合、このボタンを押すと用紙が **10cm** 排出されます。ただし、用紙はカットされません。

 **注記：** 巻き取りリールが使用されており、バナーまたはテキスタイル素材が取り付けられている場合はカッターが無効です。

素材を保管する

素材を保管する際のヒントは次の通りです。

- 用紙の変色とほこりの堆積を防ぐため、未使用のロール紙はプラスチックの包装に包んでおくようにしてください。ロール紙が部分的に使用済みで、未使用部分がある場合は、使用済みの部分を包んでおいてください。
- ロール紙は積み重ねないでください。
- 素材の種類に関わらず、印刷の **24** 時間前には包装を解いて、使用する環境に素材を慣らすようにしてください。
- フィルムと光沢素材は、端を持つか、綿製の手袋をして取り扱ってください。このような素材には手の油分が付着しやすく、指紋が付く可能性があります。
- 素材の取り付けと取り外しの際は、素材をロールにしっかりと巻き付けておいてください。巻き付け方が緩いと、取り扱いにくくなります。

5 素材設定

メディアプリセットをダウンロードする

サポートされている素材にはそれぞれ独自の特性があるため、素材によってプリンタの印刷方法が変更されます。素材ごとに必要な設定の詳細を RIP に伝える必要があります。この詳細を「メディアプリセット」といいます。

メディアプリセットには、素材の色の特徴を記述する ICC カラープロファイルが含まれます。他の特性 (乾燥温度、硬化温度、バキュームプレッシャ、素材送りの補正など、RIP およびプリンタ設定) に関する情報と、色に直接関連しない素材の要件も含まれます。プリンタのメディアプリセットは、RIP にインストールされています。

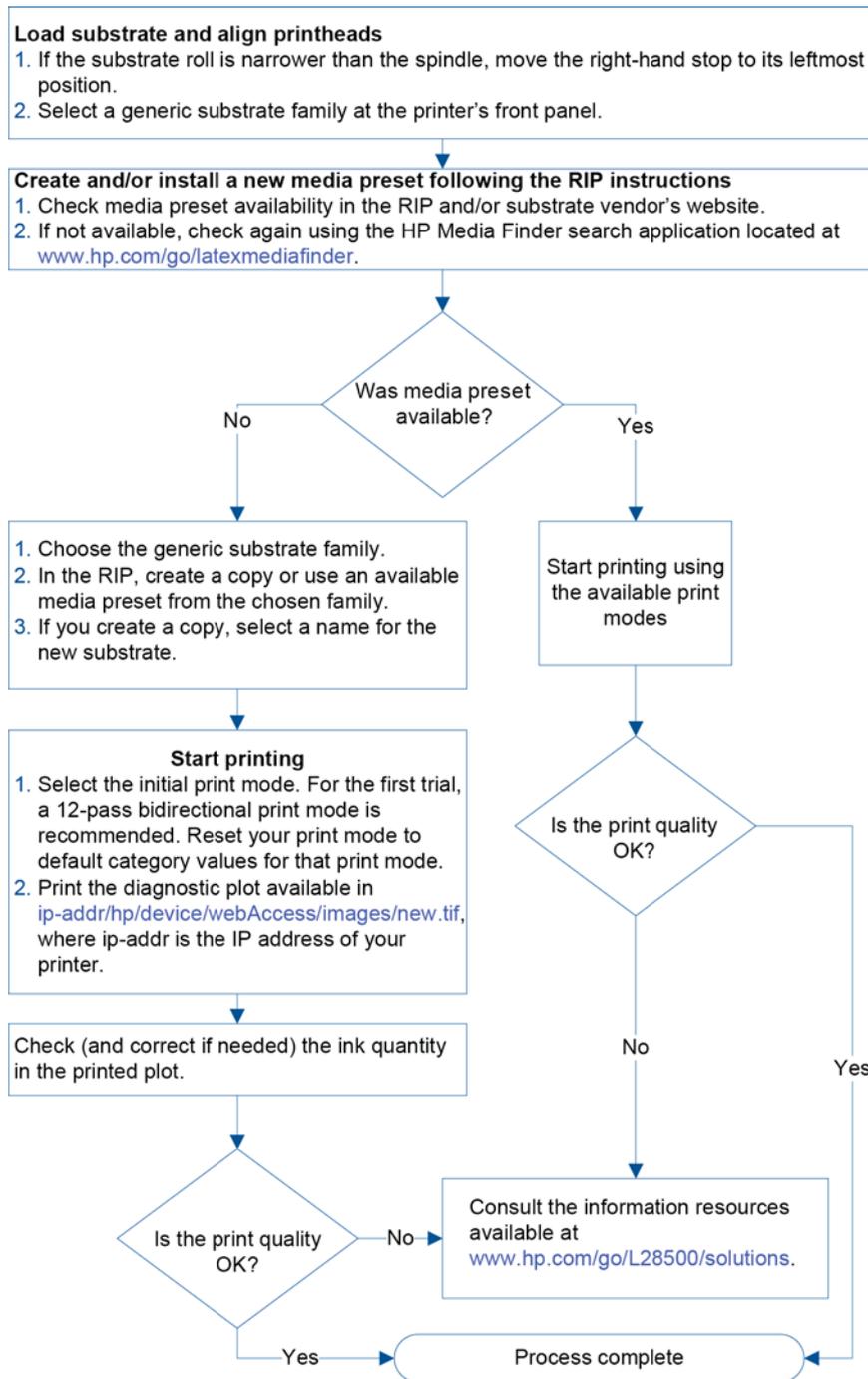
RIP には、一般的に最もよく使用される素材にのみメディアプリセットが含まれています。RIP にプリセットが含まれていない素材を購入した場合は、新しい素材のプリセットを以下の方法で入手できます。

- 素材製造元の Web サイトからメディアプリセットをダウンロードする。
- または、RIP 企業の Web サイトから素材プリセットをダウンロードする。
- または、<http://www.hp.com/go/latexmediafinder/>にある「HP Media Finder」検索アプリケーションを使用して、入手可能かどうかを確認する。
- 見つからない場合は、RIP で新しいメディアプリセットを作成するか、同様の既存のメディアプリセットをコピーして変更します。[57 ページの新しい素材を追加する](#)を参照してください。
- 詳細は、<http://www.hp.com/go/L28500/solutions/>を参照してください。

新しい素材を追加する

このセクションは、独自のメディアプリセットを作成する場合に役立ちます。使用するすべての素材に対して既存のプリセットが見つければ、新しいプリセットを作成する必要はありません。

概要



プリンタ設定とカラープロファイルを選択する

RIP ベンダーや素材ベンダーから、素材に適切なプリンタ設定を入手できる場合があります。入手できない場合は、同じファミリーの類似の素材からプリンタ設定をコピーして開始することができます。[22 ページのサポートされている素材ファミリー](#)を参照してください。

何らかの理由により、類似の素材を見つけることができない場合、素材ファミリーごとに推奨するデフォルト設定を以下に示します。

素材ファミリ	乾燥温度	硬化温度	加熱エアフロー	自動トラッキング (OMAS)	カッター	素材送りの補正	インプットテンション	バキューム
粘着紙	55	105	30	はい	はい	0	15	25
バナー	50	100	45	はい	いいえ	0	15	5
繊維	55	100	45	はい	いいえ	0	15	20
フィルム	55	95	30	はい	はい	0	15	25
合成紙	50	80	30	はい	はい	0	15	40
水彩用ペーパー	45	70	30	はい	はい	0	15	20
溶剤用ペーパー	50	90	30	はい	はい	0	15	25
低温 (HP Photoreal を含む)	50	80	30	はい	はい	0	15	40
メッシュ	50	95	30	はい	はい	0	15	30

上の各種設定を以下で説明します。

設定	説明	低すぎる場合	高すぎる場合
パス	パス数は、プリントヘッドが素材の同じ領域に何回印刷を行うかを指定します。	時間単位あたりに噴射されるインクの量は多くなり、素材でのインクの乾燥時間は短くなります。コアレスセンスとバンディングが発生する場合があります。パス間の境界線が目立ちやすくなります。ただし、印刷速度は比較的速くなります。	色は鮮明で印刷品質は高くなります。ただし、印刷速度は比較的遅くなります。低い硬化温度が必要であり、そうでない場合、素材は変形する場合があります。
乾燥温度	印刷領域に熱を加えることによって水分を取り除き、素材にイメージを定着させます。	バンディング、ブリーディング、コアレスセンスなどの印刷品質の問題が発生する可能性があります。	熱で素材の上に跡が付く場合があります。色によって縦方向のバンディングが生じる場合があります。プラテン上で素材にしわがよる場合があります、縦方向のバンディング、インクの汚れ、または素材詰まりになります。
硬化温度	硬化は、保護膜として機能する高分子フィルムを作成しながら、印刷物に残存する溶解共力剤を取り除いてラテックスを癒着させるために必要です。硬化は印刷イメージの耐久性の確保に欠かせません。	印刷物が完全に重合せずに排出されるため、こするとインクが汚れる場合があります。印刷物は、印刷後またはしばらくすると、乾燥してない状態で排出される場合があります。パス数を増やして十分な硬化を実現する必要があります。	硬化モジュールで素材のしわが生じると、ライナーの剥がれや気泡などの問題が発生する可能性があります。素材のしわにより、次のプロットで縦方向のバンディングやインクの汚れが発生する可能性もあります。
加熱エアフロー	エアフローは、蒸発した水分を印刷領域から取り除き、効率的な乾燥を可能にします。	通常は、素材ファミリのデフォルト値を使用します。	

設定	説明	低すぎる場合	高すぎる場合
素材送りの補正	プリンタは工場出荷時にキャリブレーションされているため、サポートされている素材を正常な環境条件で使用する限り正確な素材送りが保証されています。ただし、安定しているが通常でない温度や湿度のレベルで印刷する場合や、素材送りセンサーが機能しない場合には、素材送りの調整をお勧めします。	横方向のバンディングや粒状感が現れる場合があります。	横方向のバンディングや粒状感が現れる場合があります。
インプットテンション	テンションは、インプットスピンドルから素材に加えられる。素材の幅全体にテンションを均一に加える必要があるため、素材の取り付けは大変重要な操作です。	素材にスキューが生じて、印刷領域でしわが増える可能性があります。素材送りが不規則になり、横方向のバンディングが生じる可能性があります。	素材が変形したり、損傷する可能性があります。極端な場合、素材送りの問題が発生する可能性があります。
バキューム	印刷領域で素材にバキュームを加えることで、素材が印刷プラテンに押し付けられ、プリントヘッドに対する距離が一定に保たれます。	素材がプラテンから持ち上がって、プリントヘッドに触れる可能性があります。この場合、印刷されたイメージが汚れたり、縦方向のバンディングが発生したり、素材の詰まりやプリントヘッドの損傷につながる可能性があります。	粘着性のある素材の場合、摩擦が高くなりすぎて、素材送りが不規則になり、横方向のバンディングや不規則な粒状感のあるパッチが生じる可能性があります。
双方向	プリントヘッドが左から右におよび右から左に移動するとき、双方向に印刷するかどうかを指定します。	双方向を選択すると、時間単位あたりに噴射されるインク量が多くなるため、コアレスセンス、バンディングなどの印刷品質の問題が、特にプロットの両側で発生する可能性があります。ただし、印刷速度は速くなります。	双方向の選択をオフにすると、印刷は一方方向になり、印刷速度は比較的遅くなります。 ヒント： すべての場合に双方向を選択し、必要に応じてパス数を増やして、コアレスセンスやバンディングの発生を回避することをお勧めします。
高インク量	素材に噴射される最大のインク量 (高インク量のオプションは、パス数が 10 以上の場合にのみ使用できます)。インク量は、RIP カラープロファイルによって削減される可能性があります。	選択しない場合は、色が剥げ落ちる可能性があります。	選択した場合、インクが過剰になる可能性があるため、乾燥や硬化が不十分になり問題が発生する場合があります。 ヒント： バックライト用途やテキスタイル用途、または高彩色で印刷する場合に高インク量を選択します。

設定	説明	低すぎる場合	高すぎる場合
カッター	プリンタの内蔵カッターは、印刷と印刷の間で素材を自動的にカットできます。	<p>次の場合にカッターを無効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 印刷速度を上げる。 巻き取りリールを使用する。 素材を手動でカットする。 素材の先端がカールして、素材の詰まりが発生する可能性がある。 <p>一部のケースで、カッターが自動的に無効になる場合があります。</p>	
自動トラッキング (OMAS)	素材センサー (別名 OMAS : Optical Media Advance Sensor) は、印刷プラテンの下に配置され、素材送りを自動的にトラッキングできます。	<p>次の場合にセンサーを無効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 素材を使用すると、インクがプラテンに移る可能性がある。この素材の使用後は、センサーのクリーニングを行ってください。 センサーが汚れていたり、特定の素材をトラッキングできないため、センサーを無効にするようにフロントパネルに指示が表示される。 	

素材を取り付けて診断プロットを印刷する

1. 素材を通常の方法で取り付けます。その際、以下の点に注意してください。
 - スピンドルの右端のストッパには、スピンドル上に **2** つの可能な位置があります。可能であれば、常に最左端の位置を使用します。素材のロールがスピンドルの全幅を必要とする場合にのみ最右端の位置を使用します。
 - 素材が透明であるか、裏面が暗い場合、またはプリンタからオフにするように推奨された場合、素材送りのセンサー (**OMAS**) を **RIP** でオフにします。
 - プリントヘッドの軸合わせを行います。
2. **HP 診断チャート** を **RIP** で開きます。チャートは、**<http://ip-addr/hp/device/webAccess/images/new.tif>** にあるプリンタに保管されています。**ip-addr** は、使用しているプリンタの **IP** アドレスです。
3. 素材ファミリの適切なパス数を選択します。[64 ページのパス数を選択する](#) を参照してください。
4. 印刷モードをリセットして、その印刷モードのデフォルトのカテゴリ値に設定してください。
5. プロットを印刷します。

印刷中に設定を変更する

フロントパネルを使用して、印刷中に次の設定を変更できます。

- 温度を変更するには、印刷時のバキュームおよびパス間の乾燥時間を次のようにします。 を押し、**[調整]** を押して、必要な設定を選択します。矢印キーを使用して、硬化温度、乾燥温度、バキューム プレッシュャ、またはパス間乾燥時間 (パス間の遅延) を調整できます。変更を行うと直ちに反映されますが、変更内容は保存されません。次のジョブでは、メディアプリセットの設定を通常どおり使用します。設定を完全に変更する場合は、**RIP** のメディアプリセットで変更する必要があります。
- 印刷中に素材送りのキャリブレーションを変更するには (バンディングを避けるために)、 を押し、**[調整] - [素材送りの調整]** を押します。矢印ボタンを使用して、素材送りを調整できます。変更を行うと直ちに反映されますが、変更内容は、次のジョブ用には保存されません。[131 ページの印刷中に素材送りを調整する](#) も参照してください。
- 印刷中に追加のプリントヘッドのクリーニングを有効または無効にするには、、 の順に押し、**[インク] - [イメージ品質の保守] - [PH 追加クリーニング]** を選択します。この場合、設定の変更は後続のジョブ用に保存されます。

 **注記：** 追加のプリントヘッドのクリーニングを行うと、プリントヘッドクリーニングカートリッジの寿命が短くなります。

詳細設定

以下に、詳細設定の一部を示します。独自に解決できない問題が発生しない限り、この設定を変更しないでください。

プリンタで使用される乾燥温度と硬化温度は、オフセットを基本温度に追加して決定します。表に示す基本温度は、各素材ファミリのデフォルト値です。ただし、基本温度は、使用中のプリンタ設定に従うプリンタによって変更される場合があります。基本温度は独自に変更できませんが、オフセットは変更できます。乾燥準備基本温度は、**RIP** が決定します。

RIP は、すべての設定をデフォルト値に戻すためのオプションを持つことができます。

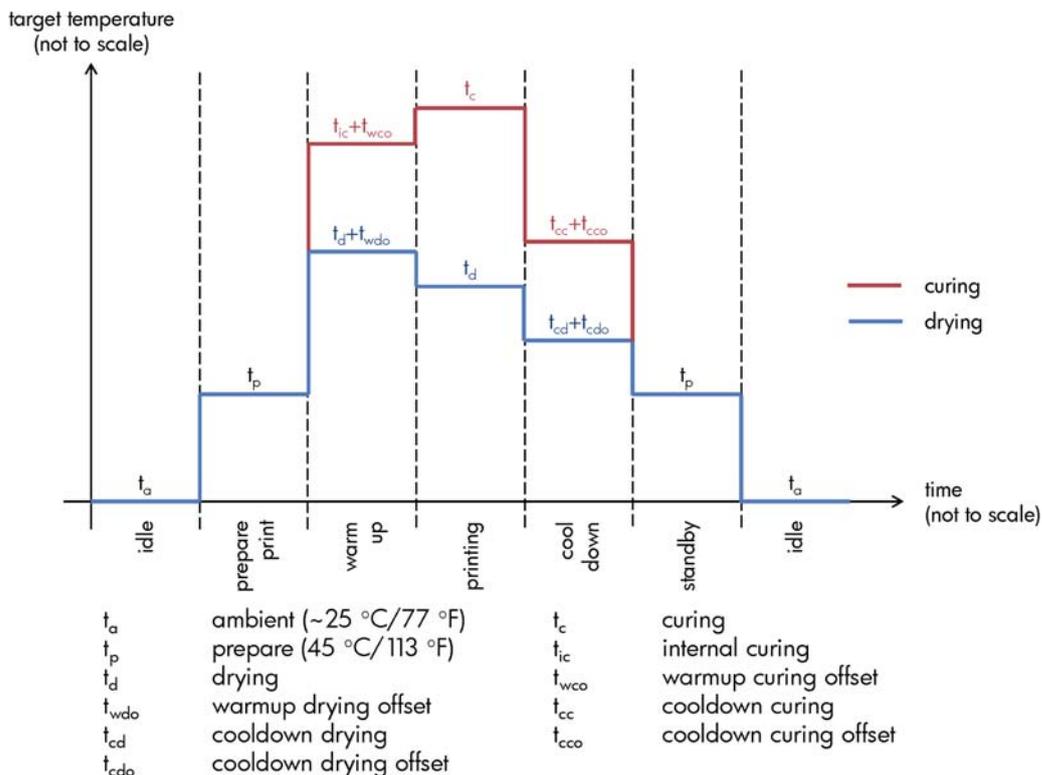
素材ファミリ	乾燥準備温度オフセット	硬化準備温度	硬化準備温度オフセット	乾燥冷却温度	乾燥冷却温度オフセット	硬化冷却温度	硬化冷却温度オフセット	最小乾燥電源	パス間の乾燥時間
粘着紙	5	95	0	80	0	95	0	0.7	0
バナー	5	95	0	80	0	90	0	0.7	0
繊維	5	85	0	80	0	90	0	0.7	0
フィルム	5	85	0	80	0	100	0	0.7	0
合成紙	5	80	0	75	0	85	0	0	0
水彩用ペーパー	5	60	0	75	0	85	0	0	0
溶剤用ペーパー	5	75	0	75	0	90	0	0.7	0
低温 (HP Photoreal を含む)	5	80	0	75	0	85	0	0	0
メッシュ	5	85	0	80	0	95	0	0.7	0

上の各種設定を以下で説明します。

設定	説明	低すぎる場合	高すぎる場合
乾燥準備温度	印刷領域内の素材が印刷開始前に到達する必要がある基本温度。	この設定は、RIP が決定します。独自に変更できません。	
乾燥準備温度オフセット	このオフセットは、乾燥準備基本温度に追加され、プリンタが印刷を準備する間、合計がフロントパネルに表示されます。	印刷の最初の 200~300mm で、ブリーディングまたはコアレスセンスが発生する場合があります。	印刷開始までの時間を長くする必要があります。縦方向のバンディングまたはインクの汚れが発生する場合があります。
硬化準備温度	硬化領域内の素材が印刷開始前に到達する必要がある基本温度。	この設定は、プリンタが決定します。独自に変更できません。	
硬化準備温度オフセット	このオフセットは、硬化準備基本温度に追加され、プリンタが印刷を準備する間、合計がフロントパネルに表示されます。	印刷の開始時に乾燥が十分でないか、印刷がオイル状になっています。	印刷開始時に素材が劣化します(気泡、粘着の剥がれ等)。
乾燥冷却温度	素材が損傷なしに乾燥モジュールに存在できる基本温度。ジョブの終了時、素材が停止するのはこの温度に到達してからです。	この設定は、プリンタが決定します。独自に変更できません。	
乾燥冷却温度オフセット	このオフセットは、乾燥冷却基本温度に追加されます。	印刷を完了するには時間がかかります。	次の印刷開始時に素材が損傷する可能性があります。素材が移動を停止した時に温度が高すぎたことが原因です。これはまれなケースです。
硬化冷却温度	素材が損傷なしに硬化モジュールに存在できる基本温度。ジョブの終了時、素材が停止するのはこの温度に到達してからです。	この設定は、プリンタが決定します。独自に変更できません。	
硬化冷却温度オフセット	このオフセットは、硬化冷却基本温度に追加されます。	印刷を完了するには時間がかかります。	カッターが無効な場合、印刷の終了時に素材が損傷する可能性があります。
最小乾燥電源	インクが薄く塗られた領域内で素材の温度を下げないために、印刷中に乾燥モジュールに加えられる最小電源。	厚いインク領域の後に薄いインク領域が来ると、ブリーディングやコアレスセンスの問題が発生します。	特に、パス数が多い場合の余白やインクが薄く塗られた領域で、素材が損傷します。
パス間の乾燥時間	素材全体のプリントヘッドキャリッジの連続するパス間の遅延。	場合によっては、乾燥や硬化が十分でない可能性があります。	印刷が遅くなります。

温度プロファイル

メインの設定と素材送りの設定の多くは、温度制御に関連します。これは、温度制御がさまざまな素材にラテックスインクで正しい印刷結果を出すために重要であるためです。以下のダイアグラムは、さまざまな印刷フェーズ中の乾燥温度と硬化温度の変化をグラフで示します。



注記： 目標の温度と時間はスケールされていません。指定された素材の種類(ファミリー)に使用する特定の値については、上記のメインの設定と素材送りの設定表を参照してください。

注記： t_p 時間は、プリンタのフロントパネルで変更できます。

パス数を選択する

パス数を多くすると、印刷品質は改善されますが印刷速度が低下します。

注記： 次の表は、特に指定されていない限り、通常のインク量の双方向印刷にのみ適用されます。

パス	キャリッジ速度	粘着紙	パナー	繊維 ¹	フィルム ²	合成紙用紙	水彩用ペーパー	溶剤用ペーパー	低温	メッシュ
2	速度	X	X	X	X	X	インク不足	インク不足	インク不足	X
2	Std	X	X	X	X	X	インク不足	インク不足	インク不足	X
4	速度	いいえ	可	いいえ	いいえ	いいえ	可	可	可	いいえ
4	Std	いいえ	可	いいえ	いいえ	いいえ	可	可	可	いいえ
6	速度	可	幅	いいえ	いいえ	いいえ	幅	幅	幅	可
6	Std	可	はい	いいえ	いいえ	いいえ	はい	はい	はい	可
8	速度	幅	はい	可	可	いいえ	はい	はい	はい	はい
8	Std	はい	はい	可	可	可	はい	はい	はい	はい
10	速度	はい	はい	はい ³	可	可	はい	はい	はい	はい
10	Std	はい	はい	可	可	可	はい	はい	はい	はい

パス	キャリッジ速度	粘着紙	バナー	繊維 ¹	フィルム ²	合成紙用紙	水彩用ペーパー	溶剤用ペーパー	低温	メッシュ
12	速度	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
12	Std	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
16	速度	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
16	Std	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
一方向	Std	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
20~28	Std	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい

¹ 通常または高インク量を使用できる

² 高インク量を使用する必要がある

³ 通常のインク量で推奨される 高インク量の場合に試す価値がある

略語の説明

- **X:** 使用しない
- **いいえ** 低印刷品質を除く
- **インク不足:** 非常に低インク量で、処理速度の向上が目的の場合に試す価値がある
- **可:** 処理速度の向上が目的の場合に試す価値がある
- **幅:** 幅 60 インチを超えるイメージを印刷する場合にのみ推奨されます。
- **はい:** 推奨
- **一方向:** 一方向印刷のみ

 **注記:** さまざまなベンダーが提供する多くの素材の特定の詳細設定は、<http://www.hp.com/go/latexmediafinder/>にある **HP Media Finder** で入手できます。

 **注記:** パス数を選択したら、印刷モードをリセットして、その印刷モードのデフォルトのカテゴリ値に設定してください。

ヒント

- 4~16 のパスで、ほとんどの印刷のニーズを満たすことができます。
- 2~6 のパスでは、印刷品質が低下します。さらに、乾燥および硬化できるように合計インク量が制限されるため、カラーガモットがわずかに低下します。
- 時間が重要な意味を持つアプリケーションでは、高いキャリッジ速度 (標準速度 1m/s に対して 1.5m/s) を使用した 2~16 のパスを RIP から選択できます。
 - キャリッジ速度を上げると、スループット (m²/h) が約 15~30%向上します。
 - 標準キャリッジ速度を使用して取得したプリセットを再使用した場合、わずかな色の違いが生じることがあります。高いキャリッジ速度には新しいプリセットを作成できます。
- インク量の多いアプリケーションでは、素材ファミリーに応じて少なくとも 8 パスを使用することをお勧めします。特定の状況では、乾燥と硬化を適切に行うために、20 以上のパスの印刷モードが含まれています。

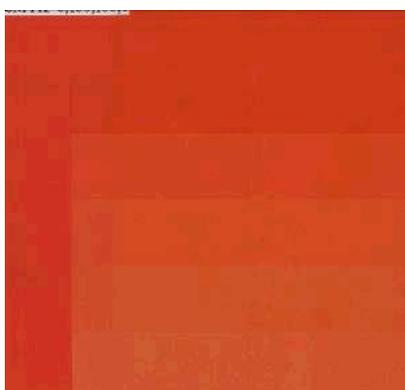
- 1200dpi の印刷解像度は、18 パス印刷モードでのみ使用できます。この印刷モード用の特定のメディアプリセットがあることを確認してください。他のメディアプリセットを再使用すると、期待する印刷品質が得られないことがあるためです。
- 安価な素材でレイアウトをすばやく検査するため、用紙ベースの素材では低インクの 2 パス印刷モードが有効になっています。このモードでは、高品質の素材ファミリーで使用するものではありません。乾燥と硬化が正しく行われないためです。これは、実稼働の印刷モードで使用するよう設計されたものではなく、2 パス印刷を長期的に行うとプリントヘッドが損傷する可能性があるため、ときどき使用するためのものです。

素材のインク量を確認する

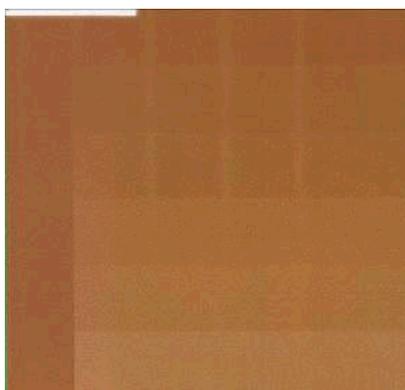
メディアプリセットのインク量が十分であるかどうかを確認します。HP 診断チャートのカラーパッチを参照し、パッチが適切なインク量であるかどうかを以下のガイドラインで確認してください。

1. インクが多すぎる：この問題では、複数の症状が出現します。

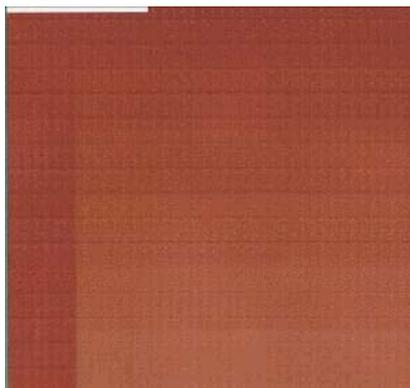
- チャートのスケールで最後の 2 つまたは 3 つが同じに見える。



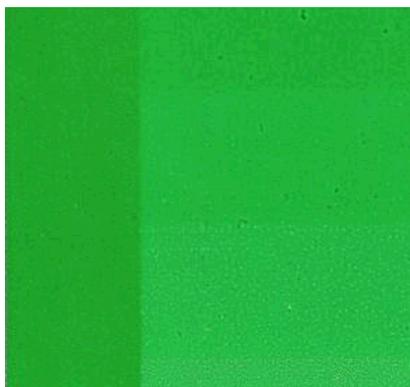
- 縦方向のバンディング。



- 横方向のバンディング。



- コアレッセンス、粒状感 (過剰なインク量によって発生する可能性がある)。



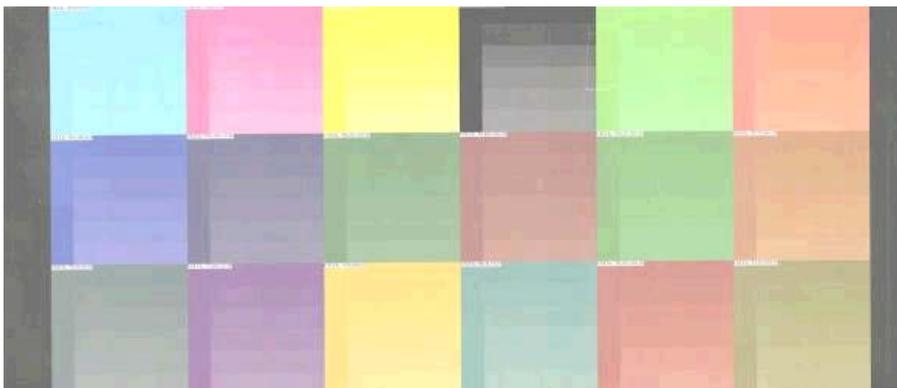
RIP ソフトウェアでインク量を減らしてからチャートを再印刷し、再度確認します。

対象の素材の許容量よりも多くのインクを使用するメディアプリセットを選択している可能性があります。**RIP** のマニュアルを参照し、適用しているメディアプリセットが適切であるかどうかを確認し、メディアプリセットのインク量の合計の制限値を下げる方法について確認します。すぐに解決するには、少ないインク量を使用する別のプリセットメディアに変更します。たとえば、水採用ペーパープリセットは、粘着プリセットより少ないインク量を使用します。

2. **適切なインク量**：各パッチの最上位レベルは、滑らかな勾配を示しており、問題はありません。インク量を増やすと、色の濃度が増します。



3. インクが少なすぎる：チャート全体が剥げ落ちたように見えます。



RIP ソフトウェアでインク量を増やしてからチャートを再印刷し、再度確認します。

対象の素材の許容量よりも少ないインクを使用するメディアプリセットを選択している可能性があります。RIP のマニュアルを参照し、適用しているメディアプリセットが適切であるかどうかを確認し、メディアプリセットのインク量の合計の制限値を上げる方法について確認します。すぐに解決する方法としては、多いインク量を使用する別のプリセットメディアに変更します。たとえば、粘着プリセットは、水採用ペーパープリセットより多いインク量を使用します。

 **注記：** バックリット素材および一部のテキスタイル素材は通常、RIP で使用できる [High Ink Limit] (高インク量) オプションを使用する必要があります。

高速印刷

速度を上げる明確な方法として、印刷パスの数を減らしたり、キャリッジ速度を **1.5m/s** に上げたりすることができますが、印刷品質が低下する傾向があります。以下の注意事項を考慮に入れてください。

- **10** パス未満の場合、粒状感の増加が目立つことがあります。
- **8** パス未満の場合、プリンタに素材送りの問題が発生しやすくなります。
- **8** パス未満の場合、インク量を減らすと、印刷品質が改善される場合があります。
- **1.5m/s** のキャリッジ速度では、適切に乾燥するため、場合によってはパス間の乾燥時間を長くしたり、インク量を下げることがあります。
- 高インク量オプションを使用する場合は、**10** パス以上を使用する必要があります。
- パス数を減らすと、最適な硬化温度の決定が難しくなり、周囲の温度と湿度の影響を受けやすくなります。

以下に、印刷速度を上げるためのヒントを示します。

- 各印刷を連結すると、**1** つの印刷物を印刷している間に別の印刷物を送信できるため、時間が節約されます。
- カッターを無効にします。 、  の順に押し、**[素材] - [素材取扱いオプション] - [カッター] - [オフ]** を押します。通常の素材の場合、これを行うと印刷処理の終了時に時間が節約されます。
- 硬化冷却温度を上げます。これを行うと印刷処理の終了時の時間が節約されます。ただし、素材によっては、多少の変形が生じる可能性があります。

 **注記：** 2 時間以上連続して印刷すると、プリントヘッドの寿命が短くなる可能性があります。ときどき一時的に停止すると、プリンタがプリントヘッドを保守できます。

[152 ページのプリンタの印刷が遅い](#)も参照してください。

カラーキャリブレーション

カラーキャリブレーションを行う目的は、特定のプリントヘッド、インク、および使用する素材に合わせて、また特定の環境条件に応じて、色調を統一することです。カラーキャリブレーションを行うと、さまざまな状況で、プリンタから同じ内容の印刷物を出力することができます。

カラーキャリブレーションは、**RIP** ソフトウェアから起動できます。詳細については、**RIP** のマニュアルを参照してください。

処理は主に次の手順で構成されます。

1. キャリブレーションテストチャートが印刷されます。
2. **HP** 内蔵分光測光器でテストチャートのスキャンと測定が行われます (必要に応じて、別の分光測光器を使用できます)。
3. その素材で再現性のあるカラー印刷を行うため、計測結果を基に必要な修正要素が算出されません。

内蔵分光測光器によるカラーキャリブレーションは、次の素材の種類にはお勧めしません。外部のカラー測定デバイスを使用して、これらの素材の一部をキャリブレーションできる場合があります。

- クリアフィルム、バックライト素材、一部のテキスタイルなどの不透明でない素材。
- パーフォレイテッドビニール、穿孔ウィンドウ素材など、平らでない表面を持つ素材。

- 紙製素材など、乾燥や硬化により変形する素材。
- ライナーなしの一部のテキスタイルなどの伸縮性のある素材。

カラー キャリブレーションに適した素材には、平らな表面の粘着ビニール (穿孔でもパーフォレイテッドでもない)、PVC バナー、一部の不透明で硬いテキスタイルがあります。

一部のテキスタイルには、印刷を正常に行うために巻き取りリールが必要です。ただし、巻き取りリールは、カラー キャリブレーションの印刷フェーズとスキャンフェーズの間で、素材の後退移動の処理に失敗する場合があります。問題を回避するには、次のように進めます。

1. 巻き取りリールが有効であることを確認します。
2. テンションバーが最も低い位置に達するまで素材を送ります。
3. 巻き取りリール モーター上のボタンを使用して、手動で巻き取りリールを巻き取り、テンションバーが巻き取りリール スピンドルに触れようとするまで素材を集め、ループシェイパを上げます。
4. 巻き取りリールの巻き取り方向をニュートラルに設定します。
5. RIP からカラー キャリブレーションを起動します。
6. カラー キャリブレーションが終了したら、巻き取りリールを有効にできます。

カラープロファイル

カラー キャリブレーション：カラー キャリブレーションによって色調を統一することができますが、統一されているからといってカラー精度が高いとは限りません。たとえば、お使いのプリンタがどの色も黒で印刷してしまう場合、色調は統一されていても正確な色ではありません。

正確な色で印刷するためには、ファイル内でカラー値を変換し、使用するプリンタ、インクおよび素材で適切な色が印刷できるように調整する必要があります。カラープロファイルには、これらのカラー変換に必要なプリンタ、インク、および素材の組み合わせについてのすべての情報が記述されています。

 **注記：** ある特定の印刷モードで取得したカラープロファイルを、他の印刷モードでの印刷時に再使用することはできますが、印刷に使用されるのとまったく同じ印刷モードでプロファイリングを作成した場合にのみ、カラー再現が最も正確になります。たとえば、10パスの標準印刷モードで取得したカラープロファイルを8パスの高速印刷モードでの印刷に使用すると、色の違いが少し生じることがあります。

これらの色の変換は、プリンタではなく **Raster Image Processor (RIP)** で行われます。カラープロファイルの使用についての詳細は、アプリケーションソフトウェアおよびRIPのマニュアルを参照してください。

印刷に使用されるカラープロファイルに加え、モニタ (ディスプレイ装置) もキャリブレーションとプロファイリングを行います。これによって、画面に表示される色が、印刷される色により近くなります。

カラー再現技法

ラテックスインクは新しい技術です。色域、インクの使用状況、印刷品質の観点からプリンタ出力の最適化に役立つ色分解を実行する (新しいメディアプリセットをRIP内で作成または変更するときなど) とき、重要ないくつかのガイドラインがあります。これらは以下のとおりです。

- ビニール光沢や他の素材で最適な暗いカラーを実現するには、ICC プロファイルを作成するときに、できるだけ多くの黒色とできるだけ少ない合成 (CMY) を使用します。
- 明るいインクを避ける必要があります。それには、2 次、3 次 (暗い赤、青、緑…) などの高濃度の色をできるだけ多く使用する必要があります。
- 明るいインクを最も低い濃度の色に制限する必要があります。それには、できるだけ早い段階で暗いインクの使用を開始する必要があります。一般に、50%の濃度を超える色は、明るいインクを含んではなりません。
- 明るいインクは、最大量 50%以下で使用する必要があります。過剰な量の明るいインクは、ビニール光沢素材で光沢のアーチファクトを生成する可能性があります。
- タイリングアプリケーションの場合、RIP を使用して 0.5~1 秒の小さいパス間遅延を追加すると、左から右へのカラー マッチングが向上します。

メディア プリセットの作成方法や変更方法の詳細については、RIP のマニュアルを参照してください。

HP ブランドの素材のプリセットは、黒色と暗い色を最適化するために、上記の推奨事項に従って作成されています。お使いの素材ファミリの HP メディア プリセットについては、<http://www.hp.com/go/latexmediafinder/>を参照してください。

6 使用状況に関する情報を取得する

- [アカウント情報](#)を取得する
- [使用状況に関する情報](#)を確認する
- [ジョブの使用状況に関する情報](#)を確認する
- [電子メールによるアカウントデータ](#)の請求

アカウントティング情報を取得する

製品からアカウントティング情報を取得するには、いくつかの方法があります。

- 製品の使用期間全体の製品の使用状況に関する情報を表示する ([74 ページの使用状況に関する情報を確認する](#)を参照)。
- 電子メールでアカウントティング データを取得する。製品は、XML 形式のデータを指定された電子メールアドレスに定期的に送信します。データは、サードパーティのアプリケーションで解釈されて要約されるか、Excel スプレッドシートで表示されます。 [74 ページの電子メールによるアカウントティング データの請求](#)を参照してください。
- サードパーティ製アプリケーションを使用して、インターネット経由で製品のステータス、製品の使用状況、または製品のジョブ アカウントティング データを取得する。製品は、要求されるとアプリケーションに XML 形式でデータを提供します。HP では、そのようなアプリケーションの開発を促進するために **Software Development Kit** を提供しています。

使用状況に関する情報を確認する

製品の使用状況に関する情報を確認するには、2つの方法があります。

 **注記：** 使用状況に関する情報の正確性は保証されていません。

- 内蔵 Web サーバから [メイン] タブに移動し、[履歴] - [使用状況] を選択します。
- フロントパネルから、、 の順に押し、[セットアップ] - [印刷メニュー] - [ユーザ情報の印刷] - [使用状況レポートの印刷] を押します。

ジョブの使用状況に関する情報を確認する

内蔵 Web サーバを使用して、特定のジョブの使用状況に関する情報を確認できます。[メイン] タブに移動して、[履歴] - [アカウントティング] を選択します。

 **注記：** 使用状況に関する情報の正確性は保証されていません。

電子メールによるアカウントティング データの請求

1. IT 部門から送信される送信メール サーバ (SMTP) の IP アドレスを取得します。これは、電子メール メッセージの送信に必要です。
2. 送信メール サーバが製品から送信される電子メール メッセージのリレーが可能になるように設定されていることを確認します。
3. Web ブラウザを開き、製品の内蔵 Web サーバに接続します。
4. [セットアップ] タブを選択します。
5. 左側列にある設定メニューから、[日付と時刻] を選択します。
6. 製品の日付と時刻が正しく設定されていることを確認します。
7. 設定メニューから、[電子メール サーバ] を選択します。
8. 送信メール サーバ (SMTP) の IP アドレスを入力します。
9. 製品の電子メールアドレスを指定します。製品はメッセージを受け取らないので、製品の電子メールアドレスは有効な電子メールアドレスである必要はありません。ただし、電子メールアド

レスの形式は保つ必要があります。これは、電子メールメッセージを送信する際に製品を特定するために役立ちます。

10. 設定メニューから、**[プリンタ設定]** を選択します。
11. アカウンティング セクションで、**[アカウント ID の要求]** を **[オン]** に設定している場合は、印刷ジョブを製品に送信するたびに、アカウント ID を指定する必要があります。たとえば、自分が所属する部門に対応する ID または特定のプロジェクトまたはクライアントに対応する ID。アカウント ID を提供しないでジョブを送信する場合、製品はその特定されないジョブをアカウント ID が提供されるまで印刷せずにキューに保留します。

[アカウント ID の要求] を **[オフ]** に設定している場合、製品はアカウント ID を持っているか否かにかかわらず、すべてのジョブを印刷します。
12. **[アカウンティング ファイルの送信]** を **[有効]** に設定します。
13. **[アカウンティング ファイルの送信先]** をアカウンティング情報を送信してほしい電子メールアドレス (またはアドレス) に設定します。これは、製品から自動的に生成されたメッセージを受信するように特別に作成したアドレスです。
14. **[アカウンティング ファイルの送信頻度]** を情報を送信してほしい頻度に設定し、特定の日数または印刷数を選択します。
15. アカウンティング メッセージに個人情報が含まれないように、**[電子メール アカウントの個人情報の保護]** を **[オン]** に設定できます。このオプションが **[オフ]** の場合、ユーザ名、ジョブ名、アカウント ID などの情報が含まれます。

上記の手順を完了したら、製品は指定した頻度で電子メールでアカウンティング データを送信します。データは XML で提供され、サードパーティ製のプログラムで簡単に変換できます。各印刷ジョブで提供されたデータには、ジョブの送信日、ジョブの印刷日、印刷時刻、イメージのタイプ、ページ数、コピー部数、用紙の種類およびサイズ、使用された各カラーのインク量、およびジョブの他のさまざまな属性が含まれます。アカウンティング データはスキャン ジョブおよびコピー ジョブでも提供されます。

XML データをスプレッドシートの形式でより読みやすく表示可能な HP の Web サイト (<http://www.hp.com/go/designjet/accounting/>) から Excel のテンプレートをダウンロードできます。

アカウンティング データの分析により、顧客に対しより正確かつ柔軟に製品についての明細を作成できます。たとえば、次のことが可能です。

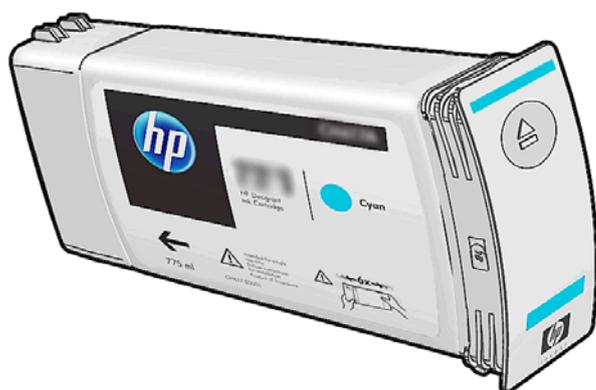
- 各顧客に対し、その顧客が特定の期間に使用したインクおよび用紙の総量の明細を作成する。
- 各顧客に対し、ジョブごとに別々に明細を作成する。
- 各顧客に対し、各ジョブのプロジェクトごとに別々に明細を作成する。

7 インク システム

インクシステム コンポーネント

インクカートリッジ

プリンタは6つのインクカートリッジから、マゼンタ、ライトマゼンタ、黒、イエロー、ライトシアン、およびシアンの各インクをプリントヘッドに供給します。各カートリッジの容量は775mlです。

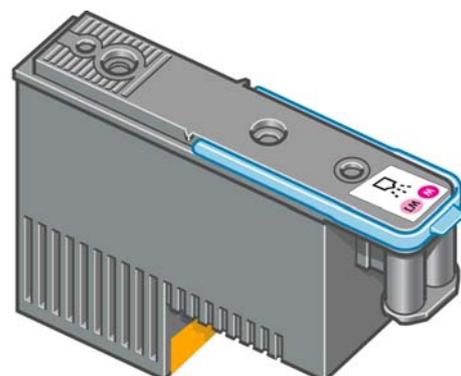


インクカートリッジには、保守やクリーニングは必要ありません。ただし、取り付ける前によく振ってください。インクの残量が少なくなった場合でも、高品質の印刷結果が得られます。

△ 注意： 静電気の放電に対して敏感なため、インクカートリッジを取り扱う際は、ピン、リード、および内部回路に触れないようにしてください。これらのデバイスはESDセンシティブデバイスと呼ばれます。[167 ページの用語集](#)を参照してください。静電気の放電は電子製品の主な障害の1つとなります。このような破損によって、デバイスの平均寿命が短くなることがあります。

プリントヘッド

プリントヘッドは、インクを素材に付着させます。各プリントヘッドは2つのインクカートリッジに接続されています。たとえば、以下に示すプリントヘッドは、ライトマゼンタとマゼンタのカートリッジからインクを出します。



プリントヘッドの耐久性は非常に優れており、インクカートリッジを交換するたびにプリントヘッドを交換する必要は**ありません**。プリントヘッドにより、インクカートリッジのインク残量が少なくなった場合でも品質は高水準に維持されます。

最適な印刷品質を維持するため、自動的に一定の間隔でプリントヘッドがテストされ、必要に応じて修復されます。この処理には少し時間がかかり、印刷速度が遅くなる場合もあります。

最終的にプリントヘッドの交換が必要になると、フロントパネルにメッセージが表示されます。

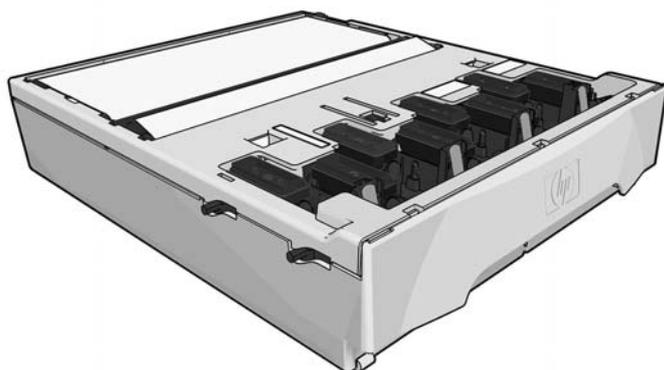
⚠注意： 静電気の放電に対して敏感なため、プリントヘッドを取り扱う際は、ピン、リード、および内部回路に触れないようにしてください。これらのデバイスは **ESD** センシティブデバイスと呼ばれます。[167 ページの用語集](#)を参照してください。静電気の放電は電子製品の主な障害の1つとなります。このような破損によって、デバイスの平均寿命が短くなる可能性があります。

プリントヘッドクリーニングキット

プリントヘッドクリーニングキットは、プリントヘッドクリーニングカートリッジ、インクファネル、およびインクフィルタを保管します。

プリントヘッドクリーニングカートリッジ

プリントヘッドクリーニングカートリッジは、プリントヘッドのクリーニングと保守に使用し、未使用時にプリントヘッドを保護して乾くのを防ぎます。



カートリッジには、プリントヘッドのクリーニングに使用する布のロールが含まれています。ロールの使用が **92%**になると通知されたら、カートリッジはまだ約 **140m²** の印刷領域に対して使用できます。新しいロールは、約 **1850m²** の印刷領域まで使用できます。

📖注記： これらの数値は、イメージの濃度、印刷モード、および周囲の温度によって大幅に異なる可能性があります。布は、高濃度の印刷、パスが多い、暑い環境ではかなり早く消耗されます。また、フロントパネルで **[PH 追加クリーニング]** オプションを選択した場合も、印刷品質に問題があるため早く消耗されます ([129 ページの横方向のバンディング](#)を参照)。必要ないときは、必ずこのオプションをオフにしてください。

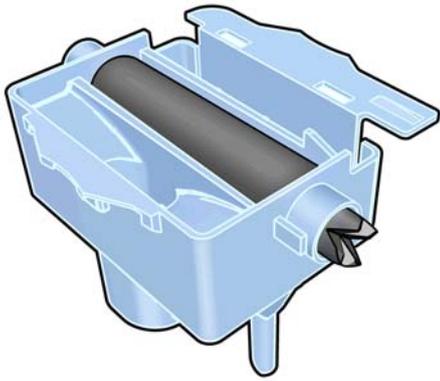
📖注記： プリンタの電源オンの場合、各印刷ジョブの終わりには、プリントヘッドクリーニングカートリッジが確認されてロールの端が検出されます。

クリーニングロールの終りが検出されると、印刷ジョブの開始は受け付けられません。プリントヘッドクリーニングカートリッジを新しいものと交換する必要があります。

インクファネル

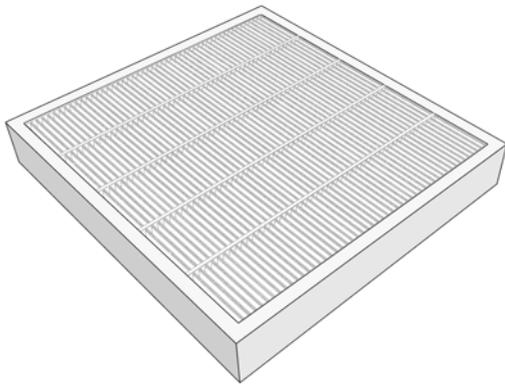
インクファネルは、プリントヘッドの作動中に生じる使用済みインクを収集します。プリンタの他のさまざまな部品へのインクのデポジットを防止するため、このファネルの取り付けは重要です。

インクファネルから、使用済みインクはインクチューブアセンブリを通過してプリントヘッドクリーニングコンテナに入ります。



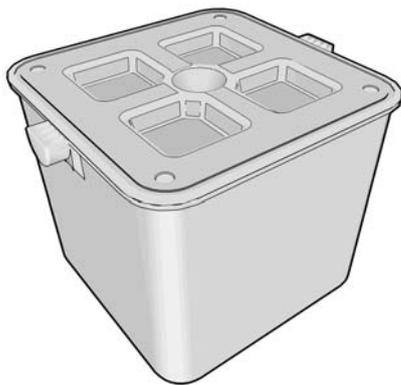
インク フィルタ

インク フィルタは、使用済みインクがプリントヘッドクリーニング コンテナに入る前に、使用済みインクの小さな粒子をフィルタします。



プリントヘッドクリーニング コンテナ

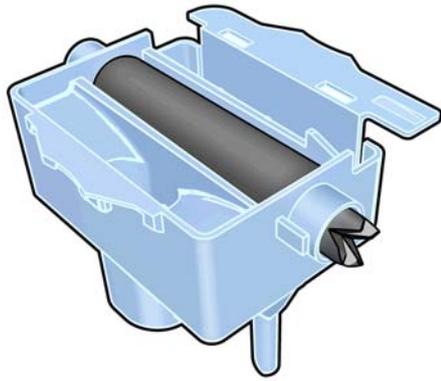
プリントヘッドクリーニング コンテナは、インク ファネルによって収集された使用済みインクを保管します。



インク メンテナンス キット

インク メンテナンス キットは、次のコンポーネントを保管します。

- インク ファネル。プリントヘッドの作動中に生じる使用済みインクの小さな粒子を収集します。

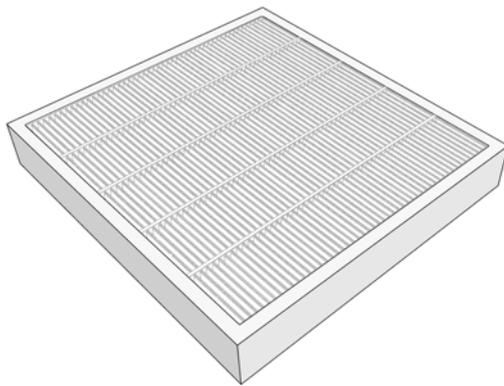


- インク チューブ アセンブリ。インク ファネルが収集した使用済みインクの小さな粒子をプリントヘッドクリーニング コンテナに渡します。



プリンタがインク チューブ アセンブリの交換を要求したら、インク ファネルとインク フィルタも同時に交換する必要があります。

- インク フィルタ。使用済みインクがプリントヘッドクリーニング コンテナに入る前に、使用済みインクの小さな粒子をフィルタします。



これらのコンポーネントは、プリンタの使用済みインクがプリンタを損傷したり、環境を汚したりしないようにするために設計されています。

プリンタとその周辺をクリーンに保つために、これらのコンポーネントを正しく取り付け、保守する必要があります。特に、以下の手順は必須です。

1. インク チューブ アセンブリを接続します。
2. インク ファネルを挿入します。
3. インク フィルタを挿入し、フィルタ ボックスを閉じます。
4. プrintヘッドクリーニング コンテナを取り付けます。

これらのコンポーネントの取り付けまたは接続が正しくない状態でプリンタの動作を継続した場合、発生した損傷やクリーニング費用について、HP は責任を負うことはできません。

これらのコンポーネントの不具合を検出した場合、プリンタはフロントパネルにメッセージを表示します。

インク サプライ品について

このプリンタ用にご注文いただけるインク サプライ品は以下のとおりです。

表 7-1 インクカートリッジ

カートリッジ	容量 (ml)	製品番号
HP 792 黒ラテックス Designjet インクカートリッジ	775	CN705A
HP 792 シアン ラテックス Designjet インクカートリッジ	775	CN706A
HP 792 マゼンタ ラテックス Designjet インクカートリッジ	775	CN707A
HP 792 イエロー ラテックス Designjet インクカートリッジ	775	CN708A
HP 792 ライトシアン ラテックス Designjet インクカートリッジ	775	CN709A
HP 792 ライトマゼンタ ラテックス Designjet インクカートリッジ	775	CN710A

表 7-2 プリントヘッド

プリントヘッド	製品番号
HP 792 イエロー/黒 Designjet プリントヘッド	CN702A
HP 792 シアン/ライトシアン Designjet プリントヘッド	CN703A
HP 792 マゼンタおよびライトマゼンタ Designjet プリントヘッド	CN704A

表 7-3 廃棄物管理システム

キット	製品番号
HP 792 Designjet プリントヘッドクリーニングキット	CR278A
HP 792 Designjet インク メンテナンス キット	CR279A
HP 789/792 Designjet プリントヘッドクリーニング コンテナ	CH622A

8 印刷オプション

プリンタの状態

プリンタは次のいずれかの状態にあり、一部は待機が必要です。

- **印刷可能です (コールド)**: プリンタには電源が入っていますがまだ印刷は行われていません。ヒーターはオフです。
- **印刷の準備を行っています**: プリンタはヒーターを暖めており、プリントヘッドによる印刷の準備をしています。1~8 分かかります。
- **素材を印刷可能です**
- **A/B 面を印刷可能です**
- **印刷**
- **A/B 面を印刷中**
- **硬化**: 1.5~5 分かかります。
- **終了中**: プリンタは温度を下げており、スタンバイの準備をしています。0.5~5 分かかります。

プリンタが **【硬化】** (カッターが無効の場合) または **【終了中】** の間、すでに印刷されたファイルと同じ印刷モードのジョブが送信されると、プリンタは **【印刷の準備を行っています】** に移行します。

印刷間の時間を節約するには、同じ印刷モード (同じパス数) のジョブを連結し、カッターをオフにして **【硬化】** と **【終了中】** の状態をスキップします。また、ネスティングを使用して、複数のジョブを同じワークフローで印刷することもできます。

カッターがオンの場合でも、連続するジョブが異なる印刷モードを使用している場合でも、**【印刷の準備を行っています】** に必要な時間を最小限に抑えるには、遅れなしにジョブを一括して印刷する方が適切です。

マージンを変更する

プリンタのマージンによって、イメージの端と素材の端との間の領域が設定されます。

特定の印刷ジョブのマージンは、RIP ソフトウェアで選択されます。そのジョブが素材の幅を超えた場合、ジョブはクリップされます。

フロントパネルでは下部マージンに追加の設定を提供します。[162 ページの表 19-5 「マージン設定」](#) を参照してください。カッターが使用されていない場合、これらの設定は単一印刷にのみ適用されます。下部マージンは、同時に送信される複数の印刷間にも両面印刷中にも適用されません。

フロントパネルで下部マージンを設定するには、、 の順に押し、**[素材] - [素材取り扱いオプション] - [予備下部マージン]** を押します。

 **注記：** フロントパネルで設定される予備下部マージンは、RIP で選択される下部マージン以外にも適用されます。

プリンタの印刷メニューを要求する

印刷メニューには、プリンタに関するさまざまな情報が表示されます。印刷メニューは、コンピュータを使用しなくても、フロントパネルから呼び出すことができます。

印刷メニューを呼び出す前に、素材が取り付けられており、フロントパネルに「印刷可能です」というメッセージが表示されていることを確認します。

印刷メニューを印刷するには、、 の順に押し、[セットアップ] - [印刷メニュー] を押し、必要な印刷メニューの種類を選択します。

次の印刷メニューを使用できます。

- **【使用状況レポートの印刷】:** 印刷の合計数、素材ファイル別の印刷数、印刷品質オプション別の印刷数、および色ごとに使用されるインクの合計量を表示します。これらの推定値の正確性は保証されていません。
- **【サービス情報の印刷】:** サービス エンジニアが必要とする情報を表示します。

9 アクセサリ

アクセサリについて

お使いのプリンタ用にご使用いただけるアクセサリは以下のとおりです。

 **ヒント：** スペアのスピンドルがあれば、種類の異なる素材の交換作業が楽になります。

商品名	製品番号
HP Designjet Soft Media 取り付けアクセサリ 104 インチ	CZ278A
HP Designjet Soft Media 取り付けアクセサリ 61 インチ	CR765A
HP Designjet L28500 104 × 3 インチ スピンドル	CZ277A
HP Designjet L2x500 ユーザー メンテナンス キット	CQ201A

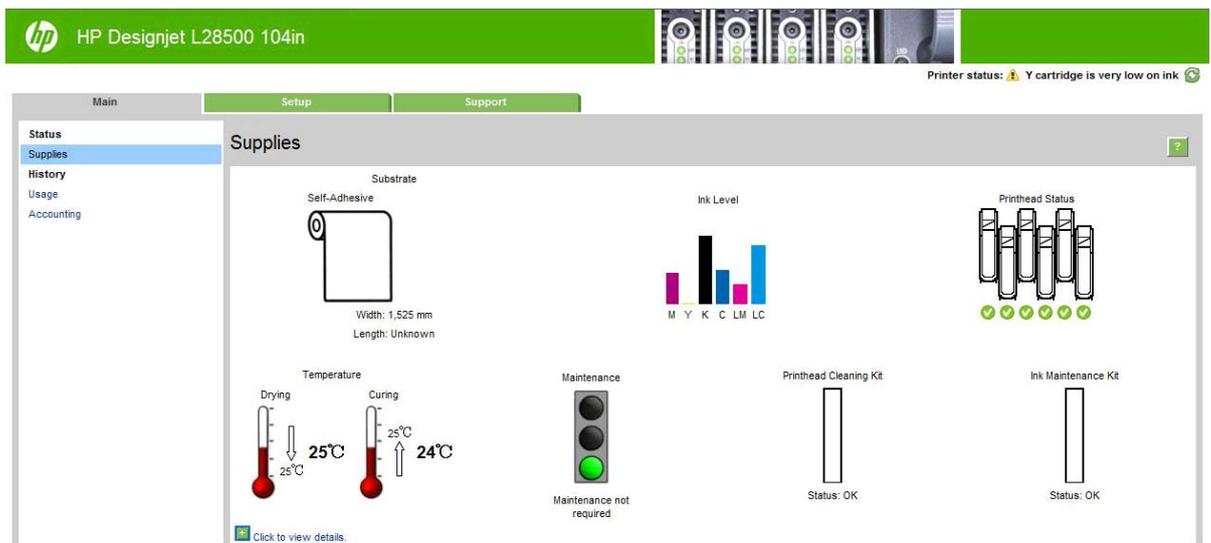
10 プリンタ ステータス

プリンタ ステータスを確認する

フロントパネルと内蔵 Web サーバでは、プリンタのステータス、取付済の素材およびインク システムの両方が表示されます。

インク システムのステータスを確認する

1. 内蔵 Web サーバにアクセスします (上記を参照)。
2. [メイン] タブの [サプライ品] ページに移動します。



[サプライ品] ページには、取り付けられている素材、インク カートリッジ、プリントヘッド、ヒーター、プリントヘッドクリーニングキット、インク ファネル、およびインク保守キットのステータスが表示されます。

信号は、保守が必要かどうかを示しています。詳細については、**[詳細の表示]** をクリックしてください。

インクカートリッジのステータスを確認する

フロントパネルのホーム画面では、インクカートリッジのインク量を表示できます。特定のインクカートリッジの詳細については、**[インク情報]** を押し、カートリッジの色を押します。表示される情報は次のとおりです。

- カラー
- ステータス
- インク残量

- 容量
- 製品名
- 製品番号
- シリアル番号
- 使用期限日付
- 保証期限
- 製造元

インクカートリッジのステータスは、内蔵 Web サーバでも参照できます。

プリントヘッドのステータスを確認する

印刷が終わるごとに、プリンタは自動的にプリントヘッドの確認と保守を行います。使用しているプリントヘッドの詳細を確認するには、以下の手順を実行します。

1. フロントパネルのホーム画面で、 を押します。
2. 情報を確認するプリントヘッドを選択します。
3. フロントパネルに、以下の情報が表示されます。
 - ステータス
 - カラー
 - 製品名
 - 製品番号
 - シリアル番号
 - 使用済みインク量
 - 保証期限

内蔵 Web サーバを使用しても、プリントヘッドのステータスと保証期限を確認できます。

 **注記：** 保証期限が「保証に関する注記を参照」の場合は、HP 製以外のインクが使用されていることを示します。HP 製以外のインクカートリッジを使用した場合、サービスおよび修理は無償保証の対象になりません。保証の詳細は、『法律情報』を参照してください。

ファイルシステムを確認する

プリンタのハードディスクのファイルシステムの整合性を確認し、自動的にすべてのエラーを修正できます。これは、6 か月に 1 度、またはハードディスクのファイルのアクセスに問題が発生した場合に行うことをお勧めします。

ファイルシステムの確認を実行するには、フロントパネルで 、 の順に押し、[予防保守タスク]-[ファイルシステムの確認] を押します。

プリンタでファイルシステムの破損が検出された場合 (深刻なソフトウェアの問題の後など)、ファイルシステムの確認が自動的に開始されることがあります。これには、約 1 時間半かかる可能性があります。

プリンタ アラート

ご使用のプリンタは**2種類**のアラートを発信します。

- **エラー**：プリンタが印刷できないとき。
- **警告**：キャリブレーションなどの調整、または予防保守やインクカートリッジの交換が必要など、要注意の状態であるとき。

プリンタのアラートは、フロントパネルと内蔵 **Web** サーバに表示されます。場合によっては、アラートの注意を喚起するためにビープ音が鳴ることもあります。ビープ音を鳴らしたくない場合は、フロントパネルから無効にすることができます。

- **フロントパネルディスプレイ**：フロントパネルには、最重要と判断されたアラートが同時に**1**つだけ表示されます。通常は、ユーザが確認して **OK** キーを押す必要がありますが、警告の場合は、しばらくすると表示されなくなります。一部のアラートは、プリンタがアイドル状態で、他に報告すべき重要な問題がない場合、再び表示されます。
- **内蔵 Web サーバ**：フロントパネルに表示されたアラートは、内蔵 **Web** サーバの右上隅にも表示されます。

アラートは、保守作業が必要であることを示している場合があります。[93 ページの「ハードウェア保守」](#)を参照してください。

次のアラートが発生した場合、サービス エンジニアによる作業が必要です。

- サービス保守キット **1**
- サービス保守キット **2**
- サービス保守キット **3**

11 ファームウェアについて

プリンタのさまざまな機能は、プリンタ内のソフトウェアによって制御されています。このソフトウェアは、ファームウェアとも呼ばれます。

ファームウェアのアップデートは、随時、**Hewlett-Packard** から入手することができます。このアップデートにより、プリンタの性能が向上し、プリンタの機能が拡張されます。

プリンタをはじめてインストールするときは、ファームウェアのアップデートを確認するメッセージが表示されることがあります。この目的の場合、次の仕様の **USB** フラッシュドライブが必要です。

- **USB 2.0** 互換
- **2GB** の容量
- **FAT** フォーマット
- ハードウェア暗号化なし

USB フラッシュドライブを使用してファームウェアをアップデートする

1. <http://www.hp.com/go/L28500/support/> からファームウェア アップデートをダウンロードし、**USB** フラッシュドライブに保存します。

 **重要：** USB フラッシュドライブのルートフォルダには、1つのファームウェア ファイル (**.fmw**) 以外のファイルが含まれてはなりません。

2. **USB** フラッシュドライブを、プリンタの背面にある **USB** コネクタに接続し、フロントパネルの指示に従います。

その後のファームウェア アップデートは、同じ方法でプリンタにインストールするか、プリンタの内蔵 **Web** サーバを使用してインストールできます。

内蔵 Web サーバを使用してファームウェアをアップデート

1. 任意のコンピュータから内蔵 **Web** サーバにアクセスするには、[87 ページのプリンタ ステータスを確認する](#)を参照してください。
2. 内蔵 **Web** サーバで **[セットアップ]** タブを選択し、**[ファームウェアのアップデート]** を選択します。
3. 画面の指示に従ってファームウェア ファイルをダウンロードしてハードディスクに保存します。次に、ダウンロードした **.fmw** ファイルを選択し、**[アップデート]** をクリックします。

ファームウェア ファイルをプリンタにアップロードする処理に非常に時間がかかる場合は、プロキシサーバーの使用がその原因であることがあります。その場合は、プロキシサーバーを経由せずに内蔵 **Web** サーバに直接アクセスします。

- **Windows** 版の **Internet Explorer 6** を使用している場合は、**[ツール]** - **[インターネット オプション]** - **[接続]** - **[LAN の設定]** をクリックし、**[ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しない]** チェック ボックスをオンにします。さらに高度な設定を行うには、**[詳細設定]** タブ

ブをクリックし、プロキシサーバを使用しないように、プリンタの IP アドレスを [例外] の一覧に追加します。

- Windows 版の Firefox 3.0 を使用している場合は、[ツール] - [オプション] - [詳細] - [ネットワーク] - [接続設定] をクリックし、[プロキシを使用しない] を選択します。または、[手動でプロキシを設定する] が選択されている場合は、プロキシサーバを使用しないようにプリンタの IP アドレスを例外リストに追加します。
- Linux 版の Firefox 2.0 を使用している場合は、[編集] - [設定] - [詳細] - [ネットワーク] - [接続設定] をクリックし、[インターネットに直接接続する] を選択します。または、[手動でプロキシを設定する] が選択されている場合は、プロキシサーバを使用しないようにプリンタの IP アドレスを例外リストに追加します。

12 ハードウェア保守

この章の作業では、プリンタに付属するユーザメンテナンスキットが必要になることがあります。

インクシステムに関するヒント

最高の結果を得るために、以下の説明に従ってください。

- 取り付け作業中は、フロントパネルに表示される指示に従います。
- プリンタとプリントヘッドクリーニングカートリッジが、プリントヘッドを自動的にクリーニングできるようにします。
- インクカートリッジとプリントヘッドは、できる限り取り外さないでください。
- 印刷中は、インクカートリッジを決して取り外さないでください。必ずプリンタ側でインクカートリッジ取り外しの準備ができた状態で取り外してください。フロントパネルで交換手順が示されます。
- インクシステム消耗品を廃棄する際は、適用されるすべての法律や規則に従ってください。

 **注記：** インクカートリッジとプリントヘッドは、よく振ってから取り付けます。

プリントヘッドの軸合わせ

プリントヘッドを交換する毎に、プリントヘッドの軸合わせが行われます。プリントヘッドを交換した際に素材が取り付けられていない場合は、次に素材を取り付けたときに軸合わせが行われます。

印刷品質の問題を解決するときも、プリントヘッドの軸合わせを行うとよい場合があります。

自動軸合わせ

まず、白色の素材がプリンタに取り付けられていることを確認します。半透明ボンド紙、クリアフィルム、トレーシング用紙、ベラム紙などのカラー素材、光沢キャンバス、ざらざらした布地、および透明紙は、プリントヘッド自動軸合わせに適していません。これらの存在については、手動でプリントヘッドの軸合わせを行うか ([94 ページの手動軸合わせ](#) を参照)、まずサポートされている素材で自動軸合わせを実行してから、特殊な存在に変えます。軸合わせ設定は、素材が変わっても、プリントヘッドの軸合わせが新たに実行されるまで保持されます。

プリントヘッドの軸合わせが自動的に実行されない場合、フロントパネルから手動で実行するには、、 の順に押し、[インク]-[イメージ品質の保守]-[プリントヘッドの軸合わせ]-[プリントヘッド自動軸合わせ] を選択します。

内蔵 Web サーバからプリントヘッドの軸合わせを実行するには、[セットアップ] タブを選択し、[プリントヘッドの軸合わせ]-[プリントヘッド自動軸合わせ]-[印刷] を選択します。

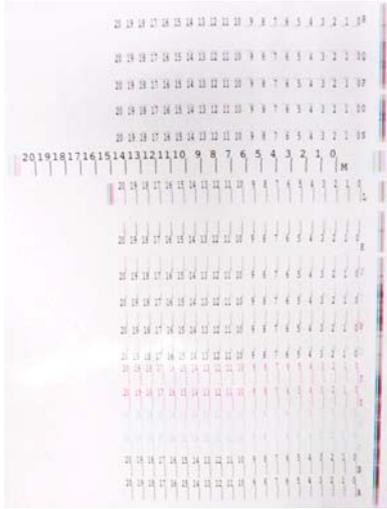
処理には約 10 分かかりますが、イメージの印刷中を除き、ただちに実行されます。印刷ジョブが処理中の場合は、現在の印刷ジョブの終了後すぐに軸合わせが実行されます。

手動軸合わせ

フロントパネルからプリントヘッドの手動軸合わせを実行するには、、 の順に押し、[インク]-[イメージ品質の保守]-[プリントヘッドの軸合わせ]-[プリントヘッド手動軸合わせ]-[軸合わせパターン印刷]を押します。

内蔵 Web サーバからプリントヘッドの手動軸合わせを実行するには、[セットアップ] タブを選択し、[プリントヘッドの軸合わせ]-[プリントヘッドの手動軸合わせ]-[印刷]を選択します。

プリンタにより、A から R までの 17 行が印刷されます。印刷結果を検査して、各行の直線の番号を書き留めます(たとえば、A:9 など)。



その後、補正値をフロントパネルまたは内蔵 Web サーバに入力します。

フロントパネルに補正値を入力するには、、 の順に押し、[インク]-[イメージ品質の保守]-[プリントヘッドの軸合わせ]-[プリントヘッド手動軸合わせ]-[補正値の入力]を押します。対応するパターンと同じ文字が付いたウィンドウに各値を入力します。

内蔵 Web サーバに補正値を入力するには、[セットアップ] タブを選択し、[プリントヘッドの軸合わせ]-[プリントヘッド手動軸合わせ]を選択して、対応するパターンと同じ文字が記されたウィンドウに各値を入力します。

キャリッジレールをクリーニングおよび潤滑する

 **注記：** 一部のワークフロー、周囲の温度が高くプリンタの動作仕様 (30°C (86°F)) を上回るサイト条件、プリンタの周囲にほこりが多い場合などは、スライダ棒の潤滑の低下、または潤滑に影響を及ぼす場合があります、これが原因でプリンタのパフォーマンスに影響を受ける可能性があります。

 **注記：** キャリッジレールのクリーニングおよび潤滑の手順のわかりやすい説明については、以下を参照してください。<http://www.hp.com/go/L28500/videos>

1. フロントパネルで、、 の順に押し、[予防保守タスク]-[キャリッジレールのクリーニングおよび潤滑]を押してください。
2. ウィンドウのロックを解除して開きます。

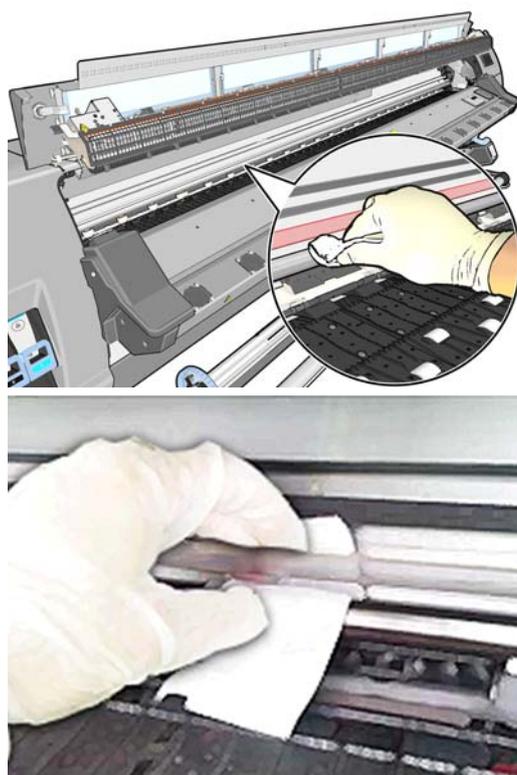
3. キャリッジレールは、糸くずの出ない布を95%エタノールで湿らせてクリーニングします。左カバーの下の部品など、レール全体をクリーニングしてください。

 **注記：** 95%エタノールは、メンテナンス キットには含まれていません。

 **注意：** エタノールは非常に燃えやすい液体です。製造元の安全に関する注意事項を守ってください。

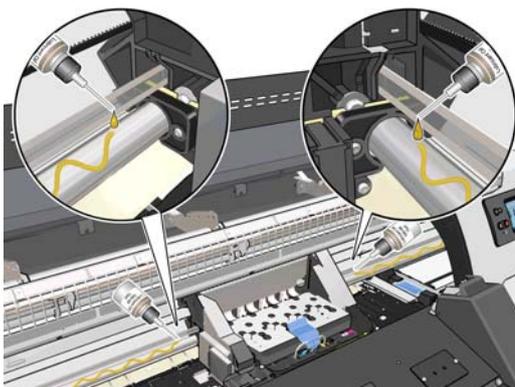
注意： 市販の洗剤や研磨剤入り洗剤は使用しないでください。

注意： クリーニング中は、レールの上部にある金属片を壊さないように注意してください。



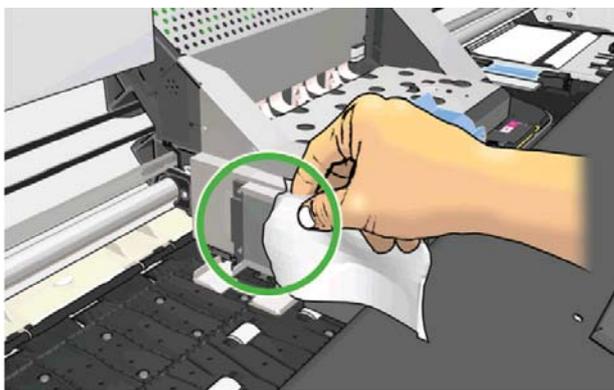
4. レールが乾燥するまで待つてから、ウィンドウを閉じます。右カバーの下にあるレールの部品に手が届くように、キャリッジがプリンタの中央に移動します。
5. ウィンドウのロックを解除して開きます。
6. 手順3と同じ方法で、右カバーの下にあるキャリッジレール部分をクリーニングします。
7. プリンタ付属のメンテナンス キットからオイルのボトルを取ります (必要な場合は交換キットを注文できます)。

8. キャリッジの両側のレールに沿って、オイルを細いジグザグ状に垂らします。この処理について説明しているビデオを参照してください。 <http://www.hp.com/go/L28500/videos>



 **注記：** 潤滑時は、レールの上にある金属片にオイルを垂らさないように注意してください。

9. 糸くずのでない布を蒸留水で湿らせて、素材詰まりリフレクタをクリーニングします。インクが乾燥していて取り除くことができない場合は、糸くずのでない布を **95%**のエタノールで湿らせて使用してみてください。

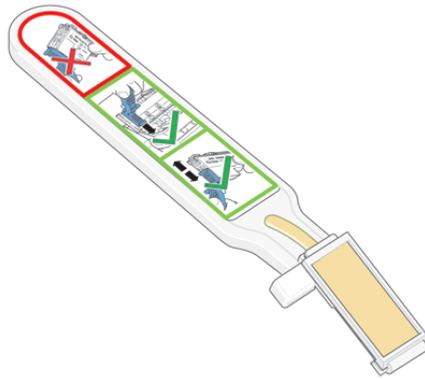


10. フロントパネルの **[OK]** を押します。
11. ウィンドウを閉じてロックします。
12. レールに沿ってキャリッジアセンブリを動かし、レールに沿ってオイルを伸ばします。
13. フロントパネルに潤滑プロセスが完了したことを確認するメッセージが表示されます。 **[OK]** ボタンを押して確認します。

プリントヘッドの電極をクリーニングする

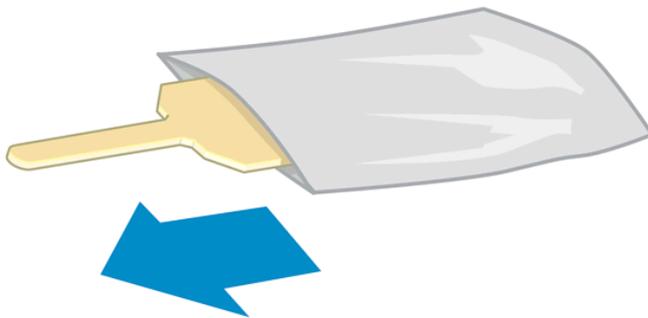
プリントヘッドを取り付けてもプリンタがプリントヘッドを認識しないことがあります。これは、プリントヘッドとプリントヘッドキャリッジが接触する電極部分に、インクがたまって付着していることが原因です。このような場合は、プリントヘッドの電極部分をクリーニングすることをお勧めします。しかし、特に問題がなければ、電極部分を定期的にクリーニングする必要はありません。

ユーザメンテナンスキットには、キャリッジ接点ワイパーが入っています。



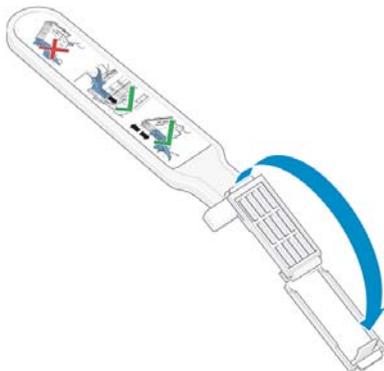
「再度取り付けて下さい」または「交換して下さい」というメッセージがプリントヘッドの横にあるフロントパネルに表示され続ける場合、キャリッジ接点ワイパーを使用して、プリントヘッドキャリッジとプリントヘッドの両方の電極部分をクリーニングします。

1. 湿った新しい交換スポンジを袋から取り出します。

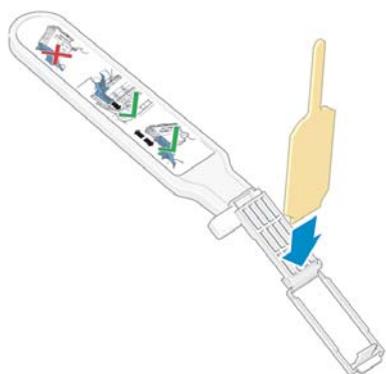


スポンジの替えはワイパーと一緒にボックスに入っています。スポンジの替えをすべて使い切り、さらに必要な場合は、サービス担当者に連絡してください。

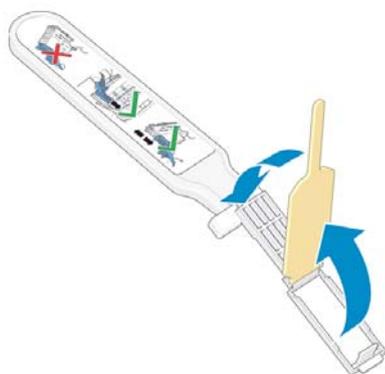
2. キャリッジ接点ワイパーを開きます。



3. スポンジの短いほうの端をキャリッジ接点ワイパーの取り付け用スロットに入れてスポンジを取り付けます。

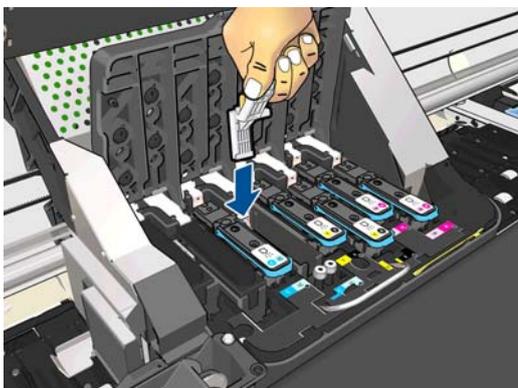


4. キャリッジ接点ワイパーを閉じて、スポンジをはさみ込みます。

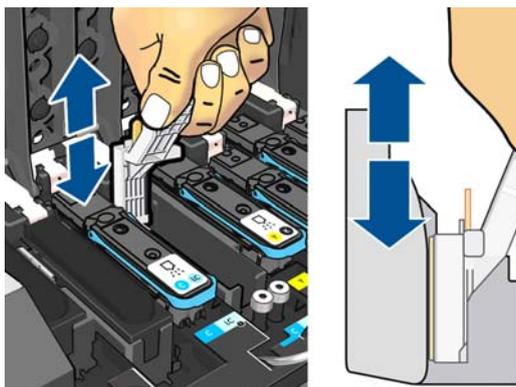


5. プリントヘッド キャリッジのラッチを開き、フロントパネルに表示されている問題の原因となるプリントヘッドを取り外します。 [114 ページのプリントヘッドを交換する](#) を参照してください。
6. キャリッジ接点ワイパーをプリントヘッドスロットの奥に差し込みます。スロットの奥の電極部分とスチール製のバネの間に、スポンジが電極の方を向くようにワイパーを入れ、電極を拭きます。このとき、スロットの底にたまったインクをすくい上げないようにしてください。

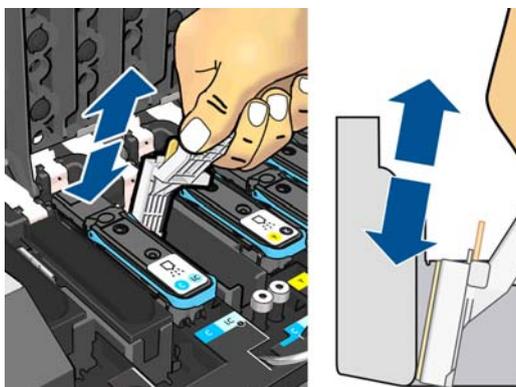
⚠ 注意： キャリッジがプリンタの中央部分放置されている時間が 7 分を超えると、右端の通常的位置に戻ります。



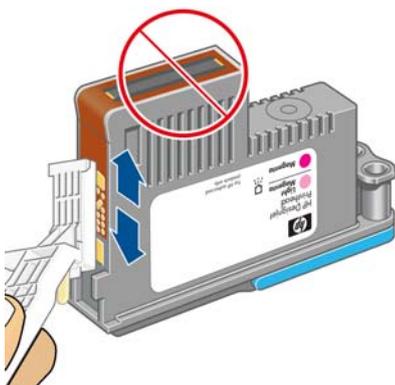
7. スポンジを軽く動かし、フレックス コネクタの底まで(ワイパーが止まるまで挿入して)、電極を拭きます。



8. すべての電極を慎重にクリーニングします。コネクタの底の部分の電極も忘れずにクリーニングしてください。



9. プリントヘッドが新しいものではない場合は、同じスポンジを使用して、プリントヘッドの下側にある電極ストリップをクリーニングします。上側の電極には触らないでください。



⚠ 注意： 破損しやすいため、ノズルがある面には触らないでください。

10. 両方のコネクタが乾くまでしばらく待ちます。乾いたら、プリントヘッドをプリントヘッド キャリッジに取り付けます。 [114 ページのプリントヘッドを交換する](#) を参照してください。

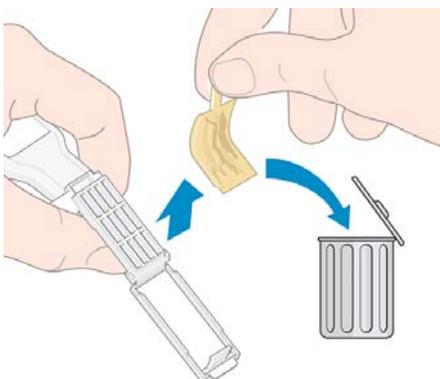
11. クリーニング作業が完了したら、スポンジのタブを引いてキャリッジ接点ワイパーを開きます。



12. キャリッジ接点ワイパーから汚れたスポンジを取り外します。



13. 手や服にインクが付かないように、汚れたスポンジは適切な場所に捨ててください。



フロントパネルに「再度取付けて下さい」または「交換して下さい」というメッセージがまだ表示される場合は、プリントヘッドを交換するか、サービス担当者に連絡してください。

プリンタの外部をクリーニングする

湿らせたスポンジや柔らかい布と、研磨剤の入っていない液状の石鹸など、刺激の少ない家庭用洗剤を使用して、プリンタの外部や、通常の操作で触れるその他の部分（インクカートリッジの引き出し用のハンドルなど）のクリーニングを行います。

硬化モジュールのファンの下に凝縮部分に湿気が生じる場合がありますが、乾いた布で拭いてください。

⚠ **警告!** 感電を防ぐために、クリーニングの前に、プリンタの電源がオフになっていて、電源コードが抜いてあることを確認してください。プリンタ内部に水が入らないようにしてください。

⚠ **注意:** プリンタに研磨剤入り洗剤を使用しないでください。

プラテンのクリーニングを行う

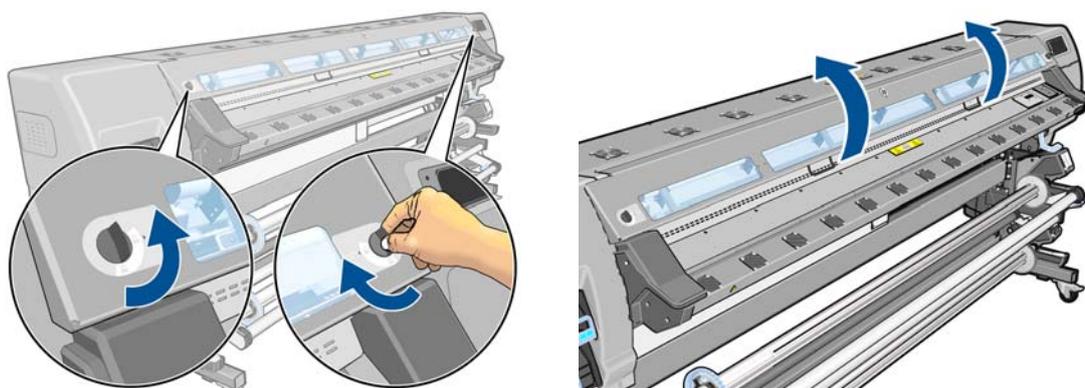
数か月ごとに、または必要に応じて、プリンタのプラテンのクリーニングを行う必要があります。

📖 **注記:** 特定の素材をしばらく使用した後で、それより幅の広い素材に印刷を行うと、プラテンの左側が汚れている場合があります。汚れている箇所をクリーニングしないと、インクが素材の裏面に残ることがあります。

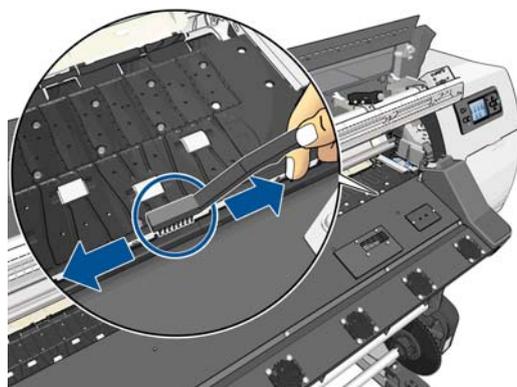
⚠ **注意:** プラテンをクリーニングする際は、素材送りセンサーに損傷を与えないよう注意してください。センサーは極小の長方形の窓で(1 cm² 未満)、右から6番目のピンチホイールの近くにがあります。[104 ページの素材送りセンサーの窓をクリーニングする](#)を参照してください。

以下の手順に従って、プラテンのクリーニングを行います。

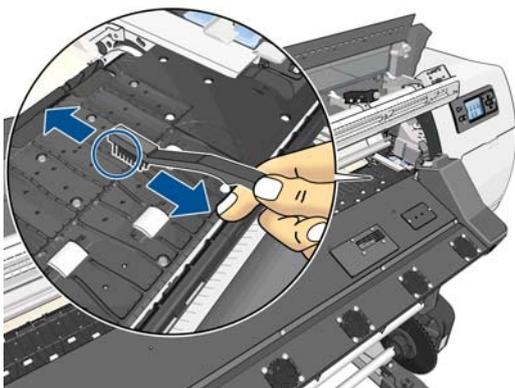
1. プリンタからすべての素材を取り外します。[36 ページのプリンタからロール紙を取り外す](#)を参照してください。
2. プリンタの電源を切って温度が下がるまで待ち、ウィンドウのロックを解除して開けます。



3. 吸水性のあるきれいな不織布でカッターの溝、カッターの傾斜面、およびプラテンから乾いていないインクを完全に拭き取ります。
4. 乾いたブラシで、カッターの溝およびカッターの傾斜面に付着している乾いたインクを取り除きます。ブラシは、ユーザメンテナンスキットにあります。



5. 同じ乾いたブラシで、プラテンの表面に付着している乾いたインクを取り除きます。

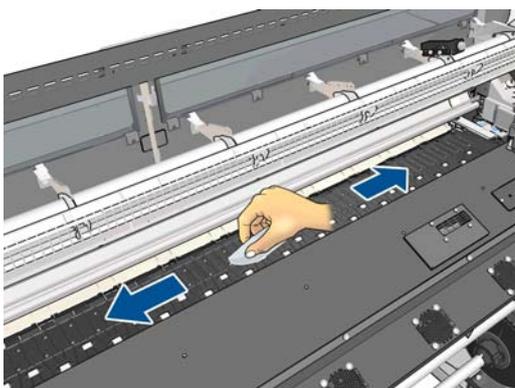


6. 古い布を 95%のエタノールでわずかに湿らせ、付着している残りの乾いたインクをプラテンから拭き取ります。

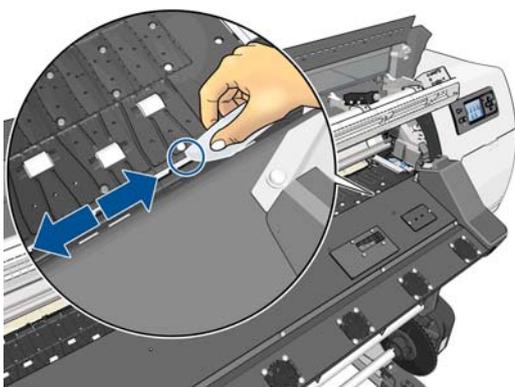
 **注記：** 95%のエタノールは、ユーザメンテナンスキットに含まれていません。

 **注意：** エタノールは非常に燃えやすい液体です。製造元の安全に関する注意事項を守ってください。

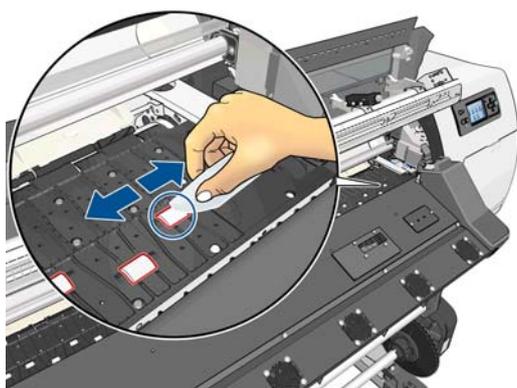
注意： 市販の洗剤や研磨剤入り洗剤は使用しないでください。プラテンを直接湿らせないでください。この理由は、水分が残った状態では素材送りセンサーが損傷するおそれがあるためです。



7. 湿った布でカッターの傾斜面に付着している乾いたインクを拭き取ります。



8. 乾いた布で、ホイールの露出している部分のクリーニングを行います。できれば、このホイールの周辺全体のクリーニングを行ってください。

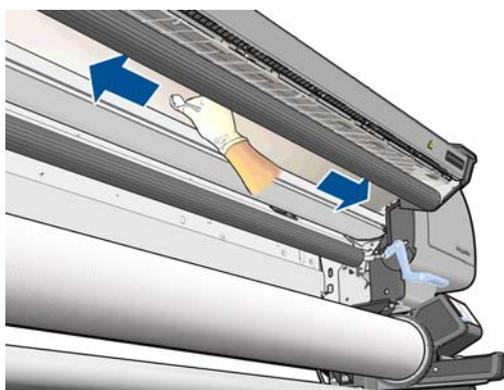


9. プリンタの周囲から閉じた 95%のエタノール コンテナと布を移動します。
10. プリンタの電源を入れて素材を再び取り付ける前に、エタノールが気化するまで 3 ~ 4 分待機します。
11. 直径 1mm のピンで、真空穴、特に、最もよく使用されるサイズの素材がかぶさる穴が塞がれていないことを確認します。

多孔性素材の使用後にクリーニングする

多孔性素材（インクが染み出す可能性がある）に印刷する場合は、各印刷セッションの直後にプラテンをクリーニングする必要があります。たとえば、プリンタを一晩そのままにしたり、先にプラテンをクリーニングせずに新しいロールを取り付けたりしないでください。

テクスタイルや薄い素材に印刷すると、プリンタの入力領域に凝結部分が生じることがあります。凝結部分は、少なくとも新しいロールを取り付ける前に乾いた布で拭き取ることをお勧めします。



プリントヘッドをクリーニング (修復) する

プリントヘッドのクリーニングを行うと、問題を解決できる場合があります。クリーニングを行うには、プリンタのフロントパネルで、、 の順に押し、[インク]-[イメージ品質の保守]-[プリントヘッドのクリーニング] を押します。クリーニングを行うプリントヘッドを指定します。すべてのプリントヘッド、または一部のプリントヘッドをクリーニングできます。次のいずれかのオプションを選択します。

- テスト プロットの印刷
- すべてのクリーニング

- LC-C のクリーニング
- Y-K のクリーニング
- LM-M のクリーニング

すべてのプリントヘッドのクリーニングには、5分ほどかかります。2個のプリントヘッドをクリーニングするには、3分ほどかかります。

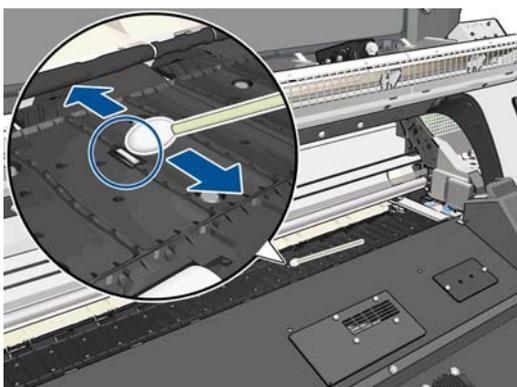
 **注記：** すべてのプリントヘッドのクリーニングには、1組のプリントヘッドのクリーニングよりも多くのインクが必要です。

素材送りセンサーの窓をクリーニングする

素材送りセンサーは極小の長方形の窓で (サイズは1平方センチメートル以下)、右から3番目のピンチホイールの近くににあります。

印刷プラテンのクリーニングを行う場合、または印刷品質に問題が発生した場合に素材送りセンサーの窓をクリーニングすることをお勧めします。

1. フロントパネルに表示される手順に従って、素材を取り外します。[36 ページのプリンタからロール紙を取り外す](#)を参照してください。
2. プリンタの電源を切って温度が下がるまで待ちます。
3. ユーザ メンテナンス キットに含まれる綿棒でセンサーを拭いて濡れたインクを取り除きます。



4. ユーザ メンテナンス キットに含まれる綿棒に、95%のエタノールを少し浸し、センサーを拭いて乾燥したインクを取り除きます。

 **注記：** 95%のエタノールは、ユーザ メンテナンス キットに含まれていません。エタノールを扱うときは、製造元の安全に関する注意事項に従ってください。

センサー ウィンドウに乾燥したインクが大量に付いている場合、拭くときに少し圧力をかけて、綿にインクが吸収されやすくする必要があります。新しい綿棒を使って、綿に汚れが付かなくなり、センサー ウィンドウに汚れが見えなくなるまでクリーニングを続けます。周囲の照明が反射するときは、クリーニング センサーは、表面全体で一様に青色に反射します。近づき、視点を少し変えることによってこの反射を確認できます。

5. プリンタの周囲から閉じた 95%のエタノール コンテナと綿棒を移動します。
6. プリンタの電源を入れて素材を再び取り付ける前に、エタノールが気化するまで3～4分待機します。

インクカートリッジを保守する

インクカートリッジは、通常の使用期間内であれば特別な保守は必要ありません。カートリッジが使用期限に達したら交換してください。使用期限については、フロントパネルのインクカートリッジ情報を参照してください。

プリンタを移動または保管する

プリンタを移動したり、長期間保管する必要がある場合は、準備作業を正しく行い、プリンタの損傷を防ぐ必要があります。

1. インクカートリッジ、プリントヘッド、またはプリントヘッドクリーニングカートリッジは取り外さないでください。
2. 素材が取り付けられていないことを確認します。
3. プrintヘッドキャリッジが、プリンタ右端のサービスステーションにあることを確認します。
4. フロントパネルに「印刷可能です」メッセージが表示されていることを確認します。
5. フロントパネルの **電源** ボタンを押して、電源をオフにします。
6. プリンタの背面にある電源スイッチもオフにします。
7. ネットワーク、コンピュータ、またはスキャナにプリンタを接続しているすべてのケーブルを取り外します。
8. 巻き取りリールが取り付けられている場合は、巻き取りリールセンサーとケーブル格納ユニットをプリンタスタンド下部から取り外します。格納ユニットを再度取り付けの場合、プリンタスタンドの脚部のキャスターが前を向くようにしてください。
9. プリンタを裏返したり横向きにしたりする場合は、最初に廃棄物管理システムを取り外します ([110 ページのインク保守キットを交換する](#)および[120 ページのプリントヘッドクリーニングキットを交換する](#)を参照)。
10. 環境に配慮した適切な保管方法については、[163 ページの動作環境の仕様](#)を参照してください。

 **注記：** プリンタやインクカートリッジを気温の低い場所から、気温と湿度が高い場所に移動すると、大気中の水分がプリンタの部品やカートリッジ上で凝結し、インク漏れやプリンタエラーの原因になることがあります。この場合、凝結した水分を蒸発させるために、プリンタの電源を入れたり、インクカートリッジを取り付けたりする前に少なくとも **3 時間**、プリンタやインクカートリッジを放置します。

インクカートリッジを交換する

インクカートリッジは、次の **2 つ** の理由がある場合、交換する必要があります。

- インクカートリッジの残量が残りわずかなため、無人での印刷を行うのに十分な量のインクカートリッジと交換する必要がある場合。交換前のカートリッジに残っているインクは、別の機会に使い切ることができます。
- インクカートリッジが空になったか問題があり、印刷を続行するために交換する場合

 **注意：** インクカートリッジの取り外し処理は、フロントパネルで行う必要があります。インクカートリッジはフロントパネルで指示があるまで取り外さないでください。インクカートリッジを間違えて取り外した場合、そのカートリッジは、その後取り付けられなくなる可能性があります。

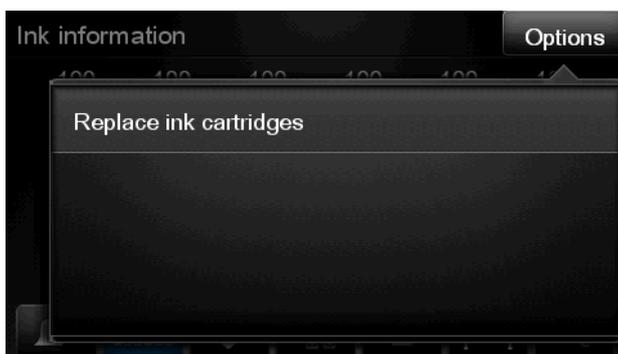
注意： インクカートリッジを取り外す場合は、新しいインクカートリッジを用意してから行ってください。

注意： 静電気の放電に対して敏感なため、インクカートリッジを取り扱う際は、ピン、リード、および内部回路に触れないようにしてください。静電気の放電によってデバイスの平均寿命が短くなることがあります。

警告！ プリンタのキャスターがロックされ(ブレーキレバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

インクカートリッジを取り外す

1. プリンタのフロントパネルで、[インク情報]-[オプション]-[インクカートリッジの交換]を押します。



または、 を押し、次に  を押して、[インク]-インクカートリッジの交換 を選択します。

2. 取り外すカートリッジの前面にある青いタブをつかみます。



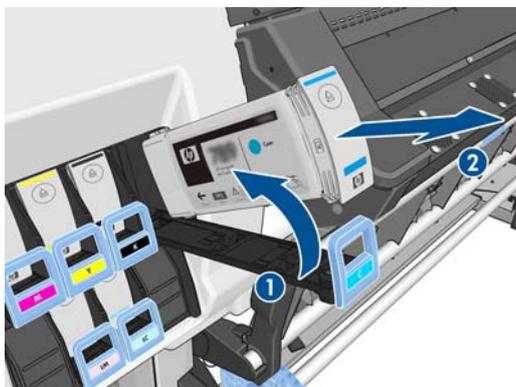
3. 青いタブを下に引いてから手前に向けて外側に引き出します。



4. カートリッジが引き出しに載って出てきます。



5. インクカートリッジを引き出しから取り出します。



 **注記：** プリンタとの接続部分には触らないでください。接続部分にインクが付着していることがあります。

 **注記：** 一部使用済みのインクカートリッジを保管しなければならないときは、プリンタに挿入されていたときと同じポジションで保管します。立てて保管されていた一部使用済みのインクカートリッジは引き続き使用しないでください。

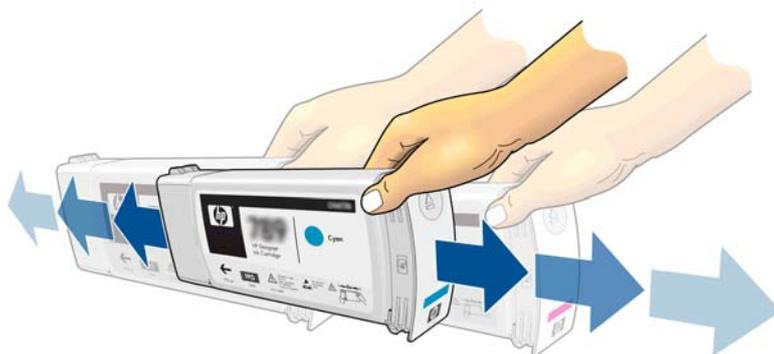
6. フロントパネルに、取り付けられていないインクカートリッジが表示されます。



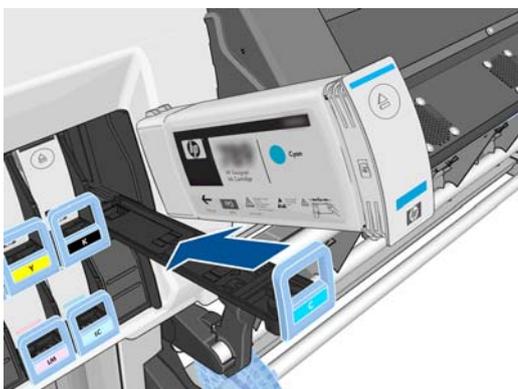
インクカートリッジを取り付ける

1. 新しいインクカートリッジを用意し、ラベルを参照してインクの色を確認してください。ラベルが手前から見て上部に見えるようにインクカートリッジを持ちます。
2. プリンタの空いたスロットの上部にあるラベルの色と、カートリッジのラベルの色が同じであることを確認します。

3. カートリッジを 15 秒間よく振ります。



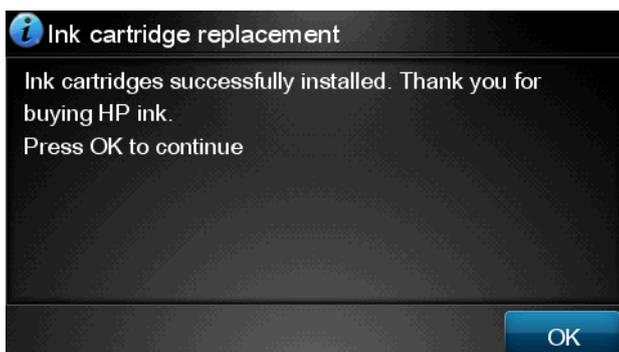
4. インクカートリッジを、カートリッジ用の引き出しに取り付けます。



5. カートリッジを設置した引き出しをスロットの中にスライドさせ、所定の位置に固定されるまで押し込みます。



6. フロントパネルに、すべてのカートリッジが正しく取り付けられたことが表示されます。



補充用インク カートリッジおよび HP 製以外のインク カートリッジ

カートリッジが空になった場合は、新しい HP のカートリッジと交換することをお勧めします。

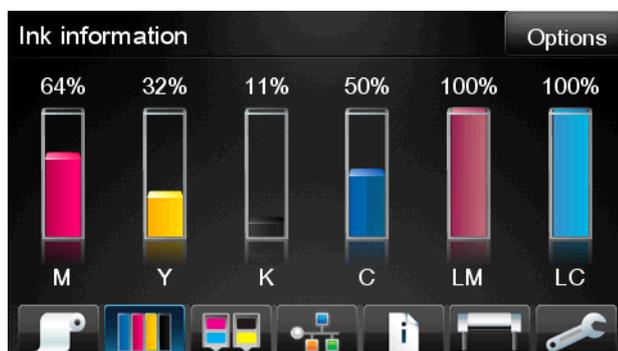
補充用インク カートリッジまたは HP 製以外のインク カートリッジを使用する場合は、不都合が生じることがあります。

- HP 製品以外のインク カートリッジまたは補充用インク カートリッジの使用によるプリンタの故障や破損については、無償保証の範囲外とし、修理に必要とされる技術者派遣費、技術費および、材料費を請求させていただきます。
- HP 製品以外のインク カートリッジ、使用期限切れのインク カートリッジ、または補充用インク カートリッジの使用によりプリンタが故障または破損した場合、交換費用はユーザの負担となります。
- 印刷品質が低下する可能性があります。
- プリンタはカートリッジ内のインク残量を推定できなくなり、インク残量を空と報告します。

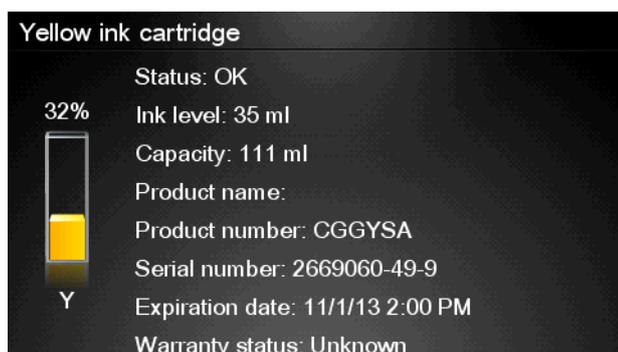
補充用インクカートリッジや HP 製品以外のインクカートリッジを使用する場合は、次の手順に従って、プリンタでインク残量が空であると判断されたカートリッジを使用する必要があります。

⚠ 注意： インクを使い果たした状態で実行すると、プリントヘッドが損傷するおそれがあります。空のインク カートリッジで印刷することによる損傷は、無償保証の対象になりません。プリンタで空のカートリッジを強制的に使用すると、インク供給システムも空になります。空になったら、新しいインク カートリッジを取り付けるときに、インク供給システムにインクを補充してプリントヘッドを再充填する必要があります。

1. カートリッジをプリンタに取り付けます ([105 ページのインク カートリッジを交換する](#)を参照)。
2. フロントパネルにカートリッジが空であると表示されたら、カートリッジの取り外し処理が開始されます。✗ を押して、この自動プロセスを中止します。
3. フロントパネルのホーム画面で、**[インク情報]** を押して次の画面を表示します。



4. カートリッジを押して詳細情報を表示します。



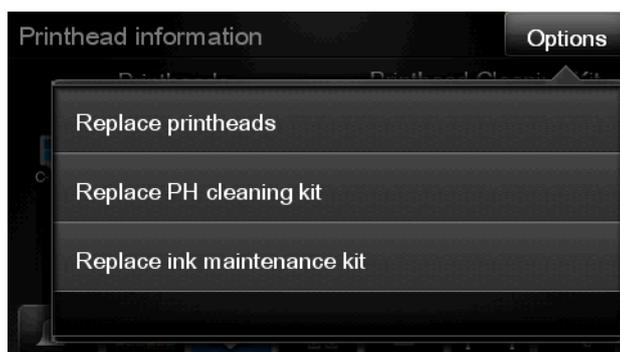
5. フロントパネルの右側で、次の順番で押します。？、？、×、×。これらのアイコンは点灯していません。ただし、正常に押した場合、フロントパネルに一連の警告メッセージが表示されます。各メッセージに対して、[キャンセル] を押して処理を取り消すか、[OK] を押して続行を確認します。
6. すべての警告メッセージに対して [OK] を押した場合は、フロントパネルでインクカートリッジの通常のステータスが表示されますが、カートリッジは警告サインと共に空と表示されます。

インク保守キットを交換する

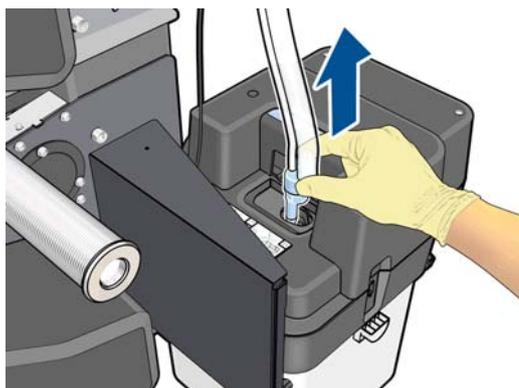
インク保守キットには、インクファネル、インクチューブアセンブリ、およびインクフィルタが含まれています。これらのコンポーネントを交換する必要がある場合は、フロントパネルにメッセージが表示されます。

注記： インクチューブアセンブリを取り外した場合、そのアセンブリは再利用できないので、新しいアセンブリを取り付ける必要があります。

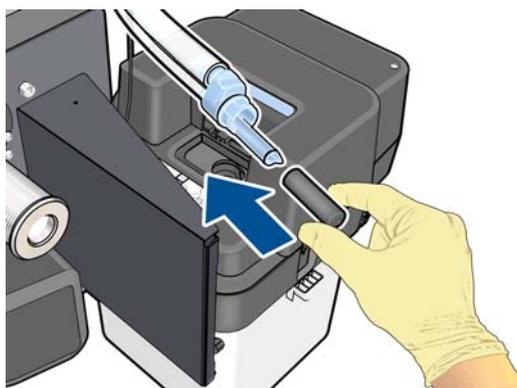
1. インク保守キットを開封し、スペアインクチューブのキャップを取り外します。このキャップは、古いインクチューブの末端に取り付けます。
2. プリンタのフロントパネルで、 を押し、[オプション]-[インク保守キットの交換] を押します。



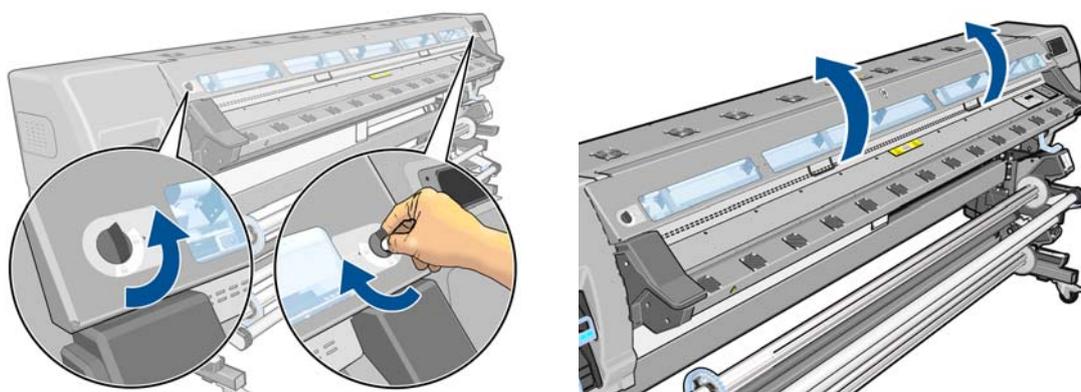
3. インクチューブアセンブリの下部をプリントヘッドクリーニングコンテナから引き出します。



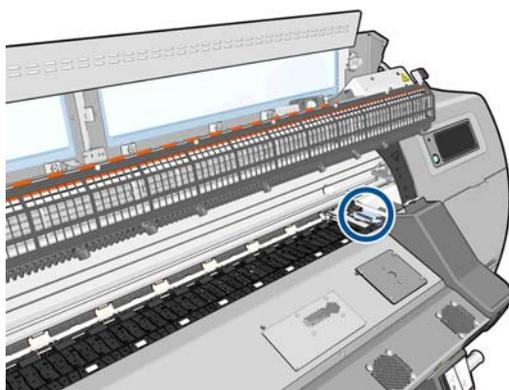
4. インク保守キットのスペア キャップを古いインク チューブの末端に取り付けて、チューブからインクが漏れないようにします。



5. ウィンドウのロックを解除して開きます。

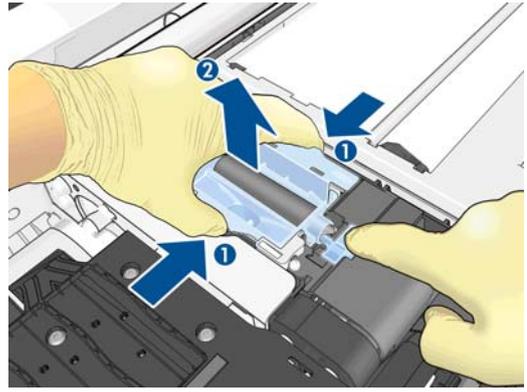
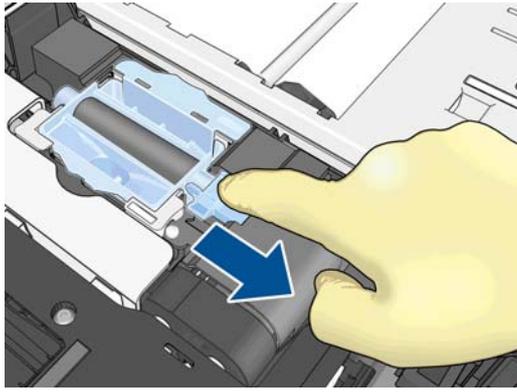


6. インク ファネルの場所を確認します。

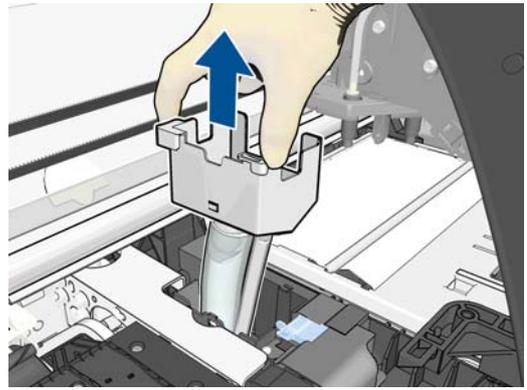
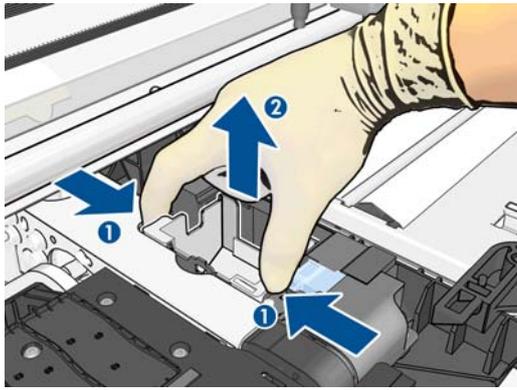


7. 片方の手でインク ファネルを取り外しながら、別の指でスライダを引き出します。

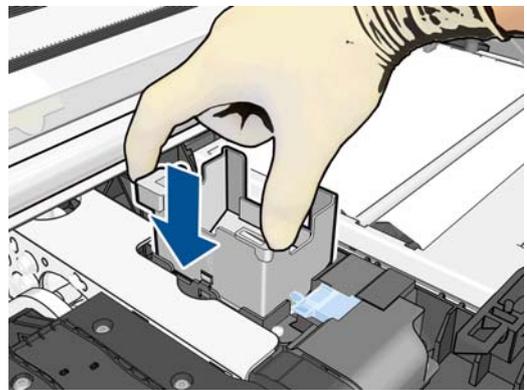
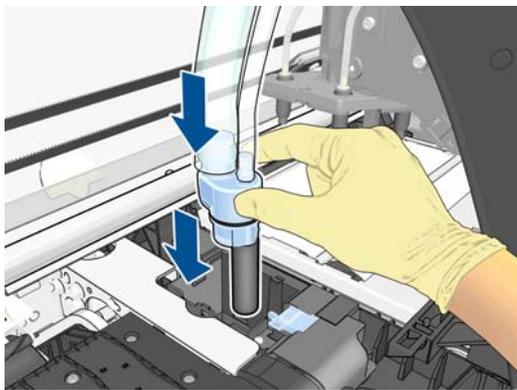
 **注記：** 手袋をはめることをお勧めします。



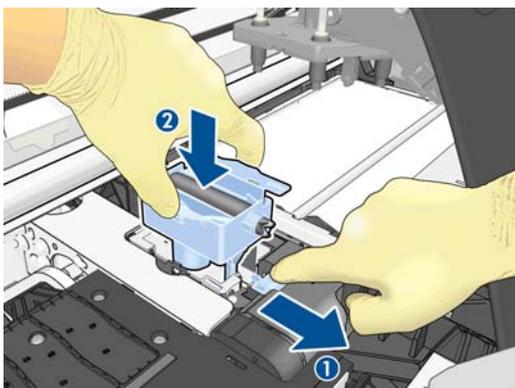
8. インク チューブ アセンブリ支持部およびインク チューブ アセンブリを取り外します。



9. 新しいインク チューブ アセンブリを挿入します。



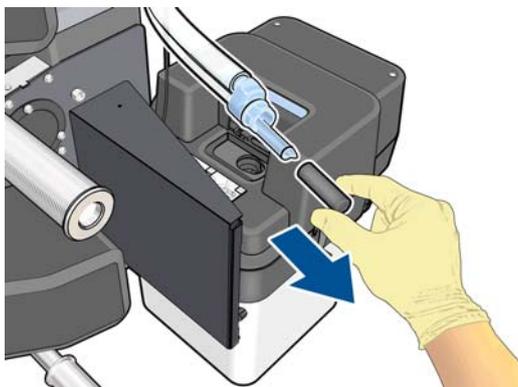
10. 片方の手で新しいインク ファネルを挿入しながら、別の指でスライダを引き出します。



11. インク ファネルを所定の位置に押し込みます。



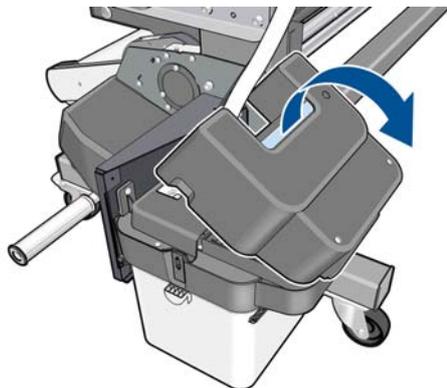
12. インク チューブ アセンブリの下部からキャップを取り外します。



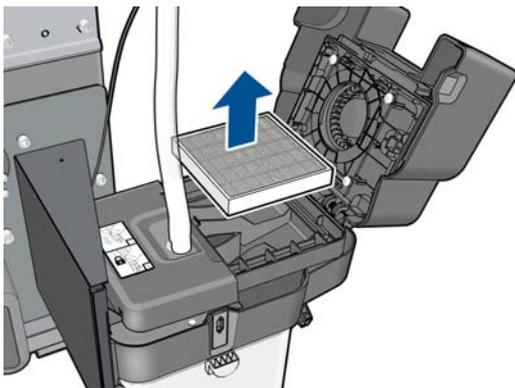
13. インク チューブ アセンブリの下部をプリントヘッドクリーニング コンテナに挿入します。



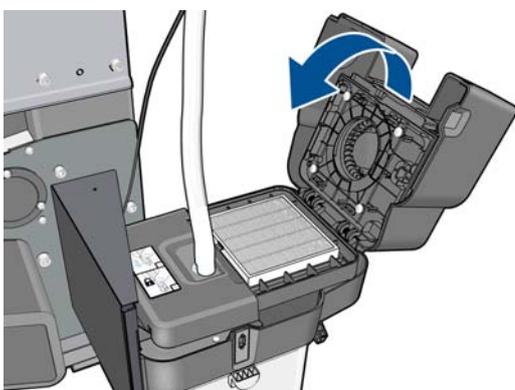
14. インク フィルタ カバーを開きます。



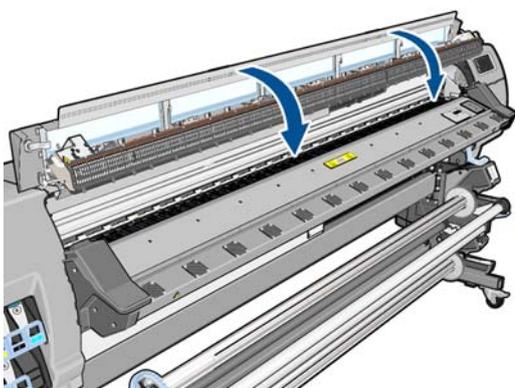
15. 古いインク フィルタを取り外して新しいフィルタを挿入します。



16. インク フィルタ カバーを閉じます。



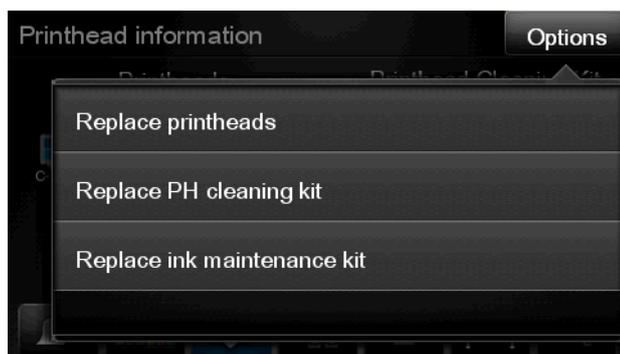
17. ウィンドウを閉じてロックします。



プリントヘッドを交換する

プリントヘッドを取り外す

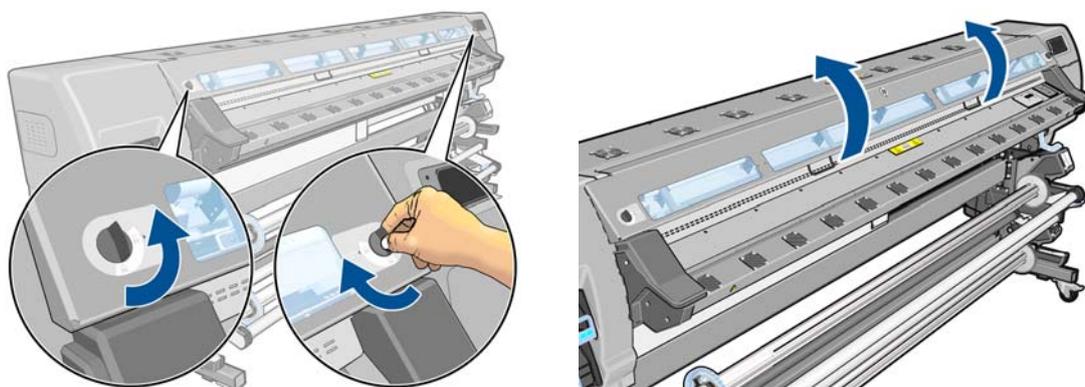
1. プリンタのフロントパネルで、 を押し、[オプション]-[プリントヘッドの交換] を押します。



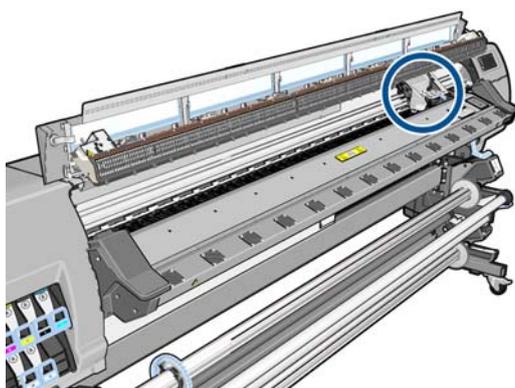
2. キャリッジは取り外し位置に移動します。

⚠ 注意： キャリッジは、取り外し位置に移動してから3分以上、プリントヘッドの取り付けや取り外しが行われずに放置されると、右端の通常の位置に戻ります。

3. キャリッジが停止したら、プリンタのウィンドウを開くようフロントパネルにメッセージが表示されます。ウィンドウのロックを解除して開きます。

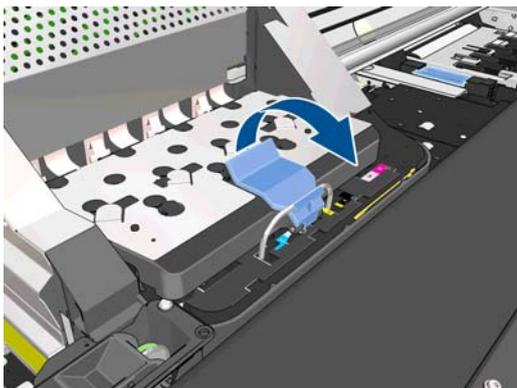


4. プリンタの右側にあるキャリッジを確認します。

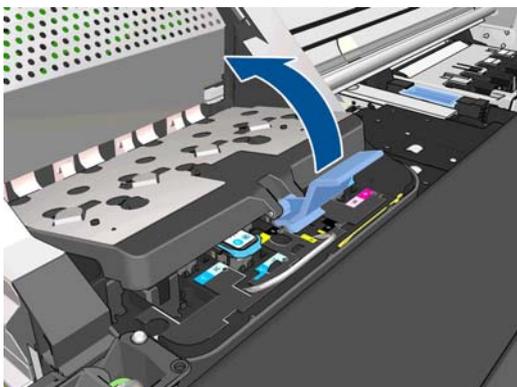


⚠ 注意： プリンタの乾燥管体は、高温になっている場合があるので触れないでください。

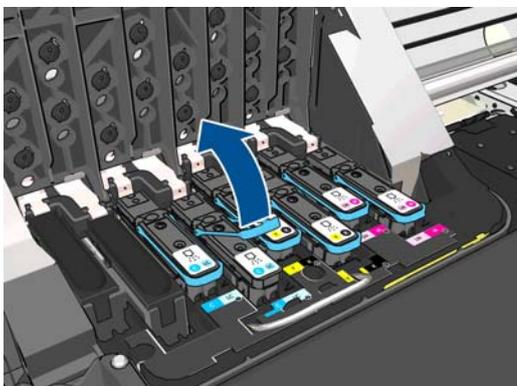
5. キャリッジ上部のラッチを引き上げて、ロックを解除します。



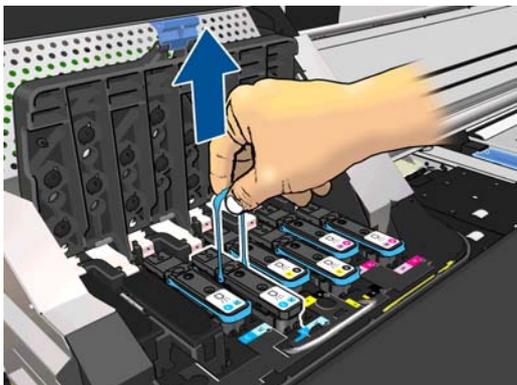
6. カバーを持ち上げます。これでプリントヘッドにアクセスできるようになります。



7. 取り外すプリントヘッドの青いハンドルを持ち上げます。

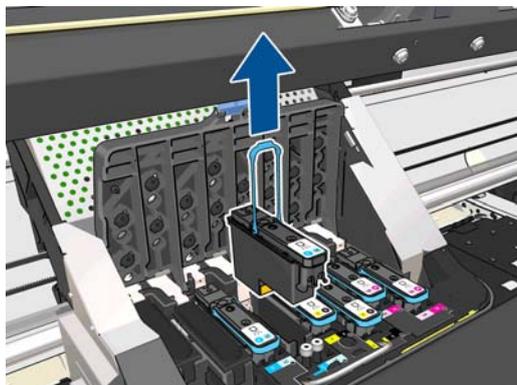


8. 持ち上げた青いハンドルを使用して、プリントヘッドを静かに取り外します。

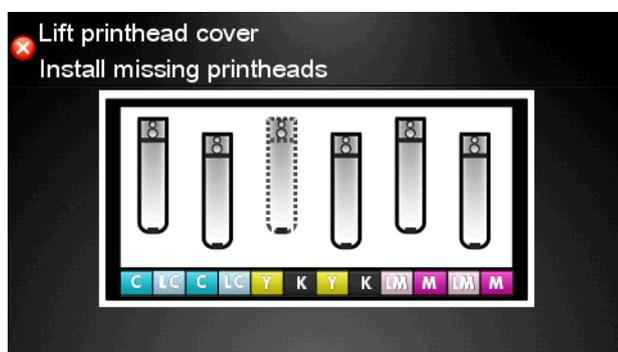


9. プリントヘッドがキャリッジから外れるまで、青いハンドルをゆっくりと引き上げます。

⚠注意： 急いで引き上げないでください。プリントヘッドに損傷を与える原因となります。



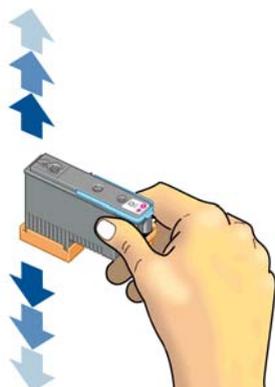
10. フロントパネルに、取り付けられていないプリントヘッドが表示されます。



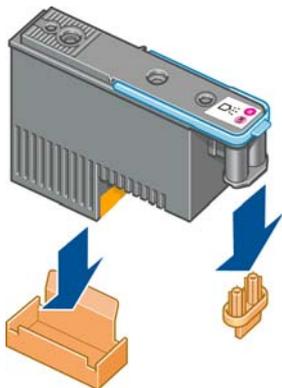
プリントヘッドを取り付ける

1. 新しいプリントヘッドの場合、保護キャップを取り外す前にプリントヘッドをよく振ります。プリントヘッドを上向きにしたまま(保護キャップが下向き)、スムーズな動作で上下に約15秒間よく振ります。

📖注記： 破損の原因となるため、プリントヘッドを振っている間は物にぶつけないようにしてください。

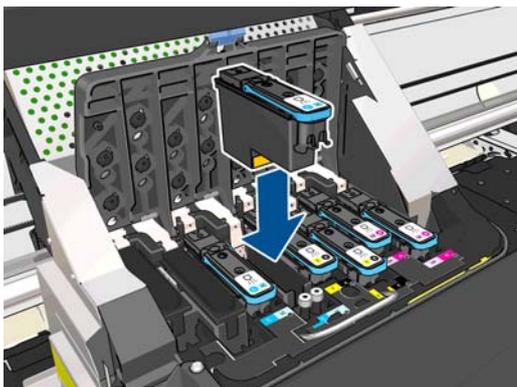


2. オレンジの保護キャップを引き下げて取り外します。

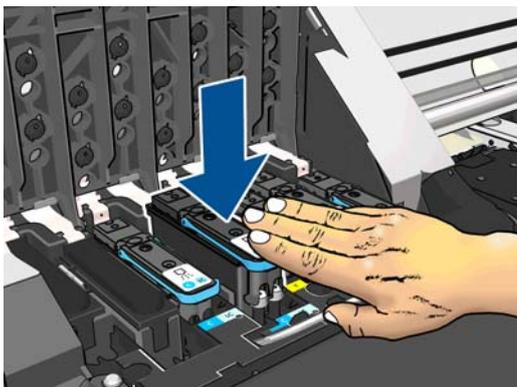


3. プリントヘッドは、間違ったスロットに取り付けられないよう設計されています。プリントヘッドのラベルの色と、プリントヘッドを取り付ける先のキャリッジスロットのラベルの色が合っていることを確認してください。
4. 新しいプリントヘッドを、キャリッジの該当するスロットに取り付けます。

⚠ 注意： プリントヘッドは、ゆっくりと垂直に下ろして取り付けてください。急に下ろしたり、斜めに取り付けたり、取り付ける際に回したりすると、破損することがあります。

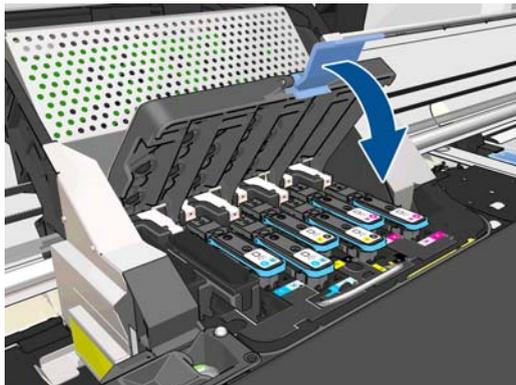


5. 矢印のとおり、プリントヘッドを下に押し込みます。

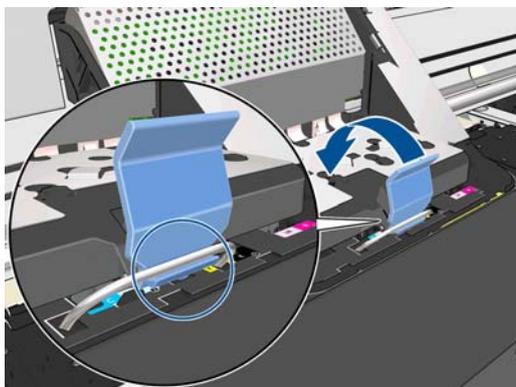


⚠ 注意： 新しいプリントヘッドを取り付ける場合は、しっかりと、またゆっくりと押し込んでください。ブザーが鳴り、フロントパネルにプリントヘッドが取り付けられたことを示す確認画面が表示されます。

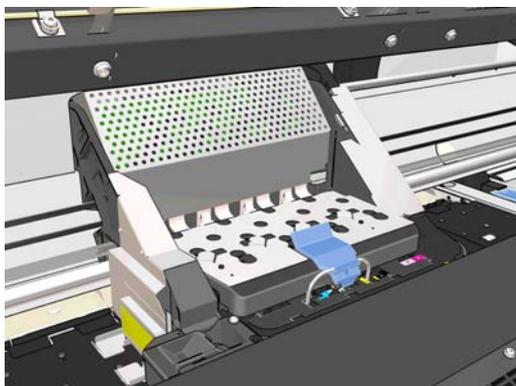
6. 必要なプリントヘッドをすべて取り付けたら、キャリッジカバーを閉じます。



7. ラッチの先端が、キャリッジの手前側のワイヤーループに掛かっていることを確認します。



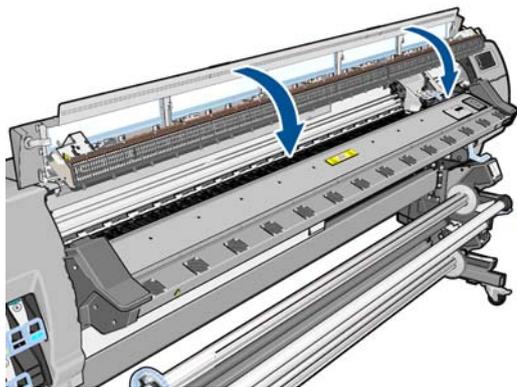
8. ラッチをキャリッジカバーの上まで押し下げます。



すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられ、プリンタがそれを認識すると、プリンタのブザーが鳴ります。

 **注記：** プリントヘッドを取り付けてもブザーが鳴らず、フロントパネルに「交換して下さい」というメッセージが表示された場合は、プリントヘッドを取り付け直してください。

9. プリンタ ウィンドウを閉じてロックします。



10. フロントパネルに、すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられたことが表示されます。プリントヘッドの確認と準備が開始されます。すべてのプリントヘッドを交換した場合、通常の処理はデフォルトで最大 18 分かかります。プリントヘッドの準備中に問題が発見された場合、処理にかかる時間が延び、最大で 30 分ほどかかることがあります。プリントヘッドを 1 つだけ交換した場合は、10~20 分ほどかかります。すべてのプリントヘッドの確認と準備が終了した後、素材が取り付けられている場合は、プリントヘッドの軸合わせが自動的に実行されます。

プリントヘッドクリーニングキットを交換する

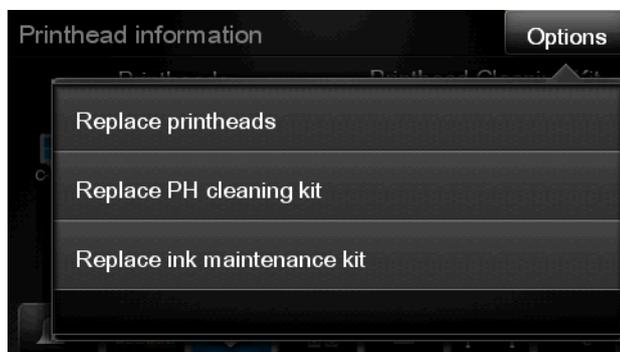
プリントヘッドクリーニングキットは、プリントヘッドクリーニングカートリッジ、インクファネル、およびインクフィルタを保管します。

フロントパネルでプリントヘッドクリーニングキットを交換するように要求されたら、最初にプリントヘッドクリーニングカートリッジ、次にインクファネル、最後にプリントヘッドクリーニングコンテナとインクフィルタを交換する必要があります。

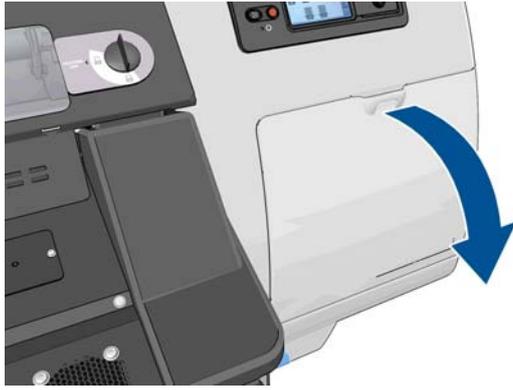
注記： プリントヘッドクリーニングコンテナは、キットには含まれていませんが、同時に交換する必要があります。したがって、新しいプリントヘッドクリーニングキットだけでなく、新しいプリントヘッドクリーニングコンテナも用意できていることを確認してください。

ヒント： どの時点でもプリントヘッドクリーニングカートリッジを取り外して検査する場合は、次の手順で開始することができます。古いプリントヘッドクリーニングカートリッジを検査した後にプリンタに戻す場合は、その時点で、この手順は終了となります。

1. プリンタのフロントパネルで、 を押し、[オプション]-[プリントヘッドクリーニングキット交換] を押します。



2. プリントヘッドクリーニングカートリッジは、プリンタ前面のフロントパネルの下に位置するスロットにあります。ドアを開きます。



プリントヘッドクリーニングカートリッジを取り外す際は、次の注意事項に従ってください。

- 手にインクが付かないように気を付けてください。取り外したプリントヘッドクリーニングカートリッジには、中にインクが残っていたり、外側にインクが付着していることがあります。
- 取り外したプリントヘッドクリーニングカートリッジを扱う際、また保管する際には、インクがこぼれないように、必ず上向きにするようにしてください。

⚠ 警告！ プリンタのキャスターがロックされ(ブレーキレバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

3. プrintヘッドクリーニングカートリッジの前面にハンドルがあります。カートリッジを取り外すには、矢印のように奥に押しながらか上向きに押し上げます。カートリッジが固定位置から外れます。

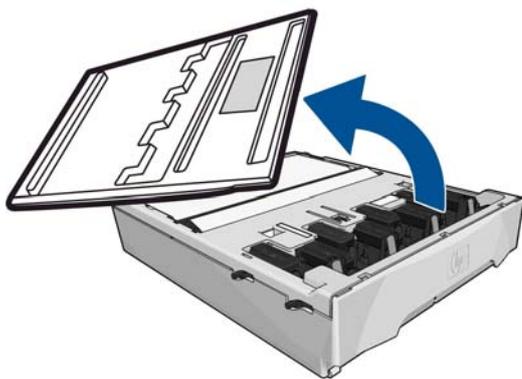


4. プrintヘッドクリーニングカートリッジを持ち上げてスロットから取り外し、水平に取り出します。



5. 新しいプロセスクリーニングカートリッジが入っていた袋は、古いプリントヘッドクリーニングカートリッジを捨てる際に使用できます。

6. プラスチック カバーを新しいプロセス クリーニング カートリッジから取り外します。



7. プリントヘッドクリーニングカートリッジを、該当するスロットに下の図の矢印の方向に挿入します。



8. プリントヘッドクリーニングカートリッジが奥まで入ったら、下の図の矢印のように、奥に押しながらカチッと音がするまで下方向に押し下げます。

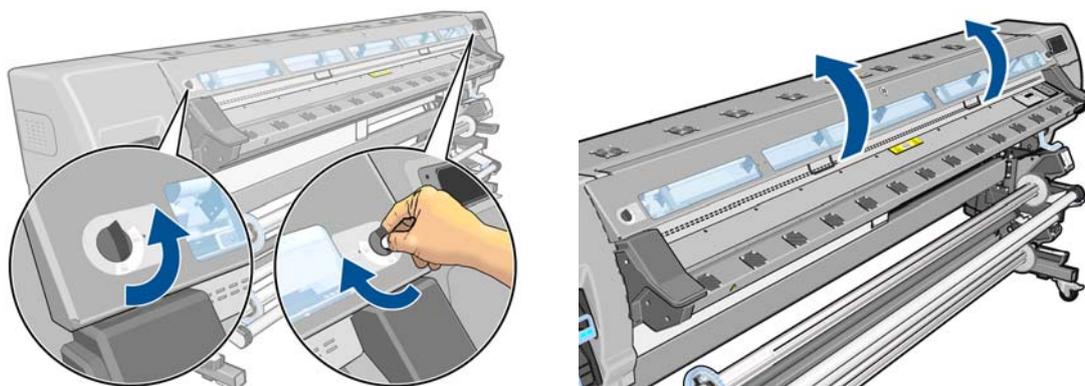


 **注記：** ドアを閉めるまで、フロントパネルに新しいプリントヘッドクリーニングカートリッジは表示されません。

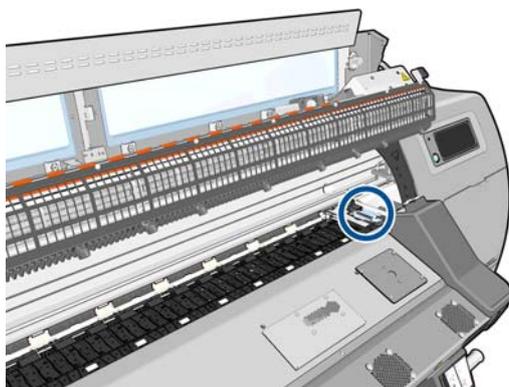
9. プリントヘッドクリーニングカートリッジをプリンタに取り付けたら、ドアを閉めます。



10. ウィンドウのロックを解除して開きます。

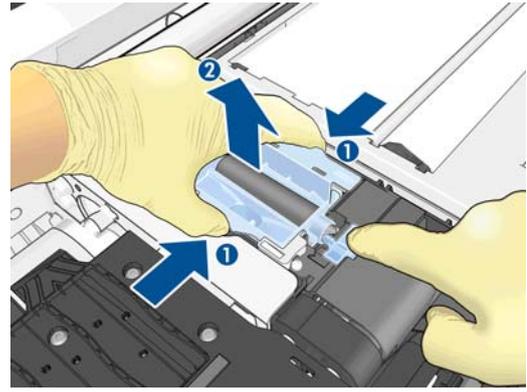
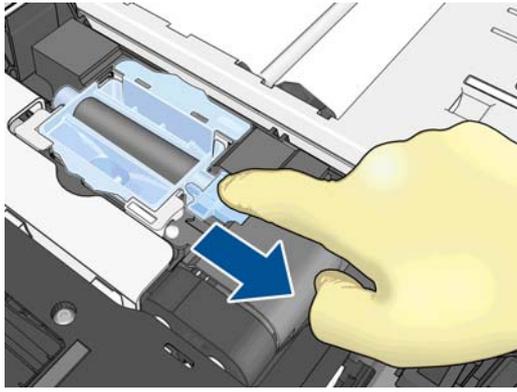


11. インクファネルの場所を確認します。

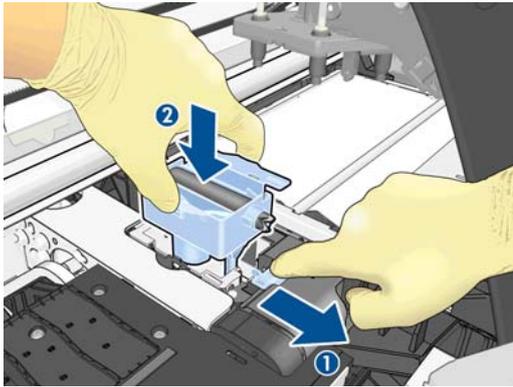


12. 片方の手でインクファネルを取り外しながら、別の指でスライダを引き出します。

 **注記：** 手袋をはめることをお勧めします。



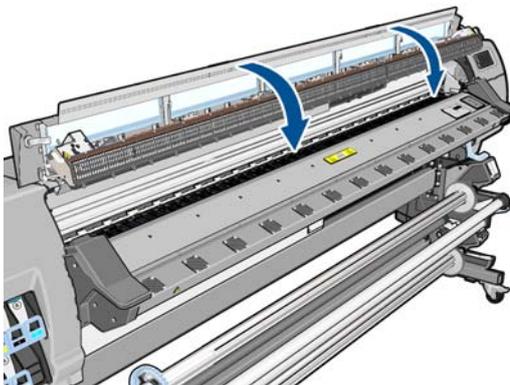
13. 片方の手で新しいインク ファネルを挿入しながら、別の指でスライダを引き出します。



14. インク ファネルを所定の位置に押し込みます。



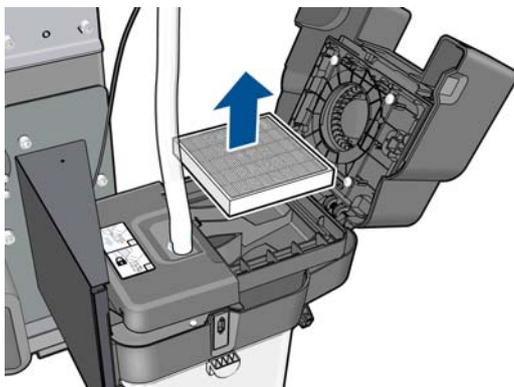
15. ウィンドウを閉じてロックします。



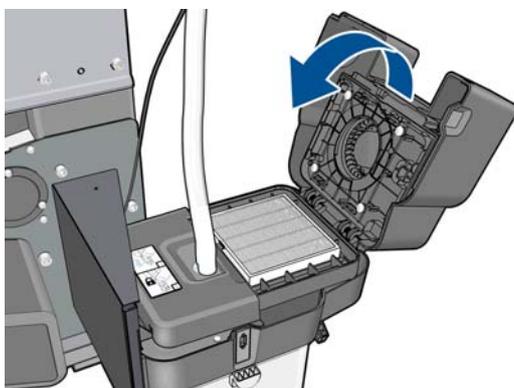
16. インク フィルタ カバーを開きます。



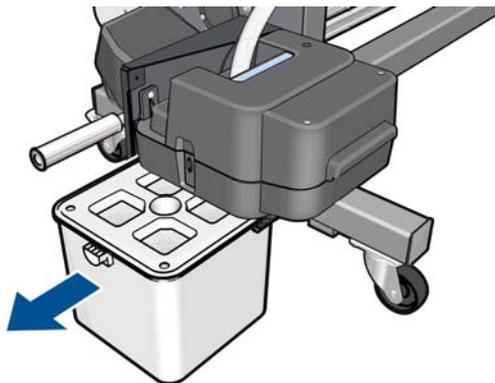
17. 古いインク フィルタを取り外して新しいフィルタを挿入します。



18. インク フィルタ カバーを閉じます。



19. プリントヘッドクリーニング コンテナを取り外します。



20. 新しいプリントヘッドクリーニング コンテナを挿入します。

 **注記:** 印刷を再開するには、インク カートリッジ、プリントヘッド、およびプリントヘッドクリーニング カートリッジがすべてプリンタに取り付けられており、プリンタのウィンドウおよびプリントヘッドクリーニング カートリッジのドアが閉じている必要があります。

サービス保守

プリンタを使用していると、常に使用されるコンポーネントは、消耗していきます。

コンポーネントの消耗によるプリンタの故障を防ぐために、プリンタは、プリンタ キャリッジがプリンタの軸を横切った回数と、使用したインクの合計量を記録しています。

プリンタはこの数値を使用して、サービス保守が必要なことを検出します。その際、フロントパネルに以下のメッセージが表示されます。

- サービス保守キット 1
- サービス保守キット 2
- サービス保守キット 3

これらのメッセージは、コンポーネントの寿命が近づいていることを示します。プリンタの使用状況によっては、長期にわたって印刷を続行することもできますが、サービス担当者に連絡して、訪問サービス保守を依頼することをお勧めします。サービスエンジニアは、消耗した部品をオンサイトで交換します。これにより、より長くプリンタをお使いいただくことができます。

フロントパネルにこれらのメッセージが表示されたときに、サービスエンジニアの派遣を手配すると、以下の 2 つの利点があります。

- プリンタ コンポーネントをお客様の都合に合わせて交換することができます。
- 訪問サービス保守のときに、サービス エンジニアが一度に複数の部品を交換するため、何度もお客様を訪問することはありません。

13 印刷品質に関するトラブルシューティング

印刷に関する一般的なヒント

印刷の品質に問題がある場合は、以下の項目を確認してください。

- フロントパネルと RIP ソフトウェアで選択されている素材の種類が、プリンタに取り付けられている素材の種類と同じであることを確認してください。使用する素材の種類に対応したキャリアプレーションが済んでいることを確認してください。
- ⚠ **注意：** 誤った素材の種類を選択すると、印刷品質の低下やカラーの問題が発生し、プリントヘッドが破損する可能性があります。
- 素材の正しいメディアプリセットを使用していること、または正しい手順に従って新しいメディアプリセットを生成したことを確認します ([57 ページの新しい素材を追加する](#)を参照)。
- RIP ソフトウェアで、適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。
- 素材と印刷品質設定に対して正しい ICC プロファイルを使用していることを確認します。
- 環境状況 (温度、湿度) が推奨する範囲内にあることを確認します。 [163 ページの動作環境の仕様](#)を参照してください。
- インクカートリッジが使用期限を超過していないことを確認します。 [105 ページのインクカートリッジを保守する](#)を参照してください。
- 印刷の実行中は、素材に触れないようにします。

プリントヘッドのステータスプロットを使用する

プリントヘッドのステータスプロットでは、印刷品質の問題を明確にするためのパターンが印刷されます。これにより、現在コンピュータに取り付けられているプリントヘッドのパフォーマンスをチェックし、目詰まりやその他の問題を起こしているプリントヘッドがないかどうかを判断できます。

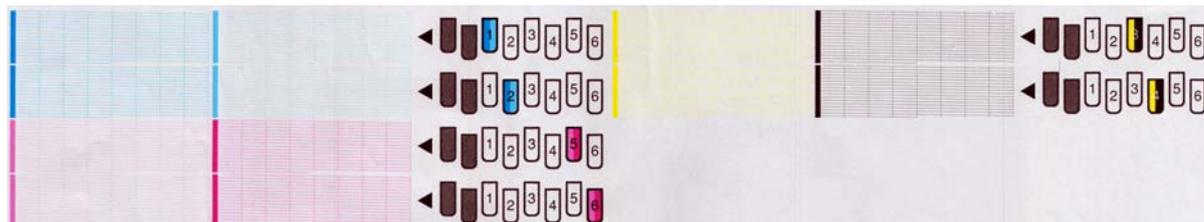
プリントヘッドのステータスプロットの印刷

プリントヘッドのステータスプロットを印刷するには、以下の手順を実行します。

1. 問題が検出された時と同じ素材の種類を使用します。
2. プリンタに取り付けられている素材の種類と同じ素材の種類が選択されていることを確認します。
3. プリンタのフロントパネルで、、の順に押し、[インク]-[イメージ品質の保守]-プリントヘッドのクリーニング-[テストプロットの印刷]を押します。

プリントヘッドのステータスプロットを解釈する

印刷結果は小さな破線から構成され、それぞれの破線は各プリントヘッドのノズルに対応しています。



各カラーのパターンに、破線の大部分が表示されているかどうかを確認します。

解決のための処置

1. 問題のあるプリントヘッドをクリーニングします。[148 ページのプリントヘッドのクリーニング](#)を参照してください。次に、プリントヘッドのステータスプロットを再印刷し、問題が解決したかどうかを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドをもう一度クリーニングしてからプリントヘッドのステータスプロットを再印刷し、問題が解決したかどうかを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、問題のあるプリントヘッドを交換します。[114 ページのプリントヘッドを交換する](#)を参照してください。

問題が解決しない場合の処置

この章のヒントを適用しても印刷品質の問題が解決しない場合は、さらに次のヒントも検討してください。

- パス数を増やすか、キャリッジ速度を下げることで、RIP ソフトウェアで高い印刷品質オプションを選択します。
- プリンタのファームウェアが最新版かどうかを確認します。[91 ページの「ファームウェアについて」](#)を参照してください。
- ソフトウェアプログラムが正しく設定されているかどうかを確認します。
- サービス担当者にお問い合わせください。[159 ページの「サポートが必要な場合」](#)を参照してください。

粒状感



この問題が発生する場合は、以下の手順を実行します。

- RIP およびフロントパネルで垂直方向の補正オプションが無効になっていることを確認します。フロントパネルで、、 の順に押し、**[インク]-[イメージ品質の保守]-[垂直補正]** (このオプションが使用可能な場合) を選択します。
- プリントヘッドの位置がずれる可能性があります。これは、プリントヘッドの軸合わせを長期間行っていない場合や、素材の詰まりがある場合に起きやすくなります。必要な場合は、プリントヘッドの軸合わせを行います ([93 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照)。プリントヘッドのステータスプロットを使用して、軸合わせが必要かどうかを確認できます ([127 ページのプリントヘッドのステータスプロットを使用する](#)を参照)。
- 素材送りセンサーが汚れている可能性があります。これは、後でプラテンをクリーニングせずに多孔性素材に印刷した場合によく起こります ([101 ページのプラテンのクリーニングを行う](#)を参照)。
- 8 つ以上のパスを印刷する場合、素材送りの調整が必要な可能性があります。 [130 ページの素材送りを調整する](#)を参照してください。
- パス数を増やします。パスを 10 以上にすると、多くの場合粒状感が減少します。
- 暗い色や飽和色、または印刷の左端または右端で粒状感が目立つ場合、インク コアレスセンスの問題がある可能性があります。インク量を減らすか、パス間の乾燥時間を変更してみてください (RIP またはフロントパネルで)、連続するパスでよく乾燥されるようにしてください。

問題が解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。 [159 ページの「サポートが必要な場合」](#)を参照してください。

横方向のバンディング

以下のように、印刷イメージに横線が現れる場合 (色は異なる場合があります) は、下の手順に従います。



- バンディングの影響が主に暗い色や飽和色に及んでいる場合や、素材の端近くの領域だけが塗り潰される場合は、インクの乾燥が不十分なこと、またはカラープロファイルが不正確なことが原因の可能性があります。以下の推奨方法を実行します。
 - インクの品質を下げます。
 - パス間の乾燥時間を変更して (RIP またはフロントパネルで)、連続するパスでよく乾燥されるようにしてください。

- パス数を増やします。
- [70 ページのカラー再現技法](#)で推奨されるようにメディアプリセットを変更します。
- バンディングの影響が、印刷イメージの幅全体のすべての色に及んでいる場合は、おそらく素材送りの問題が原因です。フロントパネルを使用して、印刷しながら素材送りを調整します ([131 ページの印刷中に素材送りを調整する](#)を参照)。バンディングが暗い場合は、素材送りを大きくします。バンディングが明るい場合は、素材送りを小さくします。適切な調整値がわかったら、今後同じ素材に印刷するときのために、値を **RIP** に保存します。

別の原因として考えられるのは、プリントヘッドのいずれかに付いた繊維です。プリンタの電源をオフにして、プリントヘッドの温度を下げます。次に、プリントヘッドを1つずつ取り外し、付着した繊維を取り除きます。

- バンディングの影響が一部のカラーにのみ及んでいる場合、原因はプリントヘッドの不具合の可能性がります。
 - プリントヘッドのステータスプロットを印刷します ([127 ページのプリントヘッドのステータスプロットを使用する](#)を参照)。必要な場合は、プリントヘッドをクリーニングします ([103 ページのプリントヘッドをクリーニング\(修復\)する](#)を参照)。
 - プリントヘッドをもう一度クリーニングします。
 - プリントヘッドの軸合わせを行います ([93 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照)。必要な場合は、手動で軸合わせを行います。
 - プリントヘッドのステータスプロットをもう一度印刷します。ノズルの詰まりが最も多いプリントヘッドを特定して交換します。
 - バンディングが断続的に現れたり消えたりする場合は、フロントパネルで 、 の順に押し、**[インク]-[イメージ品質の保守]-[PH 追加クリーニング]-[オン]** を押します。このオプションは、必要なくなった場合には必ず無効にしてください。そうしなければ、プリントヘッドクリーニングキットの寿命が短くなります。
- バンディングの影響がほとんどのカラーに及んでいる場合、プリントヘッドの位置がずれている可能性があります。これは、プリントヘッドの軸合わせを長期間行っていない場合や、素材の詰まりがある場合に起きやすくなります。必要な場合は、プリントヘッドの軸合わせを行います ([93 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照)。プリントヘッドのステータスプロットを使用して、軸合わせが必要かどうかを確認できます ([127 ページのプリントヘッドのステータスプロットを使用する](#)を参照)。
- バンディングが主に黒色の領域で起きている場合、純粋な黒を使用し、他のカラーを混ぜないで新しいカラープロファイルを作成します。**RIP** のマニュアルを参照してください。

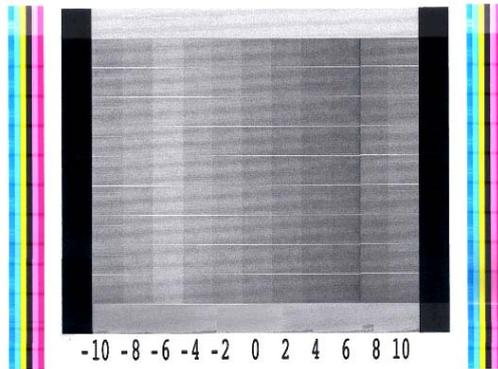
問題がまだ解決しない場合は、サービス担当者に連絡します ([160 ページの HP カスタマー・ケアセンター](#)を参照)。

素材送りを調整する

素材送りセンサーは、素材送りを測定し、プリントヘッドのパスごとに不規則さを補正します。ただし、印刷の品質を微調整する場合、用紙を送る間隔をキャリブレーションする必要があります。素材送りにより、素材のドット配置が決定されます。素材が正確に送られないと、明るいバンディングまたは暗いバンディングが印刷イメージに現われ、印刷結果の粒状感が増える場合があります。

素材送りは、**RIP** の素材プリセットの素材送りパラメータを使用して変更できます。

1. フロントパネルで、、 の順に押し、**[インク]-[イメージ品質の保守]-[素材送りのキャリブレーション]-[調整プロットの印刷]** を押します。プリンタにより、素材送りの調整イメージが印刷されます。



2. キャリブレーションイメージは複数の列で構成されており、各列の一番下に数値が付いています。一番明るい列を特定し、RIPの現在の素材プリセットの素材送りパラメータにその数値を入力します。この例では、「?6」を選択します。

印刷中に素材送りを調整する

パス数が6つ以下の場合、印刷中に素材送りを微調整できます。を押して、**[調整] - [素材送りの調整]**を押します。変更値を?10mm/mから+10mm/mの間で選択します。明るいバンディングを修正する場合は、値を小さくします。暗いバンディングを修正する場合は、値を大きくします。

パス数が8つ以上の場合、素材送りの調整を間違ってもバンディングは生じませんが、視覚による評価が難しい粒状感が生じます。そのため、このような場合は調整プロットのみ使用することをお勧めします。

値を選択して**OK**を押すと、ジョブの残りがその値で印刷されますが、ジョブが終わるとゼロにリセットされます。今後のすべてのジョブを新しい設定で印刷するには、見つかった値をRIPプリセットの素材送り値に追加します。

縦方向のバンディング

さまざまな種類の縦方向のバンディングが表示される可能性があります。

- 暗さまたは粒状感によって生じる幅の広い縦方向のバンディング (通常は、グレー、バイオレット、緑などで塗り潰された中濃度の領域内のビニール素材やバナー素材に表示される)
 - プリントヘッドの軸合わせを行います。[93 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。
 - RIPによって設定された縦方向のバンディングの自動補正を試みます。ファームウェアバージョンによっては、このオプションは、フロントパネルにも用意されている場合があります。、の順に押し、**[インク] - [イメージ品質の保守] - [垂直補正]** (このオプションが使用可能な場合) を選択します。

 **注記：** 縦方向のバンディング補正は、必要なくなった場合には必ず無効にしてください。そうしなければ、粒状感が増える可能性があります。

- 乾燥基本温度を5°Cずつ下げます。この結果、低濃度から中濃度のぬりつぶし領域では縦方向のバンディングが減ることが予想されますが、高濃度のぬりつぶし領域では減りません。

 **注記：** さまざまなインク濃度で印刷しようとしている場合は、印刷中いつでも乾燥温度を変更できます。

 **注記：** 端に差分バンディングがわずかに現れたり、印刷の一番端に色の違いが表れることがあります。この場合、パス間の乾燥時間を長くして (RIP またはフロントパネルで) 連続するパスでよく乾燥されるようにするか、可能な場合は印刷の左右マージンを変更します。

- ロールバックテンションを **5 N/m** ずつ上げます。
- 非常に低濃度のぬりつぶし領域を印刷する場合は、最小乾燥電源を **0.2 kW** ずつ下げます。
- ビニールに印刷する場合は、真空レベルを **5 mmH₂O** ずつ下げます。つぶれや汚れを避けるため、下限の **10 mmH₂O** を超えないようにしてください。
- プリンタが素材をよく制御できるように、巻き取りリールの使用を検討してください。
- プリンタが高温度で安定していると(連続する印刷が **30 分以上続いた後**)、この種のバンディングは見えにくくなります。弱い印刷や重要な印刷が後で印刷されるように印刷キューを変更すると、バンディングが見えにくくすることができます。または、プリンタを事前に温めます ([16 ページのウォームアップ期間の変更](#)を参照)。
- 暗さによって生じる薄い縦方向のバンディング (通常は、塗り潰された高濃度の領域内またはバックリットアプリケーション内の光沢ビニール素材や光沢バナー素材の最初の **150~200 mm** に表示される)
 - できればインク量を減らします。
 - パス間の乾燥時間を変更して (**RIP** またはフロントパネルで)、連続するパスでよく乾燥されるようにしてください。
 - カッターを無効にします。
 - パス数を増やします。
 - 該当する場合は、**RIP** でジョブをグループ化して、ジョブ間のプリンタの温度が安定した状態になるようにします。
 - [70 ページのカラー再現技法](#)で推奨されるようにメディアプリセットを変更します。
- 不規則な状態または分離された状態の縦方向のバンディング
 - 真空レベルを **10 mmH₂O** ずつ高くします。各制限 (バナーの場合は **20 mmH₂O**、ビニールの場合は **35 mmH₂O**、およびその他の素材ファミリの場合は **50 mmH₂O**) を超えないでください。
 - バックリットアプリケーションで、パス数を **20** 以上に増やし、乾燥温度を **5°C** ずつ上下に変化させます。
 - 印刷の始めにのみバンディングが現れる場合は、カッターを無効にして、最初の印刷の前に素材を手動で **100~150 mm** 送ります。

印刷が湾曲した状態になる

これは、素材が湾曲した結果として生じる場合があります。[144 ページの素材が湾曲している](#)を参照してください。

色がずれる



カラーの位置がいずれかの方向にずれる場合は、プリントヘッドの位置がずれている可能性があります。これは、プリントヘッドの軸合わせを長期間行っていない場合や、素材の詰まりがある場合に起きやすくなります。必要な場合は、プリントヘッドの軸合わせを行います ([93 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照)。プリントヘッドのステータスプロットを使用して、軸合わせが必要かどうかを確認できます ([127 ページのプリントヘッドのステータスプロットを使用する](#)を参照)。

色の濃さが変化する

一部のプリントヘッドノズルが使用中で、同じプリントヘッドの他のノズルが使用されていない場合は、未使用のノズルのインクから水分が徐々に蒸発し、色が濃くなります。そのような場合、イメージの色が一様でなければならない領域でカラーの濃さの違いに気付くことがあります。



そうした問題に気付いた場合は、さまざまな解決策が考えられます。

- フロントパネルで、、 の順に押し、[インク]-[イメージ品質の保守]-[カラーバリエーション補正]-[オン]を押します。この補正は、無効にするまで有効な状態が続きます。
- 印刷結果の片側付近の濃さの変化に気付いた場合は、印刷する前にイメージを **180 度**回転してみてください。場合によっては、これで、パス間でノズルがサービスステーションに入るたびにすべてのノズルが更新されるので、問題が解決する可能性があります。

- RIP を使用して、プロットの横 (インク カートリッジに近い方) にカラー バーを追加してください。このカラーバーは、すべてのプリントヘッド ノズルを動作させて、問題の発生を防止するように設計されています。

 **注記：** すべての RIP にこのオプションが用意されているわけではありません。



- 印刷する前に、イメージの横にカラーバーを手動で追加してください。この場合には、標準色を使用するか、問題に気付いた特定の色を含めるようにすることができます。各カラーバーの幅は、**3 mm** にすることをお勧めします。

鮮明さの不足

テキスト、線、または塗り潰し領域が段上になっているか鮮明ではない場合、プリントヘッドの位置がずれている可能性があります。これは、プリントヘッドの軸合わせを長期間行っていない場合や、素材の詰まりがある場合に起きやすくなります。必要な場合は、プリントヘッドの軸合わせを行います ([93 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照)。プリントヘッドのステータスプロットを使用し、軸合わせが必要かどうかを確認できます ([127 ページのプリントヘッドのステータスプロットを使用する](#)を参照)。

黒色の領域がかすむ

黒色の領域がかすんだり、十分に黒くない場合、以下の推奨方法を実行します。

- パス数を増やします。
- 印刷物をラミネート加工します。
- [70 ページのカラー再現技法](#)を参照してください。

インクの汚れ

インクの汚れは、以下の理由で印刷結果に現れる場合があります。

- 素材にスキューが生じている場合。著しくスキューが生じている場合は、取り付けプロセスで表示される警告メッセージを無視しないでください。
- 素材の印刷領域が平らではありません。以下の考えられる解決策を試してください。
 - 真空レベルを **10 mmH₂O** ずつ高くします。
 - 硬化温度を下げます。おそらく、十分に硬化させるためにパスの数を増やす必要があります。
 - プリントヘッドに繊維が付着しているかどうかを確認します。

端が平らでないか、素材の端が上に丸まっているため、印刷の端でのみ問題が生じる場合、エッジホルダの使用を検討してください ([46 ページのエッジホルダ](#)を参照)。

印刷の始めでのみ問題が生じる場合、以下の推奨方法を実行します。

- 自動カッターを無効します。
- フロントパネルで 、 の順に選択し、[素材] - [素材取り扱いオプション] - [特大下部マージン] を選択します。マージンを 100mm に設定します。足りない場合は、もっと大きい値にしてください。この余分のマージンは、プリンタがアイドル状態のときとカッターが無効のときに印刷を開始するジョブにのみ適用されます。
- 真空レベルを 10 mmH₂O ずつ高くします。各制限 (バナーの場合は 20 mmH₂O、ビニールの場合は 35 mmH₂O、およびその他の素材ファミリの場合は 50 mmH₂O) を超えないでください。
- 乾燥準備温度を 5°C ずつ下げます。
- 硬化準備温度を 5°C ずつ上げます。
- パス数を増やします。
- プリンタが配置されている部屋に素材が保管されていることを確認します。

微かな汚れやむらのある外観

印刷後に一部分を覆って保管した場合、素材によっては微かなカラーの違いが現れる可能性があります。そのような素材は、印刷後すぐに全体を覆うか、まったく覆わずに保管してください。2 つの印刷面を長期間接触させないことをお勧めします。この問題は、しばらくの間素材の覆いを外すと、多くの場合なくなります。

または、いくつかの素材ロールのコーティングに不具合が存在する可能性があります。この場合の解決策は、別のロールを使用することです。

接触したときにインクがにじむ、または油でよごれて見える

以下のさまざまな状況で、こうした症状が見られます。

- 素材の全長または全幅にわたって明るい色から暗い色への大きなグラデーションが存在する場合

最小乾燥電源を大きくします。

 **注記：** この解決策は、この問題に特有であり、さらに問題が生じるおそれがある場合は、他のケースに流用しないでください。

- プリンタがしばらくの間アイドル状態だった後に、初回の印刷開始時 (特に大量のインクを使用する印刷の開始時) にのみ症状が見られる場合

乾燥準備温度オフセットと硬化準備温度オフセットを大きくします。必要に応じて、安定した乾燥温度と硬化温度を上げるか、インク量をわずかに減らします。

- 印刷の左側または右側にのみ症状が見られる場合

乾燥温度と硬化温度を上げる、全体的なインク量を減らす、パス数を増やす、またはパス間の乾燥時間を変更する (RIP またはフロントパネルで) ことで、連続するパスでよく乾燥されるようにします。

- 大量のインクを使用する印刷の特定の部分にのみ症状が見られる場合

乾燥温度と硬化温度を上げる、全体的なインク量を減らす、パス数を増やす、またはパス間の乾燥時間を変更する (RIP またはフロントパネルで) ことで、連続するパスでよく乾燥されるようにします。

- 印刷の中央にのみ症状が見られる場合
すべてのファンが正しく動作していることを確認します。
- パス数を減らした後
乾燥温度と硬化温度を上げるか、全体的なインク量を減らす、あるいはその両方を行います。
- 印刷後数分または数時間、油でよごれているように見える場合
印刷結果を上に向けて覆わない状態で保存すると、しばらくしてよごれは消えます。

 **注記：** 全体的なインク量を減らすと、彩度が低くなることがあります。

印刷寸法が間違っている

乾燥プロセスと硬化プロセスでは素材が加熱されるため、素材によってはイメージを印刷した後に縮みます (また伸びるものもあります)。これは、印刷物にフレームを付けたり、分割印刷を行って印刷物を並べる場合に不都合なことがあります。

[143 ページの素材が縮んでいるか、伸びている](#)を参照してください。

分割印刷の問題

分割印刷時の最も一般的な問題は、以下のとおりです。

- 個々のタイル (分割印刷領域) における色の劣化
多くの場合、個々のタイルは長く、非常に大きなソリッドカラー領域が含まれています。この組み合わせ (飽和ソリッドカラーの長い領域) により、プリントヘッドパフォーマンスが低下し、その結果、タイル内の色が劣化するおそれがあります。この問題を解決するには、フロントパネルで 、 の順に押し、**[インク]-[イメージ品質の保守]-[PH 追加クリーニング]-[オン]** を押します。このオプションは、必要なくなった場合には必ず無効にしてください。そうしなければ、プリントヘッドクリーニングキットの寿命が短くなります。

- タイルからタイルまでの色のバリエーション

場合によっては、同じソリッドカラーの背景を持つ連続するタイルで、最初のタイルの右側と 2 番目のタイルの左側の色が異なって表示されることがあります。これは、インクジェット式プリンタ (サーマルインクジェットおよびピエゾインクジェットの両方) の一般的な問題であり、スワースを送るときにわずかに色の変化が生じます。

端から端およびタイルからタイルの色の一貫性を上げるための推奨事項がいくつかあります。

- スピンドルの右端のストップを、幅 **2.54m** 未満の存在の内側の位置に移動します。
- **RIP** を使用して短いパス間の遅延 (**0.5~1 秒**) を追加し、端と印刷の中央の間での乾燥時間の差を減らします。
- 速いキャリッジ速度 (**1.5 m/s**) を使用し、パス間の遅延の影響を補完しながら、遅延によるスループットの低下も補正します。
- 印刷の端におけるカラーバーにより、端から端の色の正確さを上げます。これらは、**RIP** から設定できます。
- 一方向印刷モードを使用している場合、双方向印刷モードで印刷してみてください。

左端と右端の間の色が最も大きく異なるので、**2**つのタイルをくっつけたときに、このような結果になる可能性があります。この問題は、タイルを交互に逆にすることで簡単に解決できます。つまり、**2**番目のタイルの右隣に最初のタイルの右側がくるように配置し、**3**番目のタイルの左隣に**2**番目のタイルの左側がくるように配置します。そうすると、連続するすべての領域は、スワースの同じ点で印刷されるので、同じ色になります。この機能は、すべての**RIP**で利用できません。

- タイルからタイルまでの寸法のバリエーション

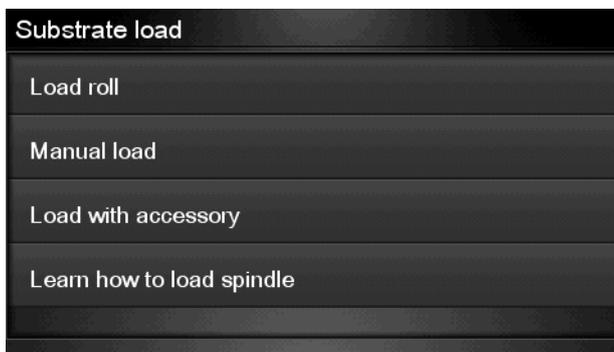
特定のバナー素材の中には、非常に長いタイルを印刷するときに一様な寸法安定性が保証されないものもあります。その結果、タイルの長さが左側と右側で異なる場合があります(たとえば、長さが**9**メートルのタイルの右側が左側に比べて**1cm**長い場合があります)。この問題は、個々のプロットではそれほど現れませんが、タイリングアプリケーションでのパネル同士の配置に影響します。このような問題を示す素材の種類では、ロールに沿って絶えずその問題が生じる傾向があります。このため、この問題が生じる場合、上で説明したようにタイルを交互に逆にすることで簡単に解決できます。

14 素材に関するトラブルシューティング

素材が正しく取り付けられない

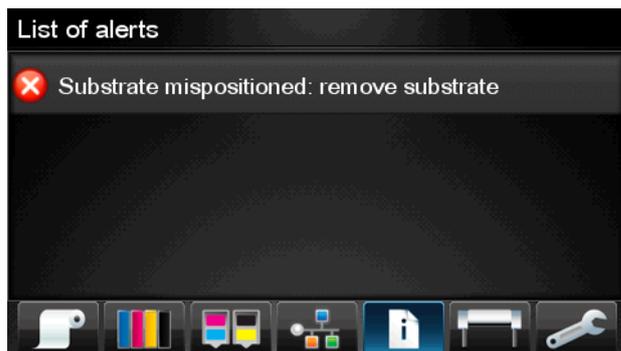
以下に、素材を正しく取り付けられない場合の推奨方法をいくつか示します。

- 取り付け方法を確認し、必ずその指示に従ってください。21 ページの「[素材の取り扱い](#)」を参照してください。
- テクスタイル素材を取り付ける場合は、必ず取り付けアクセサリを使用して、フロントパネルで [アクセサリで取り付け] を選択してください。



- 自動取り付けが失敗する場合は、代わりに手動取り付けを試してください。
- 素材が、斜めまたは間違った位置に取り付けられている可能性があります。素材の右側の端が、インプットスピンドルのロールに合っていることを確認します。
- 素材がしわになっている、歪んでいる、または曲がっている可能性があります。
- プラテンへの素材経路の素材詰まりは、素材の先端が曲がっているかまたは汚れていることが原因の場合があります。素材の先端の **2cm (1 インチ)** を切り取ってもう一度試してください。新しいロールの場合でもこの処理が必要な場合があります。
- スピンドルが正しく挿入されているかどうかを確認します。
- 素材がスピンドルに正しく取り付けられていて、ロールの向きが正しいことを確認します。
- 素材がしっかりと巻き取られていることを確認します。
- 素材が丸まっていて、**OMAS をクリーニングするか、RIP で無効にしてください** という警告が表示された場合、印刷ゾーン全体が覆われるまで素材を送り、フロントパネルで 、 の順に押して、[インク]-[イメージ品質の保守]-[OMAS キャリブレーション] を押します。

素材の取り付け位置がずれている



フロントパネルで上図のように表示される場合は、次のように進めます。

1. 素材レバーを持ち上げます。
2. 素材を手動でプラテンに取り付け直します。
3. 素材レバーを下げます。
4. フロントパネルに「印刷可能です」メッセージが表示されるまで、上記の手順を繰り返します。

素材が詰まっている

素材が詰まった場合、通常は「[素材の詰まりの可能性が](#)あります」というメッセージがフロントパネルに表示されます。このメッセージには、各種エラーコードのいずれかが表示されます ([155 ページの「フロントパネルエラーメッセージ」](#)を参照)。



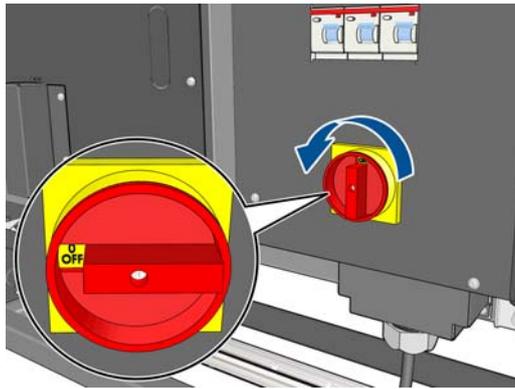
非常に薄い素材や非常に厚い素材、またはテクスタイルを取り付ける場合は、必ずそのような素材を取り付ける特別な手順に従ってください。 [47 ページの取り付けアクセサリ](#)を参照してください。

素材の経路を確認する

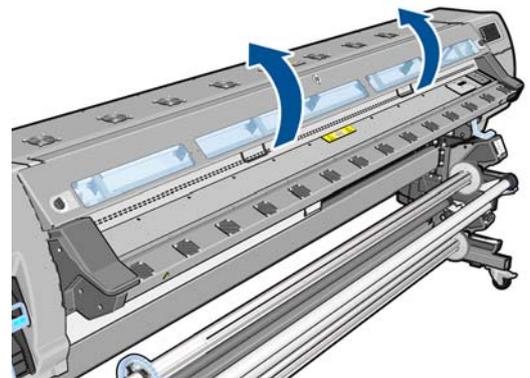
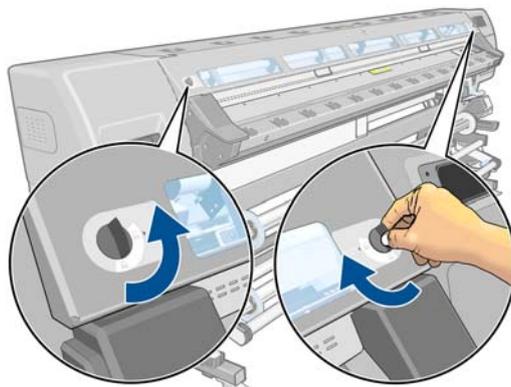
- この問題は、ロール紙が終了したときに、ロール紙の端が厚紙の芯に張り付いている場合に発生します。この場合は、ロール紙の端を芯から切り取ってください。次に、プリンタに素材を給紙できるようにしてから、新しいロールを取り付けます。
- それ以外の場合は、 [140 ページのプリントヘッドの給紙経路を確認する](#)の手順に従います。

プリントヘッドの給紙経路を確認する

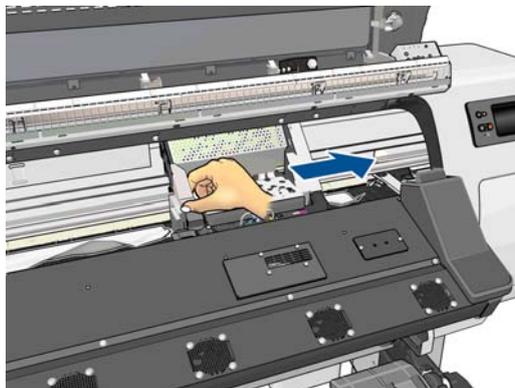
1. フロントパネルでプリンタの電源を切り、背面にある電源スイッチもオフにします。



2. ウィンドウのロックを解除して開きます。



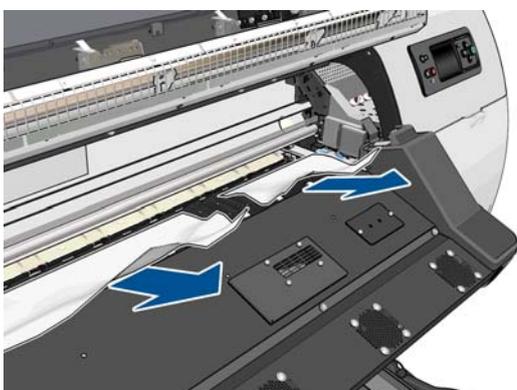
3. プリンタに入れる素材をカットして、入力ロールを巻き戻します。
4. プリンタが室温に下がるまで待ちます。
5. プリントヘッドキャリッジを邪魔にならない場所に移動します。



6. 素材調整レバーを上がるまで持ち上げます。



7. 詰まった素材をプリンタの上面からできるだけ慎重に取り除きます。必要な場合は素材をカットします。



⚠ 注意： 素材を入力パスから引き出さないようにしてください。そうしないと、正常な方向とは逆の動作となり、プリンタ部品に損傷を与えるおそれがあります。

8. 素材調整レバーを下げてください。
9. 素材の断片がプリンタに残っていないことを確認します。特に、硬化モジュールの中と下、および素材パスの中を確認してください。
10. ウィンドウを閉じてロックします。
11. プリンタの電源を入れます。
12. ロール紙を取り付け直します。
13. さらにプリンタ内に障害の原因となる素材が残っている場合は、堅い素材をプリンタに取り付けることで、取り除くことができます。
14. 紙詰まりが発生した後で印刷品質に問題がある場合は、プリントヘッドの軸合わせを再度行ってください。[93 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。

素材の詰まりを避ける

素材の詰まりは、素材を取り付けるときのスキューが大きすぎるのが原因の場合があります。この場合、取り付けプロセスで表示される警告メッセージを無視しないでください。

さらに、印刷領域でのバキューム吸引が十分でないことにより発生することもあります。吸引を高める場合は、各制限 (バナーの場合は $20 \text{ mmH}_2\text{O}$ 、ビニールの場合は $35 \text{ mmH}_2\text{O}$ 、およびその他の素材ファミリの場合は $50 \text{ mmH}_2\text{O}$) を超えないでください。

印刷の始めにのみ素材が詰まる場合は、以下の推奨方法を試してください。

- 自動カッターを無効します。
- フロントパネルで 、 の順に選択し、[素材] - [素材取り扱いオプション] - [特大下部マージン] を選択します。マージンを **100mm** に設定します。足りない場合は、もっと大きい値にしてください。この余分のマージンは、プリンタがアイドル状態のときとカッターが無効のときに印刷を開始するジョブにのみ適用されます。
- 真空レベルを **10 mmH₂O** ずつ高くします。各制限 (バナーの場合は **20 mmH₂O**、ビニールの場合は **35 mmH₂O**、およびその他の素材ファミリの場合は **50 mmH₂O**) を超えないでください。
- 乾燥準備温度を **5°C** ずつ下げます。
- 硬化準備温度を **5°C** ずつ上げます。
- パス数を増やします。
- プリンタが配置されている部屋に素材が保管されていることを確認します。

素材が変形するか、しわが寄る

乾燥プロセスと硬化プロセスで素材が変形するか、しわが寄る場合は、フロントパネルの **[素材を移動]** キーを使用して、次のジョブを印刷する前に温度設定を変更して素材を送り、損傷していない素材に次のジョブが印刷されるようにしてください。

印刷の始めでのみ問題が生じる場合、以下の推奨方法を実行します。

- 自動カッターを無効します。
- フロントパネルで 、 の順に選択し、[素材] - [素材取り扱いオプション] - [特大下部マージン] を選択します。マージンを **100mm** に設定します。足りない場合は、もっと大きい値にしてください。この余分のマージンは、プリンタがアイドル状態のときとカッターが無効のときに印刷を開始するジョブにのみ適用されます。
- 真空レベルを **10 mmH₂O** ずつ高くします。各制限 (バナーの場合は **20 mmH₂O**、ビニールの場合は **35 mmH₂O**、およびその他の素材ファミリの場合は **50 mmH₂O**) を超えないでください。
- 乾燥準備温度を **5°C** ずつ下げます。
- 硬化準備温度を **5°C** ずつ上げます。
- パス数を増やします。
- プリンタが配置されている部屋に素材が保管されていることを確認します。

素材が縮んでいるか、延びている

印刷処理中に、一部の素材が縮んだり、また別の素材が延びたりする可能性があります。このような場合、印刷の寸法は正しくありません。

一般的な法則としては、次の比率で縮むことが予想されます。

- フォト調：**0.4%**未満
- 溶剤用ペーパー、水彩用ペーパー：**0.5%**未満
- 粘着紙：**1.2%**未満
- バナー：**3%**未満の収縮 (素材送りセンサーを無効にした場合は **7%**未満)

フレーム付けの問題は、サンプルを印刷し、RIP でイメージのサイズを調整することで解決することがあります。この値は、同じ素材を使った今後のすべての印刷物に再使用できますが、バナーを使用するときは、印刷に使用されるインクの量に応じて収縮が最大 1% 変化するため、特別な注意を払う必要があります。

印刷物によって、次のばらつきが予想されます。

- フォト調、溶剤用ペーパー、水彩用ペーパー：0.4%未満
- 粘着紙：0.7%未満
- バナー：1%未満

分割印刷の問題を解決し、印刷サイズの同一性を上げるには、RIP の素材プリセットで素材送りセンサーを有効にすることをお勧めします。これにより、時間が経過すると印刷の安定性が向上するためです。インクの量が近い領域を互いに並べるともお勧めします。これができない場合は、インクの量が異なる領域を別のジョブとして印刷し、RIP でインクの少ないジョブの長さを変更して、インクの多い内容のジョブのサイズと合わせてください。

RIP の中には、素材の縮みや伸びを容易に補正できるスケール オプションが用意されているものもあります。RIP のマニュアルを参照してください。

素材が湾曲している

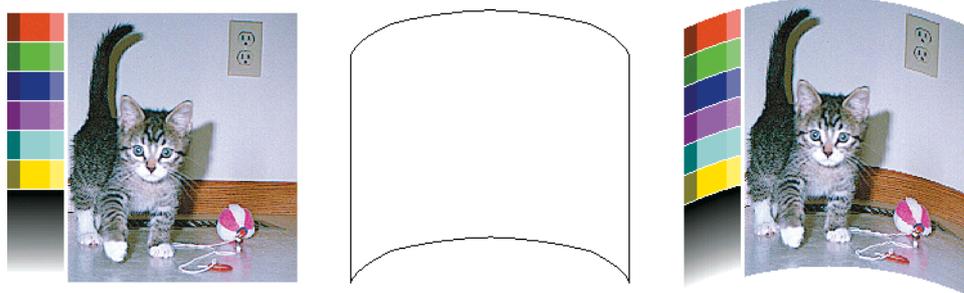
以下の素材は、印刷中に湾曲し、印刷結果が曲がって見える場合があります。

- 粘着ビニール素材 (特定のカレンダー型ビニールのみ)
- 裏紙もコーティングもないセルロースベースのポスター用紙 (HP フォト調ポスター紙など)

この変形は、以下の場合に特に顕著になる可能性があります。

- 後から自動または手動でカットされる印刷イメージ。湾曲していると、両側に配置されているカッターは、中央に配置されなくなる場合があります。
- ポスタ印刷 (真っすぐな面にポスタが展開されている場合や、フレームが付けられている場合)。

次の例は、元のイメージ、湾曲した素材、および湾曲した印刷結果を示しています。



フロントパネルまたは RIP ソフトウェアの真直度の最適化オプションを使用して、湾曲した結果を補正し、イメージを元の状態に復元することができます。

- フロントパネルで、、 の順に押し、[インク] - [イメージ品質の保守] - [真直度の最適化] を押して、-15~+15 の補正值を選択します。

選択する値は、左右両端に対する素材の中央の垂直方向の距離 (ミリメートル) を表します。変形によって素材の中央が素材送りの方向に移動している場合は、補正值を負にする必要があります。逆方向の場合は、補正值を正にする必要があります。実際には、たいがい負の補正值が必要です。

 **ヒント:** <http://IPaddress/hp/device/webAccess/diagnostic/StraightnessOptimizationPlot.pdf> (IPaddress はプリンタの IP アドレス) で提供される診断イメージを使用すると、適用する正しい値を決定できるようになります。

- RIP から真直度の最適化を使用するには、RIP のマニュアルを参照してください。

自動カッターが機能しない

次のいずれかの場合には、自動カッターが無効になります。

- フロントパネルから自動カッターを手動で無効にした場合：、 の順に押し、**[素材]-[素材取扱いオプション]-[カッター]-[オフ]** を押します。
- 特に厚手の素材の種類 (カットできない) に印刷する場合。
- 巻き取りリールが有効になっている場合。

 **ヒント:** フロントパネルから巻き取りリールを無効にするには、、 の順に押し、**[素材]-[巻き取りリール]-[巻き取りリールの有効化]** を押します。

- 両面印刷時。

巻き取りリール素材詰まり

素材が巻き取りリールでひどく破損している場合、プリンタのカッターを使用して素材をカットしたり取り除いたりしないでください。代わりに、素材を可能な限りウィンドウに近づけて手動でカットし、次に、ロールを取り外します。

素材の詰まりを取り除いてからも問題が解決しない場合、フロントパネルから巻き取りリールを取り外してから、再度取り付けます。

巻き取りリールで巻き取ることができない

巻き取りリールで期待した通りに巻き取ることができない場合、可能性としては、印刷物が床の上にすでに出力されている場合があります。プリンタは、巻き取りリールの問題を認識すると、問題が解決されるまで印刷ジョブを中断します。プリンタが問題を認識しない場合、ジョブの印刷が続行されます。考えられる問題と解決策を以下の表に示します。

巻き取りリールの LED ステータス	問題	印刷ジョブの中断	考えられる原因	考えられる解決策
速く点滅	巻き取りリールで巻き取ることができない	はい	巻き取り方向が正しくないため、テンションバーの位置が低くなっています。	巻き取りリールモーターで巻き取り方向スイッチを使用して、巻き取り方向を変更してください。場合によっては、青色の矢印ボタンを使用して床から素材を集める必要があります。
遅く点滅	巻き取りリールで巻き取ることができない	いいえ	センサーケーブルがたるんでいるか、抜けている。	センサーケーブルが正しく留められていることを確認します。

巻き取りリールのLEDステータス	問題	印刷ジョブの中断	考えられる原因	考えられる解決策
点灯 (赤色)	巻き取りリールで巻き取ることができない	いいえ	巻き取りリールモーターに、負荷がかかりすぎている。	素材パスまたはテンションバーを遮断しているものが何もないことを確認します。
点灯 (緑色)	巻き取りリールで巻き取ることができない	いいえ	巻き取りモーターの巻き取り方向スイッチがオフであるか、位置が間違っています。	スイッチがオンの場合、正しい巻き取り方向 (1 または 2) を選択します。
点灯 (緑色)	巻き取りリールが間違った方向で巻き取る	いいえ	巻き取りモーターの巻き取り方向スイッチの位置が間違っています。	スイッチを正しい位置に変更してください。

15 インク システムに関するトラブルシューティング

インク保守キットを取り付ける必要がある

フロントパネルにインク保守キットを取り付ける必要があることが示される場合は、プリンタにキットが取り付けられていません。インク保守キットを交換するための標準の手順を実行してください ([110 ページのインク保守キットを交換する](#)を参照)。

インクカートリッジを取り付けられない

1. 正しいカートリッジ (モデル番号) を使用しているかどうかを確認します。
2. カートリッジのラベルの色がスロットのラベルの色と同じであるかどうかを確認します。
3. カートリッジの向きが正しいかどうか、インクカートリッジの正面の矢印が上を向いているかどうかを確認します。

△ 注意： インクカートリッジスロットの内部はクリーニングしないでください。

プリントヘッドを取り付けられない

1. 正しいプリントヘッド (モデル番号) を使用しているかどうかを確認します。
2. プrintヘッドからオレンジ色の保護キャップを取り外したかどうかを確認します。
3. プrintヘッドのラベルの色がスロットのラベルの色と同じであるかどうかを確認します。
4. プrintヘッドの向きが正しいかどうかを (他のPrintヘッドと比較して) 確認します。
5. プrintヘッドのカバーが閉じられ、ラッチで固定されているかどうかを確認します。

プリントヘッドクリーニング カートリッジを挿入できない

プリントヘッドクリーニングカートリッジのモデル番号が正しく、向きが正しいかどうかを確認します。

フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される

1. プrintヘッドを取り外し、物理的な破損がないか、また、電極部分にインクのしみがなかったかを確認します。
2. 必要な場合は、Printヘッドとキャリッジの間にある電極部分をクリーニングします。
[96 ページのPrintヘッドの電極をクリーニングする](#)を参照してください。

3. プリンタヘッドをキャリッジに再び取り付け、フロントパネルのメッセージを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、新しいプリントヘッドを挿入します。

プリントヘッドのクリーニング

プリンタの電源が常にオンになっている限り、定期的にプリントヘッドの自動クリーニングが実行されます。ただし、印刷品質の低下が見られ、他の方法では問題を解決できない場合は、プリントヘッドをクリーニングする必要があります。これによりノズル内に新しいインクが確保され、ノズルの目詰まりを防止できます。

プリントヘッドのステータスプロットを印刷すると、問題のあるカラーが判断できます。十分に機能していないプリントヘッドを **2 個 1 組** 選択します。クリーニングするプリントヘッドが不明な場合は、すべてのプリントヘッドをクリーニングします。

 **注記：** ノズルの詰まりが小さい場合、印刷への視覚的な影響はほとんどありません。マルチパス印刷では、この問題を補正するようにプリンタが設計されているためです。

プリントヘッドのクリーニングを行うには、プリンタのフロントパネルで 、 の順に押し、**[インク]-[イメージ品質の保守]-[プリントヘッドのクリーニング]** を押してから、クリーニング対象のプリントヘッドを選択します。すべてのプリントヘッド、または一部のプリントヘッドをクリーニングできます。選択肢は、以下のとおりです。

- テストプロットの印刷
- すべてのクリーニング
- LC-C のクリーニング
- Y-K のクリーニング
- LM-M のクリーニング

すべてのプリントヘッドのクリーニングには、**5 分**ほどかかります。**2 個**のプリントヘッドをクリーニングするには、**3 分**ほどかかります。

 **注記：** すべてのプリントヘッドのクリーニングには、**1 組**のプリントヘッドのクリーニングよりも多くのインクが必要です。

プリントヘッドの軸合わせ

プリントヘッド間の正確な軸合わせは、高いカラー精度、なめらかなカラーグラデーション、およびグラフィック要素の鮮明なエッジを実現する上で重要です。このプリンタには、プリントヘッドの取り付け直しまたは交換時に、プリントヘッドの軸合わせ処理を自動で行う機能があります。

カスタム素材を使用して素材が詰まった場合、または色が正確に再現されない問題が発生した場合は、プリントヘッドの軸合わせを行う必要があります。[93 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。

 **注記：** 素材の詰まりが発生した場合は、プリントヘッドを取り付け直して軸合わせ処理を行います。

 **ヒント：** 印刷に使用するのと同じ素材でプリントヘッドの軸合わせ処理を行います。

 **警告！** 半透明ボンド紙、ならびに、クリアフィルム、トレーシングペーパー、ベラム紙などのカラー素材、光沢キャンバス、および透明紙は、プリントヘッドの軸合わせに適していません。サポートされていない用紙でプリントヘッドの軸合わせ処理を行わなければならない場合は、印刷に使用する用紙と厚さが同じ用紙を使用していることを確認してください。

プリントヘッドを再度取り付ける手順

1. プリントヘッドの軸合わせ処理の実行中に誤った素材が取り付けられた場合は、フロントパネルの **キャンセル** ボタンを押してください。

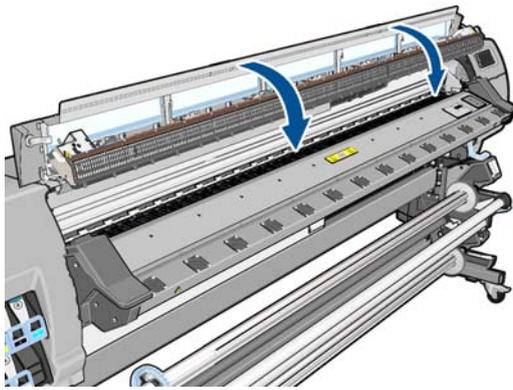
⚠ 注意： プリントヘッドの軸合わせ処理をキャンセルした場合は、印刷を行わないでください。

2. 使用する素材を取り付けます。プリントヘッドの軸合わせで最良の結果を得るには、粘着ビニールが推奨されます。

⚠ 警告！ 半透明ボンド紙、ならびに、クリアフィルム、トレーシングペーパー、ベラム紙などのカラー素材、光沢キャンバス、および透明紙は、プリントヘッドの軸合わせに適していません。サポートされていない用紙でプリントヘッドの軸合わせ処理を行わなければならない場合は、印刷に使用する用紙と厚さが同じ用紙を使用していることを確認してください。

3. すべてのプリントヘッドを取り外して、取り付け直します。 [114 ページのプリントヘッドを交換する](#) を参照してください。プリントヘッドの軸合わせ処理が開始されます。

📖 注記： プリントヘッドの軸合わせが行われている間は、ウィンドウが閉じていることを確認してください。



4. この処理には **6 分** ほどかかります。フロントパネルに処理の完了が表示されてから、プリンタを使用します。

📖 注記： プリントヘッドの軸合わせ処理中に、キャリブレーションイメージが印刷されます。処理中にエラーがある場合は、フロントパネルに表示されます。

【イメージ品質の保守】メニューの手順

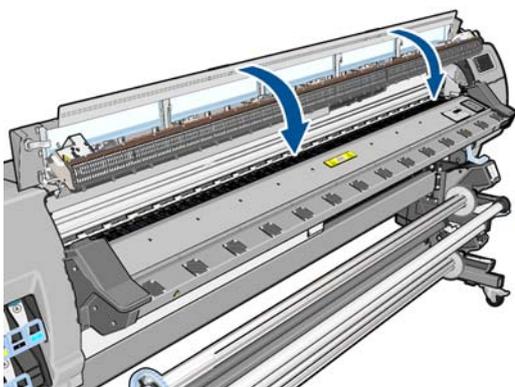
1. 使用する素材を取り付けます。プリントヘッドの軸合わせで最良の結果を得るには、粘着ビニールが推奨されます。普通紙; ボンド紙; 薄手のコート紙の場合は、許容範囲ですが最低限の結果しか得られません。

⚠ 警告！ 半透明ボンド紙、ならびに、クリアフィルム、トレーシングペーパー、ベラム紙などのカラー素材、光沢キャンバス、および透明紙は、プリントヘッドの軸合わせに適していません。サポートされていない用紙でプリントヘッドの軸合わせ処理を行わなければならない場合は、印刷に使用する用紙と厚さが同じ用紙を使用していることを確認してください。

2. フロントパネルで、、 の順に押し、**[インク]-イメージ品質の保守-[プリントヘッドの軸合わせ]-[プリントヘッド自動軸合わせ]** の順に押します。プリンタはプリントヘッドの軸合わせを行うのに十分な素材があるかどうか確認します。

3. 取り付けした素材がプリントヘッドの軸合わせを行う上で許容範囲内ならば、プリンタは軸合わせを行い、軸合わせパターンを印刷します。

 **注記：** プリントヘッドの軸合わせが行われている間は、ウィンドウが閉じていることを確認してください。



4. この処理には5分ほどかかります。フロントパネルに処理の完了が表示されてから、プリンタを使用します。

軸合わせ中のスキャンエラー

軸合わせ処理がうまくいかない場合は、**スキャンの問題**に関するメッセージがフロントパネルに表示されます。これは、軸合わせが正常に完了されなかったことを意味します。プリンタの軸合わせが行われていないため、印刷品質を高くするには、印刷前に軸合わせを繰り返す必要があります。問題の原因は以下のシナリオのいずれかになります。

- プリントヘッドの軸合わせ処理で使用した素材が許容範囲外だった場合。推奨する素材の種類の内いずれかを使用して、軸合わせ処理を繰り返します。
- プリントヘッドが汚れている場合。プリントヘッドをクリーニングしてください。[148 ページのプリントヘッドのクリーニング](#)を参照してください。
- プリントヘッドの軸合わせの処理中にプリンタのウィンドウが開いた場合。ウィンドウを閉じて、軸合わせ処理を繰り返します。

推奨する以下の解決方法を行っても問題が解消されない場合、すべてのプリントヘッドを交換してください。プリントヘッドを交換しても問題が解消されない場合、スキャンシステムに問題がある可能性があります。

16 その他のトラブルシューティング

プリンタの IP アドレスを取得できない

ネットワークに DHCP サーバがない場合、プリンタは IP アドレスを自動的に取得できません。この場合は、次の方法でプリンタの IP アドレスを手動で設定する必要があります。

1. フロントパネルから、、 の順に押し、[セットアップ]-[ネットワーク接続]-[ギガビットイーサネット]-[設定の変更]-[TCP/IP]-[IPv4 設定]-[設定方法]-[手動] を選択します。
2. [IPv4 設定] メニューから、[手動設定]-[IP アドレス] を選択します。
3. 使用する IP アドレスを入力し、終了したら OK キーを押します。

内蔵 Web サーバにアクセスできない

操作指示をまだお読みでない場合は、[17 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)の指示を参照してください。

1. フロントパネルで  を押し、、 の順に押し、[セットアップ]-[接続]-[詳細設定]-[内蔵 Web サーバ]-[内蔵 Web サーバを使用]-[オン] を押します。
2. 、 の順に押し、[セットアップ]-[接続]-[ネットワーク情報] を押します。
3. 次の情報が表示されます。[IP 有効: はい]。表示されていない場合は、別の接続を選択する必要があります。

それでもまだ内蔵 Web サーバにアクセスできない場合は、フロントパネルの **電源** ボタンでプリンタの電源をいったん切ってから、もう一度入れ直してください。

内蔵 Web サーバへのアクセスに非常に時間がかかる場合は、プロキシサーバの使用がその原因であることがあります。その場合は、プロキシサーバを経由せずに内蔵 Web サーバに直接アクセスします。

- Windows 版の Internet Explorer 6 を使用している場合は、[ツール]-[インターネットオプション]-[接続]-[LAN の設定] をクリックし、[ローカルアドレスにはプロキシサーバを使用しない] チェックボックスをオンにします。さらに高度な設定を行うには、[詳細設定] タブをクリックし、プロキシサーバを使用しないように、プリンタの IP アドレスを [例外] の一覧に追加します。
- Windows 版の Firefox 3.0 を使用している場合は、[ツール]-[オプション]-[詳細]-[ネットワーク]-[接続設定] をクリックし、[プロキシを使用しない] を選択します。または、[手動でプロキシを設定する] が選択されている場合は、プロキシサーバを使用しないようにプリンタの IP アドレスを例外リストに追加します。
- Linux 版の Firefox 2.0 を使用している場合は、[編集]-[設定]-[詳細]-[ネットワーク]-[接続設定] をクリックし、[インターネットに直接接続する] を選択します。または、[手動でプロキシを設定する] が選択されている場合は、プロキシサーバを使用しないようにプリンタの IP アドレスを例外リストに追加します。

プリンタで印刷されない

コンピュータから送信されたファイルが正しく印刷されない場合の理由には、以下が含まれます。

- 電源に問題がある可能性があります。プリンタが動作せず、フロントパネルに何も表示されない場合は、背面の電源スイッチがオンになっていて、残留電流ブレーカーが上がっており、電源ケーブルが正しく接続され、電源ソケットから電力が供給されているかどうかを確認してください。
- 強力な電磁場や重大な電気障害など、異常な電磁現象が発生している可能性があります。このような現象が発生している場合、プリンタが異常な動作をしたり、動作を停止することがあります。このような場合は、フロントパネルの **電源** ボタンを押してプリンタの電源を切り、電磁的な環境が正常に戻るまで待機してから、電源を入れ直してください。問題が解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。
- 素材に関する以下のいずれかのシナリオが存在している可能性があります。
 - プリンタにセットされている素材名がフロントパネルに反映されていない。
 - ロールに、ジョブ全体が印刷できるだけの十分な素材がセットされていない。

このような場合は、あるジョブが印刷される一方、別のジョブが印刷キューで一時停止の状態になります。この問題を解決するには、プリンタからロール紙を取り外し、フロントパネルに表示される処理手順に従って、新しいロール紙をセットします。

印刷ジョブの生成中にソフトウェアプログラムの処理速度が低下したり停止する

高品質の大判印刷ジョブを生成するには、大量のデータが必要な場合があります。これが原因で、ソフトウェアプログラムの処理速度が低下したり停止します。印刷解像度を下げることでこのようなシナリオを回避できますが、印刷解像度を下げると印刷品質が低下します。

プリンタの印刷が遅い

次のような原因が考えられます。

- **RIP** で最高水準の印刷品質を要求した場合、印刷は試し品質の印刷より比較的遅くなります。
- プリンタに取り付けられている素材が、フロントパネルに表示される素材ファミリに属することを確認します。
- プリンタがネットワークに接続されている。ネットワーク上のすべてのコンポーネント（ネットワーク インタフェース カード、ハブ、ルータ、スイッチ、およびケーブル）がギガビットイーサネットに対応しているかどうかを確認します。ネットワーク上の他のデバイスのトラフィック量も確認してください。
- プリントヘッドの状態が悪い場合。プリントヘッドのクリーニングが必要な場合、印刷時間が長くなる傾向があります。フロントパネルまたは内蔵 **Web** サーバでプリントヘッドのステータスを確認してください。必要に応じてプリントヘッドを修理するか交換します。
- イメージにインク濃度の高い黒い塗りつぶしがある場合。印刷時間が長くなる可能性があります。

[83 ページのプリンタの状態](#)も参照してください。

コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある

問題の例を以下に示します。

- プリンタにイメージを送信しても、フロントパネルのディスプレイに [データを受信しています] というメッセージが表示されない。
- 印刷しようとする、コンピュータに、エラー「61:09」や「63:05」のようなエラーメッセージが表示される。[155 ページの「フロントパネルエラーメッセージ」](#)を参照してください。
- データ送信時に、コンピュータまたはプリンタが停止する。

通信の問題を解決するには、以下の手順に従います。

- **RIP** で、正しいプリンタが選択されていることを確認します。
- 大きなイメージの場合は、受信、処理、印刷に時間がかかる場合があります。
- プリンタとコンピュータの間に、スイッチボックス、バッファボックス、ケーブルアダプタ、ケーブルコンバータなどの中間デバイスがある場合は、それらを取り外し、プリンタとコンピュータを直接接続して印刷してみます。
- インタフェースケーブルを別のものに変えて試してみます。
- **I/O** タイムアウトの変更を試してください。プリンタがリモートコンピュータを待機するときのアイドル状態の接続が継続される時間を指定します。デフォルト値は、**30** 秒です。**0** に設定すると、タイムアウトは無効になり、アイドル状態の接続が継続される時間は無限になります。**I/O** タイムアウトを変更するには、フロントパネルで 、 を押し、**[セットアップ]-[接続]-[詳細設定]-[I/O タイムアウト]** を押します。

プラテンローラーからきしみがする

プラテンローラーからきしみがする場合は、**HP** サポートに連絡してください。

http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html

17 フロントパネルエラーメッセージ

特定の状況では、数字のエラーコードがフロントパネルに表示されます。その場合は、【推奨】列のヒントに従ってエラーを解決します。推奨事項によって問題を解決できなさそうな場合は、サービス担当者に連絡してください。[159 ページの「サポートが必要な場合」](#)を参照してください。

このリストにないエラーコードがフロントパネルに表示される場合は、プリンタの電源をいったんオフにし、再びオンにしてください。問題が解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。

表 17-1 数字のエラーメッセージ

エラーコード	推奨
14.32:01、14.52:01、14.72:01	電圧が 0 です。プリンタの背面で残留電流ブレーカーを確認してください。入力電圧を確認してください。
14.33:01、14.53:01、14.73:01	電圧が低すぎます。入力電圧を確認してください。
14.34:01、14.54:01、14.74:01	電圧が低くなっています。入力電圧を確認してください。
14.35:01、14.55:01、14.75:01	電圧が高すぎます。入力電圧を確認してください。
15.01:00、16.01:00	プリセットされた時間制限内にプリンタの温度が動作温度まで上昇しません。RIP の素材プロファイルで [乾燥準備温度オフセット] (15.01:00) オプションまたは [硬化準備温度オフセット] (16.01:00) オプションを使用して、準備温度を下げます。周囲の温度と入力電圧がプリンタの仕様の範囲内であることを確認します。
15.02:00、16.02:00	プリセットされた時間制限内にプリンタの温度が動作温度まで下がりません。RIP の素材プロファイルで [乾燥冷却温度オフセット] (15.02:00) オプションまたは [硬化冷却温度オフセット] (16.01:00) オプションを使用して、冷却温度を下げます。周囲の温度がプリンタの仕様の範囲内であることを確認します。すべてのファンが動作しており、遮断されていないことを確認します。
15.03:00、16.03:00	プリンタ内の熱が高すぎます。RIP の素材プロファイルで [最小乾燥電源] (15.03:00) オプションを使用して乾燥電源を下げます。RIP プロファイルで [乾燥温度] (15.03:00) オプションまたは [硬化温度] (16.03:00) オプションを使用して、乾燥温度または硬化温度を下げます。周囲の温度がプリンタの仕様の範囲内であることを確認します。すべてのファンが動作しており、遮断されていないことを確認します。
15.04:00、16.04:00	プリンタ内の熱が不十分です。周囲の温度がプリンタの仕様の範囲内であることを確認します。
15.05:00、16.05:00	赤外線センサーのエラーです。すべてのファンが動作しており、遮断されていないことを確認します。
15.06:00、16.06:00	プリンタが非常に長時間、最大電力で動作しています。インク量が多すぎないか確認してください。周囲の温度がプリンタの仕様の範囲内であることを確認します。

表 17-1 数字のエラー メッセージ (続き)

エラー コード	推奨
21.2:10	プリントヘッドクリーニングカートリッジのエラーです。プリンタの電源をオフにし、プリントヘッドクリーニングカートリッジを取り外し、右にある白のギアを使用して布を手動で送ることができるかどうかを確認します。できる場合は、プリントヘッドクリーニングカートリッジを再度取り付けます。できない場合は、新しいプリントヘッドクリーニングカートリッジで試します。プリンタの電源をオンにします。
24:03	セットアップ手順が完了していません。プリンタを再起動し、セットアップ手順を最初から再開します。
26.n:01 (n = インクカートリッジ番号)	インクカートリッジを取り外し、再度取り付けてください。問題が解決しない場合は、新しいカートリッジに交換します。
27.n:01 (n = プrintヘッドスロット番号)	1つ以上のプリントヘッドが誤動作しているため、キャリブレーションが実行されませんでした。プリントヘッドステータスプロットを使用して、誤動作しているプリントヘッドを特定し、交換してください。
29:01	プリントヘッドクリーニングカートリッジが正しく挿入されていません。プリンタの右側にあるプリントヘッドクリーニングカートリッジのドアを開け、プリントヘッドクリーニングカートリッジが正しく取り付けられていることを確認したら、ドアを閉めます。問題が解決しない場合は、プリントヘッドクリーニングカートリッジを交換します。
32:01	巻き取りリールが接続されていません。巻き取りリールを使用する場合は、プリンタの電源をオフにし、すべての巻き取りリールケーブル (センサーケーブル、プリンタケーブル) が接続されていることを確認します。巻き取りリールを使用しない場合、巻き取りリールから素材を手動で取り外す必要があります。必ず最初に手動で、またはフロントパネルの [素材] メニューにある [排紙/カット] オプションを使用して素材をカットしてください。
32:01.2	このエラーは、テンションバーが 8 秒を超えるセンサー トリガ位置のいずれかにある場合に発生します。このエラーの原因としてもっとも多い事柄は次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ● 巻き取りリール モーターの巻き取り方向スイッチがアクティブですが、素材が巻き取りリールにまだテープで接着されていません。 ● 巻き取りリールの巻き取り方向が間違っていて選択されています。 ● テンションバーの移動が遮断されています。 ● テンションバーとダイバータの間で、素材が正しいパスに従っていません。
32:02	このエラーは、プリンタの初期化時に発生し、プリンタの電源がオフになったときに、巻き取りリールが切断されたことを警告します。さらに、巻き取りリールを有効にしようとしたが、プリンタに接続されていない場合にも発生します。巻き取りリールをプリンタに接続し、 OK を押して続行します。
41:03	プリンタのウィンドウを開け、ドライブローラーの動きを妨げるものがないことを確認します。素材が詰まってドライブローラーの動きが妨げられている場合は、 140 ページの素材が詰まっている を参照してください。
42:03	フロントパネルを使用してプリンタの電源をオフにし、背面にある電源スイッチをオフにします。ウィンドウを開け、プリントヘッドカートリッジの動きを妨げるものが見えないことを確認します。素材がしわになり、その塊によってキャリッジが遮断されている場合、素材調整レバーを持ち上げて障害物を取り除きます。プリンタを再度オンにします。
44:10	廃棄物管理ファンに障害が発生しました。
44.1:01	廃棄物管理システム ケーブルが接続されていません。プリンタ カバーから接続部分へのケーブルも接続されていない可能性があります。
44.2:01	スイッチに障害が発生しました。廃棄物管理システムを確認してください。インクチューブアセンブリが接続されており、インクフィルタ ドアが閉じている必要があります。

表 17-1 数字のエラー メッセージ (続き)

エラー コード	推奨
44.4:01	廃棄物管理システムの信号に雑音が発生しています。コネクタが正しく接続されていることを確認してください。
52:01	ドロップ検出器に問題があります。インク ファネルが正しく取り付けられているか確認します。「インク保守キットの交換」プロセスを使用して (110 ページのインク保守キットを交換する を参照) ファネルにアクセスします。検出器の信号を遮断する障害物 (素材など) がファネルにないことを確認します。
61:01	ファイル形式が間違っているため、プリンタがジョブを処理できません。以下の対策を試します。 <ul style="list-style-type: none"> ● RIP がプリンタをサポートしていること、および RIP にプリンタ ドライバがインストールされていることを確認してください。 ● RIP の最新バージョンを使用していることを確認してください。 ● プリンタにファイルを再送信します。 ● プリンタのファームウェアが最新版かどうかを確認します。91 ページの「ファームウェアについて」を参照してください。
61:08.2	ジョブにフォーマット エラーまたは間違った設定値が含まれています。プリンタにファイルを再送信します。
61:09	ジョブが予期せず終了しました。RIP との通信が失われました。関連するすべてのケーブルが正しく接続されていることを確認し、RIP でエラー メッセージが表示されているかどうかを確認してください。プリンタにファイルを再送信します。
63:04	ネットワークカードで入出力エラーが発生しました。以下の対策を試します。 <ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークケーブルがネットワークカードに正しく接続されていることを確認します。 ● プリンタのファームウェアが最新版かどうかを確認します。91 ページの「ファームウェアについて」を参照してください。
63:05	ジョブがプリンタに到達するのが遅すぎます。20 秒以上間があくと、そのジョブはプリンタでキャンセルされます。以下の改善策を試してください。 <ul style="list-style-type: none"> ● RIP を搭載しているコンピュータに 1 ギガビット イーサネット カードが正しく取り付けられていることを確認してください。 ● RIP でエラー メッセージが表示されていないか確認してください。RIP を搭載しているコンピュータが正しく機能しており、RIP の最小要件が満たされていることを確認してください。ハードディスクが満杯でも、過度に断片化されてもないことを確認してください。 ● [印刷中の RIP] オプションが有効になっているかどうかを確認してください。コンピュータの処理能力が不足している場合は、このオプションで低速印刷にすることができます。 ● ジョブの解像度を低くするか、パス数を増やしてみてください。
71:03	メモリ不足です。プリンタの背面で電源をオフにし、電源コードを引き抜きます。ケーブルを再度接続して、プリンタの電源を入れます。
74:01	ファームウェア アップデート ファイルのアップロード中にエラーが発生しました。以下の対策を試します。 <ul style="list-style-type: none"> ● フロントパネルの電源 ボタンとプリンタの背面の電源スイッチを使用して、プリンタの電源をオフにします。電源コードを取り外し、電源コードを再度接続してプリンタの電源をオンにします。 ● もう一度、このファームウェア アップデート ファイルをプリンタにアップロードしてください。91 ページの「ファームウェアについて」を参照してください。

表 17-1 数字のエラーメッセージ (続き)

エラーコード	推奨
77:04	<p>内蔵 Web サーバの内部ソフトウェア エラーが発生しました。以下の対策を試します。</p> <ul style="list-style-type: none"> フロントパネルの 電源 ボタンとプリンタの背面の電源スイッチを使用して、プリンタの電源をオフにします。電源コードを取り外し、電源コードを再度接続してプリンタの電源をオンにします。 プリンタのファームウェアが最新版かどうかを確認します。91 ページの「ファームウェアについて」を参照してください。
78.1:04	<p>プリンタに、この素材の素材プリセットがありません。ファームウェア アップグレード手順に従って、最新の素材プリセットでプリンタを更新してください。</p>
78.2:01	<p>バック テンションが失われています。これは、ロールの芯が緩んでいるか、ロールの端が近づいているために生じている可能性があります。原因が異なる場合、素材を取り外してから取り付け直してください。</p>
81:01、81:03	<p>プリンタのウィンドウを開け、ドライブローラーの動きを妨げるものがないことを確認します。素材が詰まってドライブローラーの動きが妨げられている場合は、140 ページの素材が詰まっているを参照してください。</p>
82:01	<p>素材が詰まっているか、キャリッジリフレクタが汚れている可能性があります。キャリッジリフレクタをクリーニングしてみてください。問題が解決しない場合は、140 ページの素材が詰まっているを参照してください。</p>
86:01	<p>ウィンドウを開け、プリントヘッドカートリッジの動きを妨げるものが見えないことを確認します。素材がしわになり、その塊によってキャリッジが遮断されている場合、素材調整レバーを持ち上げて障害物を取り除きます。キャリッジレールがきれい、潤滑されていることを確認します。そうならない場合は、クリーニングして潤滑してください。94 ページのキャリッジレールをクリーニングおよび潤滑するを参照してください。</p>
98:03	<p>少なくとも 1 つのプリントヘッドが故障しています。プリントヘッドステータスプロットを使用して、誤動作しているプリントヘッドを特定し、交換してください。127 ページのプリントヘッドのステータスプロットを使用するを参照してください。</p>

プリンタ ログ

フロントパネルで 、 の順に押し、[セットアップ]-[プリンタ ログ] を押し、最近発生したシステムエラー、警告、またはプリントヘッドやインクカートリッジのイベントをフロントパネルに表示するように設定できます。

18 サポートが必要な場合

はじめに

HP カスタマー・ケアは、優れたサポート内容により受賞経験もあります。お使いの HP Designjet から常に最高の結果を得られるようにサポートいたします。HP カスタマー・ケアは、広範囲にわたる信頼のおけるサポート専門知識と新しい技術で、ほかには類を見ないきめ細かなサポートを提供いたします。サービスには、セットアップおよびインストールのサポート、トラブル解決のための情報提供、アップグレード保証、修理および交換サービス、電話と Web によるサポート、ソフトウェアのアップデート、自己保守サービスなどがあります。HP カスタマー・ケアの詳細は、弊社 Web サイトをご覧ください：<http://www.hp.com/go/graphic-arts/>。

マニュアル

以下のマニュアルがプリンタに付属しています。また <http://www.hp.com/go/L28500/manuals/> からダウンロードすることも可能です。

- 基本情報
- ユーザーズガイド(保守とトラブルシューティングに関する情報が記載されています)
- 法律に関する情報
- 限定保証

 **注記：** ユーザーズガイドは、 アイコンを押してプリンタのフロントパネルに表示することもできます。

Customer Self Repair

HP の Customer Self Repair プログラムは、お客様に保証または契約に基づく最も迅速なサービスを提供します。このプログラムでは、HP が交換部品をお客様 (エンドユーザ) に直接お送りし、お客様が部品を交換できます。このプログラムを使用すれば、お客様が都合のよいときに部品を交換できます。

便利、簡単に使用できる

- HP のサポート担当者は、不具合のあるハードウェア コンポーネントに対処するために交換部品が必要であるかどうかを判断します。
- 交換部品は速達で送られ、多くの在庫部品は HP に連絡したその日に発送されます。
- 現在保証期間中または契約対象になっているほとんどの HP 製品にご利用いただけます。
- ほとんどの国/地域でご利用いただけます。

Customer Self Repair の詳細については、<http://www.hp.com/go/selfrepair/> を参照してください。

HP カスタマー・ケア センター

ヘルプはお電話でご利用いただけます。お問い合わせになる前に、以下を行ってください。

- 本書で紹介されているトラブルの解決手段を再度確認してください。
- 関連する場合は **RIP** のマニュアルを参照してください。
- 次の情報をご用意ください。
 - お使いのプリンタ：製品番号、シリアル番号、およびサービス ID

 **注記：** この情報は、フロントパネルから得られます。 を押し、 を押して  を押します。また、プリンタの背面のラベルで確認することもできます。

- フロントパネルにエラー コードが表示される場合は、エラー コードをメモに取り、[155 ページの「フロントパネルエラーメッセージ」](#)を参照してください
- 現在使用中の **RIP** とそのバージョン番号
- 現在使用中のソフトウェア アプリケーションとそのバージョン番号
- **[ヘルプ] - [バージョン情報]** を選択し、内蔵 **Web** サーバで表示されるテキスト

電話番号

HP サポートの電話番号は、**Web** で提供しています。http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html をご覧ください。

サービス情報

要求すれば、プリンタでは現在のステータスに関するさまざまな側面のリストが提供されます。この情報の一部は、サービス技術者が問題を解決するときに役立ちます。このリストを要求するには **2** つの方法があります。

- 内蔵 **Web** サーバで **[サポート]** タブを選択し、**[サービス サポート] - [プリンタ情報]** を選択します。
- インターネットにアクセスできる任意のコンピュータで、**Web** ブラウザにプリンタの **URL** を入力し、続けて **/hp/device/webAccess/allServicePlot.htm** を入力します。たとえば、プリンタの **URL** が **http://123.123.123.123** である場合、**http://123.123.123.123/hp/device/webAccess/allServicePlot.htm** と入力します。

リスト全体を要求できますが、その場合は、生成にかなり時間がかかります。あるいは、リストの特定の部分を要求できます。不明な場合は、リスト全体を要求してください (**[全ページ]** を選択)。

電子メールでリストを送信する必要がある場合、**Web** ブラウザからそのページをファイルとして保存できるので、後でそのファイルを送信してください。その他の方法としては、次の方法で **Internet Explorer** からページを直接送信することもできます。**[ファイル] - [送信] - [ページを電子メールで]** を選択します。

19 プリンタ仕様

プリンタ機能の仕様

表 19-1 HP No. 792 インク サプライ品

プリントヘッド	イエロー/黒、シアン/ライトシアン、およびライトマゼンタ/マゼンタ
インクカートリッジ	イエロー、黒、マゼンタ、ライトマゼンタ、シアン、およびライトシアン。すべてのカートリッジのインク容量は、775 ml です。
プリントヘッドクリーニングキット	特定の色に依存せず
インク チューブ アセンブリ	特定の色に依存せず
インク フィルタ	特定の色に依存せず

表 19-2 素材サイズ

	最小	最大
幅	584mm (23 インチ) 狭い素材 : 254mm (10 インチ)	2642mm (104 インチ)
長さ	1.5m (59 インチ)	外径が最大で 250mm (9.8 インチ) のロール紙
重量		100kg

素材の芯の直径は 76.2mm です。

表 19-3 印刷解像度

インク残量	パス数	ハーフトーン解像度 (dpi)	印刷解像度 (dpi)
50%	2	300	600×1200
100%	4~28 (18 を除く)	300, 600	1200×1200
	18	1200	1200×1200
200%	10~28 (18 を除く)	300, 600	1200×1200
	18	1200	1200×1200

上記の表は、プリンタがサポートする解像度を示します。RIP がサポートする解像度を確認するには、RIP のマニュアルを参照してください。

 **注記：** 印刷速度モードは、100%のインク残量および 600×1200 dpi の印刷解像度以下でのみ使用できます。

表 19-4 印刷速度

パス	キャリッジ速度	おおよその印刷速度 (m ² /h)		
		幅 2.64m ()	幅 1.98 m ()	幅 1.52 m ()
2	速度	70.0	60.0	55.3
2	Std	55.0	49.1	44.4
4	速度	38.0	34.0	28.8
4	Std	28.0	25.1	23.2
6	速度	28.0	24.2	21.0
6	Std	18.6	16.7	15.8
8	速度	18.4	16.4	14.2
8	Std	13.9	12.0	11.3
10	速度	14.7	13.4	11.9
10	Std	11.2	9.8	9.0
12	速度	12.3	11.2	9.9
12	Std	9.0	8.4	7.6
16	速度	9.2	8.4	7.5
16	Std	7.4	6.7	6.4
一方向	Std	3.4
20~28	Std

 **注記：** 上の表では、印刷双方向です。ただし、一方向のみである 18 パス モードを除きます。

 **注記：** 動作環境条件、ジョブの長さ、およびインクの濃度は、特定の印刷モードで実現できる最大速度に影響を与えます。[PH 追加クリーニング] や [パス間の乾燥時間] などの特殊な目的のオプションも印刷速度に影響を与えることがあります。

表 19-5 マージン設定

左右マージン	5mm
上マージン (用紙の上端)	5mm
下マージン (用紙の下端)	5mm (なし)
	100mm (狭い)
	150mm (ふつう)
	200mm (広い)
	300mm (広い)
	400mm (広い)
	500mm (広い)

物理的仕様

表 19-6 プリンタの物理的仕様

重量 (スタンド部を含む)	380kg
幅	3581mm
奥行き	730mm
高さ	1377mm

メモリの仕様

表 19-7 メモリの仕様

仮想メモリ	32GB
物理メモリ (DRAM)	512MB
ハードディスク	160GB

電源の仕様

 **注記：** プリンタに電源を供給するために使用する建造物の電気システムのセットアップや設定およびプリンタの設置に電気技術者が必要です。電気技術者が地域の法規に応じた適切な資格を保有していること、および電気の設定に関するすべての情報が入手されていることを確認します。

プリンタでは、次の電気コンポーネントを **NEC (National Electrotechnical Code: 米国電気工事規定)** などの各国規定に応じて、カスタマーが用意して設置する必要があります。

 **注記：** 本プリンタの電氣的な設置に関連する地域自治体の法規、規定および標準に従っていることを必ず確認します。

三相電源の電気仕様は、サイトで利用可能なライン間の入力電圧に応じて、次の表に記載されています。サイトに適した仕様を使用してください。

表 19-8 三相電源仕様

入力電圧 (ライン間)	380-415V~ (-10%+6%)	200-240 V~ (±10%)
電源コードの本数	5 (3 + 1 ニュートラル + 1 PE)	4 (3 + 1 PE)
入力周波数	50/60 Hz ± 3Hz	50/60 Hz ± 3Hz
消費電力 (準備)	8~10 kW	8~10 kW
消費電力 (印刷中)	4.2kW	4.2kW
最大負荷電流 (一相あたり)	24A	40A

動作環境の仕様

表 19-9 プリンタの動作環境の仕様

イメージを最高品質で印刷するための相対湿度範囲	40~60% (素材の種類により変動)
イメージを最高品質で印刷するための相対湿度範囲	30~80% (素材の種類により変動)

表 19-9 プリンタの動作環境の仕様 (続き)

イメージを最高品質で印刷するための温度範囲	18~25°C (64~77°F) (素材の種類により変動)
印刷時の温度範囲	15~30°C (59~86°F) (素材の種類により変動)
印刷時以外の温度範囲	-25~+55°C (-13~+131°F)
温度勾配	10°C/h (18°F/h) 以下
動作可能な最大高度	3000m (10000 フィート)

 **注記:** プリンタは室内で使用してください。

 **注記:** プリンタやインクカートリッジを気温の低い場所から、気温と湿度が高い場所に移動すると、大気中の水分がプリンタの部品やカートリッジ上で凝結し、インク漏れやプリンタエラーの原因になることがあります。この場合、凝結した水分を蒸発させるために、プリンタの電源を入れたり、インクカートリッジを取り付けたりする前に少なくとも **3 時間**、プリンタやインクカートリッジを放置します。

動作音に関する仕様

表 19-10 プリンタの動作音に関する仕様

アイドリング時の動作音	≤ 6.7 B (A)
操作時の動作音	≤ 8.0 B (A)
アイドリング時の音圧	≤ 45dB (A)
操作時の音圧	≤ 61dB (A)

A 印刷に関する一般的な問題の概要

次の表に、一般的な問題およびその問題を解決するために変更できる RIP パラメータを示します。また、予想される影響も示します。特定の問題の処理の詳細については、このガイドの関連する章を参照してください。

問題	パラメータ	変更	予想される影響
耐久性の問題、インクのにじみまたは油でよごれたような仕上がり	硬化温度	上げる	素材の詰まり、素材の損傷、インクの汚れ
	パス数	上げる	印刷が遅い
	パス間の遅延	上げる	印刷が遅い
素材の詰まり、素材の損傷、インクの汚れ	硬化温度	下げる	耐久性の低下 (にじみ)、油でよごれたような仕上がり
	真空 (およびカッターの無効化)	上げる	素材のスキュー
	上部または下部のマージン	上げる	素材のごみ
	乾燥温度	下げる	コアレスセンス、バンディング、耐久性の低下 (にじみ)、油でよごれたような仕上がり
飽和領域の縦方向のバンディング	乾燥温度	上げる	素材の詰まり、素材の損傷、インクの汚れ
	インク量	減らす (RIP に依存)	カラー ガモットの削減
	パス間の乾燥時間	上げる	印刷が遅い
	パス数	上げる	印刷が遅い
	キャリッジ速度	下げる	印刷が遅い
	カッター	無効化	素材によっては、つぶれを避けるため手動素材送りが必要なことがあります。
	ジョブをグループ化する	はい	次の印刷までに空白が入らないようにする
	印刷キューを変更する		キューの最後に難しい作業が生じたり、印刷中にインクの制限が突然変わらないようにする

問題	パラメータ	変更	予想される影響
飽和領域の横方向のバンディング	乾燥温度	上げる	素材の詰まり、素材の損傷、インクの汚れ
	インク量	減らす (RIP に依存)	カラー ガモットの削減
	パス間の乾燥時間	上げる	印刷が遅い
	パス数	上げる	印刷が遅い
	キャリッジ速度	下げる	印刷が遅い
	色分解および暗い色の生成の変更		
低～中程度の領域塗りつぶしにおける縦方向のバンディング	乾燥温度	下げる	端にわずかな色の違いや横方向のバンディングがあります (これを修正するには、パスのパス間乾燥時間/数を増やすか、キャリッジ速度を下げます)
	プリントヘッドの軸合わせ		
	インク量	増やす (RIP に依存)	
	パス間の乾燥時間	上げる	印刷が遅い
	DNX	有効化	粒状感のある面
	巻き取りリール	使用	
	印刷キューを変更する	キューの最後に難しい作業が生じたり、印刷中にインクの制限が突然変わらないようにする	
	ロールバック テンション	上げる	高すぎる場合、粒状感や横方向のバンディングが生じる可能性があります
	ウォームアップ期間	上げる	少し遅れが生じる
粒状感、色のずれ、または鮮明さの不足	プリントヘッドの軸合わせ		
	素材送りのキャリブレーション		
黒色の領域がかすむ、またはイメージ光沢が一様ではない	色分解および暗い色の生成の変更		
	乾燥温度	上げる	素材の詰まり、素材の損傷、インクの汚れ
	パス数	上げる	印刷が遅い
	硬化温度	下げる	耐久性の低下 (にじみ)、油でよごれたような仕上がり

用語集

HDPE

高密度のポリエチレン。

I/O

入出力：デバイス間におけるデータのやり取りを説明する用語です。

ICC

International Color Consortium (国際カラーコンソーシアム) の略語。カラープロファイルの標準化に同意している企業の団体です。

IP アドレス

TCP/IP ネットワーク上で、特定のノードを識別するための固有の識別子。4組の整数から構成され、各組はドットで区切られています。

LED

発光ダイオード：電気的な刺激が与えられると発光する半導体機器です。

OMAS

Optical Media Advance Sensor。また、素材送りセンサーとも呼ばれます。印刷プラテンに配置されたセンサー。素材の動きを監視し、素材送りの精度を上げます。

PC

ポリカーボネート。

PE

ポリエチレン。

PET

ポリエチレンテレフタレート (ポリエステル)。

PLA

ポリ乳酸。

PP

ポリプロピレン。

PVC

ポリ塩化ビニール。

Xバー

素材のループ状の部分に差し込む、巻き取りリールで必須の円筒形の重り。

インクの濃度

領域の単位あたりで素材に噴射されるインクの相対量。

エアフロー

空気を印刷領域に送ると、乾燥処理時間が短縮されます。

エッジホルダ

印刷中に素材の端がめくれ上がらないように抑えるための金属片。

カッター

プラテン上を前後にスライドして素材をカットするプリンタのコンポーネント。

ガモット

プリンタまたはモニタなど、出力デバイス上で再現可能なカラーおよび濃度値の範囲。

カラーの一貫性

大量の出力でも、またプリンタを変えても、特定の印刷ジョブの同じカラーを印刷する機能。

カラー精度

元のイメージにできるだけ忠実な色あいを印刷する機能。色域はすべてのデバイスで限定されているため、特定のカラーについて色を完全に一致させることができない場合があります。

コアレスセンス

インクが素材上の同じ色の領域内に広がる印刷品質の問題。

コックル

素材が完全に平らでなく、浅く波打っている状態。

スピンドル

ロール状の素材を支えるために印刷に使用する棒。

ノズル

プリントヘッドにある多数の小さな穴の1つ。インクはこの穴を通して素材に噴射されます。

バキューム プレッシュャ

素材がプラテンに対して平らに保たれるのは、バキューム吸引によります。吸引力は、強すぎても弱すぎても印刷品質に不具合が生じる可能性があります。吸引力が弱すぎると、素材の詰まりが生じたり、プリントヘッドが破損する可能性もあります。

パス

印刷パス数は、プリントヘッドが素材の同じ領域に何回印刷を行うかを指定します。パス数を多くすると印刷品質やプリントヘッドの状態が改善されますが、印刷速度は低下します。

バック テンション

インプットスピンドルにより素材に加えられる逆方向のテンション。バックテンションは、素材の幅全体に対して一定である必要があります。テンションは、強すぎても弱すぎても素材に変形や印刷品質に不具合が生じる可能性があります。

ファームウェア

プリンタの機能を管理し、プリンタに半永久的に保存されます(アップデート可能)。

プラテン

プリンタ内にある平らな面。印刷中に素材はプラテン上を通過します。

ブリーディング

インクが素材上の別の色の領域全体に広がる印刷品質の問題。

プリントヘッド

取り外し可能なプリンタコンポーネント。対応するインクカートリッジから1つまたは複数のインクを吸収し、ノズルの集合体を通して素材に付着させます。

メディアプリセット

メディアプリセットには、素材の色の特徴を記述するICCカラープロファイルが含まれます。他の特性(乾燥温度、硬化温度、バキュームプレッシュャ、素材送りの補正など、RIPおよびプリンタ設定)に関する情報と、色に直接関連しない素材の要件も含まれます。プリンタのメディアプリセットは、RIPにインストールされています。

一方向

一方向印刷は、プリントヘッドが一方向に移動するときのみ行う印刷です。印刷速度は双方向よりも遅くなります。一般に、双方向で印刷され、パス数を増やすと、印刷品質が改善されます。

乾燥中

素材を印刷領域で加熱してインクを乾燥させ、その素材にイメージを定着させます。乾燥温度は、高すぎても低すぎても印刷品質に不具合が生じる可能性があります。

硬化

素材を硬化領域で加熱してラテックスを癒着させます。これにより、保護膜として機能する高分子フィルムが作成され、同時に印刷物に残存する溶解共力剤も取り除かれます。硬化は印刷イメージの耐久性の確保に欠かせません。硬化温度は、高すぎても低すぎても印刷品質に不具合が生じる可能性があります。

最小乾燥電源

インクが薄く塗られた領域内で素材の温度を下げないために、印刷領域に加えられる最小の熱。最小電源を低くすると、印刷品質に不具合が生じる可能性があります。最小電源を高くすると、特に、パス数が多い場合の余白やインクが薄く塗られた領域で、素材が破損する可能性があります。

取り付けアクセサリ

素材をプリンタに取り付け終わるまで、素材の先端に装着するプラスチック製の柔らかいアクセサリ。一部の素材はこのアクセサリがないと取り付けが困難です。

素材

印刷されるために設計された、材質が薄くて平らなもの。紙や他の物質から作られています。

素材送りセンサー

印刷プラテンに配置されたセンサー。素材の動きを監視し、素材送りの精度を上げます。また、**OMAS (Optical Media Advance Sensor)**とも呼ばれます。

素材送りの補正

印刷パス間の素材送りに対する微量の調整。これにより、さまざまな種類の素材の特性を補正します。プリンタは通常この調整を自動的に実行します。ただし、**HP** がサポートしていない素材や通常でない周囲の温度や湿度に対して、再キャリブレーションの必要が生じる場合があります。素材送りの補正が正しくない場合は、**8** パス未満でバンディングが発生し、**8** パス以上で粒状感が目立つようになる可能性があります。

双方向

双方向印刷は、プリントヘッドが双方向に移動しながら行う印刷です。これにより、印刷速度が上がります。

索引

A

- アクセス制御 17
- アクセサリ
 - 注文する 85
- 電子メールによるアカウントイン
グデータ 74
- アカウントインク 74
- 動作音に関する仕様 164
- 新しい素材を追加する 57
- アラート、警告 89
- アラート
 - エラー 89
- 標高 15
- アプリケーションが停止する
152
- 警告音をオン/オフ 16

B

- 湾曲 144
- フロントパネルの明るさ 16

C

- キャリブレーション
 - カラー 69
- 素材を取り付けられない 139
- キャリッジレール、クリーニング
と潤滑 94
- 注意 3
- プラテンのクリーニングを行う
101
- プリンタをクリーニングする
100
- 素材送りセンサーの窓のクリーニ
ング 104
- カラーキャリブレーション 69
- カラープロファイル 70
- カラープロファイル技法 70
- カラー再現技法 70
- 通信の問題 152
- プリンタのコンポーネント 5
- プリンタを接続する 13
 - セツゾクホウホウ 13

- 曲線変形 144
- カスタマー・ケア 159
- Customer Self Repair 159
- カッターが機能しない 145
- カッター
 - 無効化 69

D

- 日付と時刻 15
- DHCP を利用できない 151
- 診断プロット 58
- マニュアル 159
- 両面印刷 50
- メディアプリセットのダウンロー
ド 57
- 乾燥筐体 7

E

- エッジホルダ ケース 6
- エッジホルダ 46
- デンシメエルアラート 15
- 内蔵 Web サーバ 9
 - アクセス 17
 - アクセスできない 151
 - デンシメエルアラート 15
 - インクシステムノステータス
87
 - 言語 17
 - ジョブ単位の使用状況 74
 - 使用状況に関する情報 74
- 動作環境の仕様 163

F

- 高速印刷 69
- プリンタの機能 4
- ファイルシステムの確認 88
- ファームウェアのアップデート
91
- フロントパネルのエラーメッセー
ジ
 - スペテ 155

- フロントパネル オプション
 - インサツパラメエタノヘンコ
ウ 62
 - ソザイオクリノチョウセイ
62, 131
 - プリントヘッドの軸合わせ
149
 - 内蔵 Web サーバを使用 151
 - オンセイケイホウ 16
 - センノジドウケンシュツ 52
 - プリントヘッドジドウジクアワ
セ 93
 - トリツケズミノソザイヲヘンコ
ウ 21, 34, 49
 - プリントヘッドのクリーニン
グ 103, 148
 - カラアバリエエションホセイ
133
 - カッター 69, 145
 - ヒツケトジコクオプション 15
 - 巻き取りリールの無効化 44
 - セマイソザイノユウコウカ
29, 32
 - マキトリリールノユウコウカ
36, 37, 145
 - ヨビカブマージン 83, 135,
143
 - PH ツイカクリーニング 62,
130, 136
 - ファイルシステムの確認 88
 - 排紙/カット 51, 55
 - I/O タイムアウト 153
 - 印刷メニュー 84
 - 言語 15
 - ロオルシノトリツケ 29
 - アクセサリノトリツケ 47
 - シュドウトリツケ 32
 - プリントヘッドシュドウジクア
ワセ 94
 - サイダイスキュウノセツテイ
31, 34, 50
 - 設定の変更 151

- 素材を移動 51
 - ネットワークジョウホウ 151
 - プリンタログ 158
 - テストプロットノインサツ 127
 - シヨウジョウキョウレポオトノインサツ 74
 - インクカートリッジの交換 106
 - インクホシュキットノコウカン 110
 - プリントヘッドクリーニングキットコウカン 120
 - プリントヘッドの交換 114
 - EWS パスワードリセット 18
 - コウジョウシュッカジノセツテイニモドス 16
 - ヒョウコウノセンタク 15
 - ガメンコントラストノセンタク 16
 - A メン 51
 - スリープモード待ち時間 9, 16
 - シンチョクドノサイテキカ 144
 - ソザイオクリノキャリブレエション 130
 - ソザイノナガサノトラッキング 54
 - ソザイノトリハズシ 51
 - 単位の選択 16
 - ロオルシヲトリハズス 36
 - スイチョクホウコウ 131
 - プリンタジョウホウノヒョウジ 160
 - ジュンビオンド 16
 - ジュンビオンド 16
 - フロントパネル 8
 - 言語 15
 - 前面図 5
 - プリンタ機能の仕様 161
- G**
- 粒状感 128
- H**
- ハードディスクの仕様 163
 - HP カスタマー・ケア 159
 - HP 診断プロット 58
- I**
- インクカートリッジ 詳細 77
- 取り付けられない 147
 - 保守 105
 - HP セイイガイ 109
 - チュウモン 81
 - ホジュウスル 109
 - 交換してください 105
 - 仕様 161
 - ステータス 87
 - インク フィルタ 詳細 79
 - インク ファネル 詳細 78
 - インク保守キットを取り付ける必要がある 147
 - インク保守キット 交換してください 110
 - インクシステムノステータス 87
 - インク システムのヒント 93
 - インク チューブ アセンブリ 詳細 79
 - インク 使用状況 74
 - 印刷メニュー 84
 - IP アドレス、手動で設定 151
- L**
- ラベル、警告 3
 - 言語 15
 - トリツケアクセサリ 47
 - 素材の取り付けの問題 139
 - 厚い素材の取り付け 34, 49
 - 薄い素材の取り付け 34, 49
- M**
- 保守、サービス 126
 - マニュアル 159
 - マージン
 - ヘンコウスル 83
 - 仕様 162
 - メディアプリセット
 - ダウンロードスル 57
 - メモリの仕様 163
 - プリンタを移動する 105
- N**
- HP 製以外のインクカートリッジ 109
- O**
- 注文する
 - アクセサリ 85
 - インクカートリッジ 81
- プリントヘッド 81
 - ハイキブツカンリシステム 81
- P**
- 用紙
 - 使用状況 74
 - 物理的仕様 163
 - 浸透性素材 24
 - 電源の仕様 163
 - プリンタの主なコンポーネント 5
 - プリンタの主な機能 4
 - プリンタで印刷されない 152
 - プリンタログ 158
 - プリンタの状態 83
 - プリンタ ステータス 87
 - プリントヘッドクリーナ
 - 仕様 161
 - プリントヘッドクリーニングカートリッジ
 - 詳細 78
 - 取り付けられない 147
 - プリントヘッドクリーニングコンテナ
 - 詳細 79
 - プリントヘッドクリーニングキット
 - 78
 - 交換してください 120
 - プリントヘッドのステータス プロット 127
 - プリントヘッド
 - 詳細 77
 - ジクアワセ 93
 - 軸合わせ 148
 - 取り付けられない 147
 - クリーニング; ページ 148
 - デンキョクブブンヲクリイニングスル 96
 - クリーニング 103
 - チュウモン 81
 - シュウフク 103
 - 交換してください 114
 - トリツケナオシ 147
 - 仕様 161
 - ステータス 88
 - 印刷速度の遅れ 83
 - 高速印刷 69
 - 印刷速度 162
 - 印刷品質の問題
 - クロイロノリョウイキノカスミ 134
 - イロノコサノヘンカ 133
 - 一般的 127
 - 粒状感 128

ヨコホウコウノバンディング
129
インクノヨゴレ 134
インクノニジミ 135
センメイサノフソク 134
色がずれる 133
ヨゴレヤムラノアルインサツ
135
ブンカツインサツ 136
スイチョクホウコウノムラ
131
マチガッタサイズ 136
インサツカイズウド 161

R

背面図 6
補充用インク カートリッジ 109
解像度 161
プリンタの再起動 11
コウジョウシュッカジノセッテイ
ニモドス 16

S

安全ラベル 3
安全に関する注意事項 1
スキャナ
使用状況 74
セキュリティ 17
サービス情報の印刷物 160
サービス保守 126
スリープモード待ち時間 16
印刷が遅い 152
仕様
動作音 164
動作環境 163
機能 161
ハードディスク 163
インクサプライ品 161
マージン 162
メモリ 163
物理的 163
電源 163
印刷速度 162
インサツカイズウド 161
素材サイズ 161
情報
インクカートリッジ 87
ジョブ単位の使用状況 74
使用状況 74
プリンタを保管する 105
シンチョクドノサイテキカ 144
素材送りの調整 130
素材の湾曲 144

素材の延び 143
素材の詰まり 140
マキトリリイル 145
ソザイノナガサノトラッキング
53
素材の取り付け位置のずれ 140
素材の縮み 143
素材サイズ(最大と最小) 161
素材のしわ 143
素材
シンキツイカ 57
ショウサイセッテイ 62
送り 130
ジドウトリツケ 29
取り付けられない 139
インサツチュウニヘンコウス
ル 62
情報を表示する 52
エッジホルダ 46
カットシヲトリツケル 35
トリツケアクセサリ 47
スピンドルニトリツケル 25
テキスタイルヲトリツケル 47
シュドウトリツケ 32
ガイヨウ 21
シントウセイ 24
リョウメンラインサツスル 50
セッテイ 58
ホカン 55
サポオトサレテイルファミリ
22
マキトリリイル 36
ヒント 21
取り外す 36
サポート サービス
HP カスタマー・ケア 159

T

マキトリリイル
マキトルコトガデキナイ 145
モオタア 7
シヨウ 36
電話番号 160
電話によるサポート 160
プリンタをオン/オフにする 11

U

測定単位 16

W

ウォームアップ期間 16
警告ラベル 3
警告 3

